
スマブラサバイバル増やし鬼？

ikki

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

スマブラサバイバル増やし鬼？

【Nコード】

N7360M

【作者名】

ikki

【あらすじ】

スマブラメンバーが繰り広げるサバイバル増やし鬼！！

逃げ切れる者は、現れるのか！？

無人島にレッツゴー!! (前書き)

よろしくお願いします!! 自己紹介というのは、右上の i
k k i を

クリックしたら、分かります!!

無人島にレッツゴー!!

これは、前作のスマブラ軍団VS日本代表?の1週間後の物語である。

マスハン「さて、あいつらを呼び出すとするか。」

そうして、マスハンは、クラブハウスにいるマリオたちを呼び出した。

スピーカー「全員、ホールに集まってください。」

すると、30分もしないうちに、全員が集まった。

マスハン「さて、全員集まったな。」

リンク「何をするんだ? マスハン。」

マスハン「これから皆にやってもらうのは、スマブラサバイバル増やし鬼だ。」

カービィ「スマブラサバイバル増やし鬼?？」

ファルコ「また作者変なの思いついたな。」

i k k i「マスハン、ファルコに例のやつやらしといてー」

マスハン「わかった。」

ファルコ「例のやつって?？」

マスハン「まあ、ルールは次回説明するとして、とりあえず簡単に

説明しておく。」

ルカリオ「増やし鬼って言うんだから増やし鬼なんだろう。」

マスハン「それよりまず出発前に、アンケートをとる。日本代表の中から誰に来てほしい？」

ピカチュウ「今回は、長友選手がいい！」

アイク「おれも、長友選手だ。」

マスハン「長友選手という意見が多いから、長友選手で良いな？」

全員「はい。」

そして、10秒後に長友選手がやってきた。

長友「ヒヤッホーイ！」

マスハン「さて、長友選手もきたし、ルール説明だ。」

ウォッチ「ナガトモセンシュ！コレカラ、スマブラサバイバルオニ
ゴツコロ、

スルラシイデスヨー！」

長友「分かった。ありがとう。」

マスハン「これからお前たちには、スマブラサバイバル増やし鬼を
やってもらう。」

ルールは簡単。これから行く無人島で、増やし鬼をやってもらおう。」

リンク「やっぱりな・・・」

マスハン「まあ何回も言うけど、ルールは次回だ！！それより無人島に行くぞ！！」

全員「はーい」

マスハン「じゃあ行くぞ！！ワープ！」

ビシュッ！！！！

一瞬にして、メンバーとマスハンの姿が、クラブハウスから消えた。

ブワッ

マスハン「よしついた!! 後ろを向け!! ここ無人島だ!!」

メンバーが、後ろを向くと、そこには、ナゴヤドーム約40個分の、超巨大な無人島があった。

マスハン「ここが、舞台だ。鬼はもう決めてある。」

ファルコ「だれだ?」

マスハン「ファルコ!! おまえだ。苦情を言うから鬼になったんだぞ!!」

ファルコ「はあああー」

マスハン「なんてのはうそだ！！全員解散！！24時間後に鬼を投入する！！行け！！」

全員「わあああー！！！」

マスハン「集まれ！！」

全員「なんでやねん！！」

マスハン「ルールブックの、支給を忘れていた！！全員受け取れ！！」

全員「はい！！」

そして、全員受け取った。

マスハン「では、気をつけていけよ!!」

全員「はい!! 分かりました!!」

マスハン「解散!!!!!! 逃げろ!!」

全員「ワー!!」

マスハンの提案ではじまったスマブラサバイバル増やし鬼。
逃げ切るものはいるか??

無人島にレッツゴー!! (後書き)

作者は中日ファンです!! 前書き、あとがきに、プロ野球の話をして!!

すいません・・・

ルールブックの中身（前書き）

ヘキサゴン26時間テレビ楽しみ♪

ルールブックの中身

ここでは、プレイヤー全員に配られた、ルールブックの中身です。

マリオ「みんな！とりあえずルールブック見ようぜ！」

全員「ああ、そうだな。」

そして、全員マリオの近くに集まった。

マリオ「さて、ルールブックでも見るか。」

ルールブック

1 これから君たちには、72時間、この無人島から、逃げ回ってもらう。(逃げている人≡生存者)

逃げ切れば、マスハンとの食事会へ、行くことができる。

2 君たちが、解散した、2時間後に、Dr. マリオ、子供リンク(トゥーンではない)

が、君たちを捕まえに行く。この2人が、行動開始すると、サバイバルゲームが始まる。

3 ちなみに、2人は、1人ずつ捕まえると、帰っていく。

4 なお、つかまると、当たり前だが、鬼になる。鬼になれば、食事会もなく、残り時間

ほかの鬼でないプレイヤーを捕まえなければならない。

5 なお、捕まった人は、全滅させられなければ、マスハンのお仕置きがある。

6 確保情報は、バッグの中にあるケータイで、連絡していく。
なお、生存者同士の通話は、できない。（鬼と鬼は可）

6 なお、睡眠中に鬼に捕まっても、鬼になる。

7 なお、鬼には、食料が配布されるが、生存者には、食料は与えられない。

マリオ「食料が与えられないだって!!」

カービィ「びえええん！（泣）」

マリオ「まあ２ページ目をめくるか。」

２ページ 食糧調達の仕方。

１ この島には、鬼になったものには、見えないが、この島には、宝箱が至る所においてある。

これは、２４時間ごとに、７８個つつ補充される。スタート時から、７８個置かれる。

鍵はかかっていないので、簡単にあけることができる。

中身は、半分が逃げるために有利なアイテムで、半分が、食料がある。

2 食料が入っている宝箱の中は、缶詰3つと、乾パン5袋が入っている。

ルールブックが入っていたバッグに入れて携帯もできる。

3 また、木などに生えている木の実は、すべて食べられる。

4 木の実を食べられるが、その他の草などは、食べられない。

5 食料も見つからず、空腹が我慢できないときは、バッグの中のリタイアボタンを

押してくれ。大きな音がして、確実に確保されるが、食料は、配布してやる。

6 海などに入って魚を取ることは禁止である。

健闘を祈る

マリオ「あれ、ほかの物もあるぞ。」

マリオは、バッグをのぞいた。

そこには、逃走中のようなタイマーがあつた。

マリオ「・・・なるほど。」

そして、全プレイヤーが、自分の隠れ家と、食料などを、探しに出かけた。

マリオ「みんな、がんばろうぜ！」

全員「おおっ！！」

マリオ「俺もがんばるぞってえっ！！！！地図もあつた・・・」

つぎは、無人島の紹介です！

ルールブックの中身（後書き）

笑いがなくてすみませんでした！！！

配布されたマップ（前書き）

配布されたマップ

リオも、

エリアの無人島に、別れていったメンバー、マ
スタート地点の、近くの森の中に、隠れた。

マリオ「時間もあるし、地図でも見るか。」

最初に、生存者に配布されたのは、逃走中のようなタイマー、地図、サバイバルブック、バッグだ。

エリア紹介

今回の舞台は、とある無人島。大きさはゴヤドーム40個分（プレイヤーが40人だから）
主に、○○エリアと書きます。

北エリア 北のエリア。北エリアの中に、海岸ゾーン、森ゾーン、磯ゾーン、がある。

東エリア 東のエリア。森ゾーン、海岸ゾーン、洞窟ゾーン、高台ゾーンがある。

南エリア 南のエリア。墓場ゾーン、海岸ゾーン、森ゾーン、がある。

西エリア 西のエリア。廃墟ゾーン、海岸ゾーン、森ゾーン、鬼本拠地（スタート地点）がある。

中央エリア 真ん中のエリア。森の中。湖ゾーン、滝ゾーン、山ゾーンがある。
その他は、森ゾーン。

マリオ「さて、俺も行くか。」

皆の移動場所を紹介します。

北エリア

海岸ゾーン ソニック リュカ

森ゾーン 長友選手 ピット アイクラ

磯ゾーン ポケトレ ロイ

東エリア

森ゾーン プリン ドンキー

洞窟エリア ファルコン ウォッチ マルス

高台エリア ファルコ ピクオリ

南エリア

海岸ゾーン ピーチ

森ゾーン トウーン クツパ

墓場ゾーン ロボット メタナイト

西エリア

海岸エリア ゼルダ ピチュー

廃墟ゾーン スネーク サムス アイク

森ゾーン ルイージ ピカチュウ ガノン

中央エリア

森ゾーン カービィ デデデ ヨッシー ネス

湖ゾーン デイディー フォックス ワリオ

山ゾーン マリオ リンク ミューツー

滝ゾーン ウルフ ルカリオ

マリオ「そろそろスタートだな・・・」

もうスタートまで10分を切った。

次回スタート！戦いの火蓋が切って落とされる！

配布されたマップ（後書き）

次回いよいよスタートです！！

ゲームスタート!! (前書き)

ファルコン「スタートだぜ!」

ゲームスタート!!

生存者がスタートして、2時間が過ぎた。

マスハン「さて、はじめるか。Drマリオ、子供リンク、捕まえて来い！」

二人「かしこまりました」

そうして、三日間のスマブラサバイバル増やし鬼は、はじまった。

マリオ「メールだ！」

メール内容

スマブラサバイバル増やし鬼が、はじまった。がんばりたまえ。

午後2時、スマブラサバイバル増やし鬼、スタート

フォックス「2日はいきたいね！」

ファルコ「フォックスよりはいきたいな」

クッパ「マリオには勝つぞー！！！」

子供リンク「Drマリオ、すぐ片付けるぞ！」

Drマリオ「ああ、」

二人は今、北エリアの森ゾーンにいる。
ここには、長友選手、ピット、アイクラがいる。

??? 「いたな・・・」

子供「いたな・・・いくぞ！」

ドクター「おお！」

長友選手「うわっ！こっちきた！」

ピット「長友選手追われてる・・・」

2人が見つけたのは、長友選手だった。それを、ピットが見ていた。

ピット「かわいいそ・・・」

長友選手「くそっ・・・ダッシュだ!!」

ピット「ガンバレー・・・宝箱あった!」

ドクター「はい、ピットタッチ。」

開始40分、ピット確保

ピット「えっ!長友選手を追いかけたんじゃ・・・」

子供「ちっ、ターゲットとられたか。」

ピット「なんで!？」

なぜピットが捕まったのか!？

真相は次回!!

ゲームスタート!! (後書き)

・
・
・
「i k k i」長友選手を最初に捕まえさせるわけないだろピット・
」

フォックス「作者リアル・・・」

頭脳プレー（前書き）

鬼ルイージ最強！！

ルイージ「どうせかげ薄いからでしょ！！！」

i k k i 「あたり！」

頭脳プレー

・
開始からわずか40分、なぜピットが確保されたのか・

3分前・・・

ドクター「おいっ！ピットいるぞ！！」

子供「長友選手もいる！！どっちにする？」

ドクター「いい案がある。長友選手を追いかけると見せかけて、ピットを狙うんだ。」

子供「いい案だね！実行しよう！」

そして、その作戦が成功し、

ピット「クソー！一番目かよ……」

子供「あーあ……手柄取られちゃった。」

ドクター「じゃあ俺はマスハンとこ帰るぜ！！じゃあな♪」

ネス「メールだ……北エリア森ゾーンでピット確保！！早くない！
確保したDrマリオは撤収。鬼は現在2人」

デデデ「早いゾイ！」

リンク「もうつかまるか……」

子供「さあ、行こうぜピット。次は僕に捕まえさせてくれよ。」

ピット「ああ・・・」

長友「ピットが代わりにつかまったか・・・」

すぐにその場を離れる長友。

リンク「宝箱見つけ!!」

宝箱を発見したリンク。

リンク「中身は・・・食料だ!! やった!」

食料を見つけたリンク。

ちなみに、宝箱は、簡単には、見つからない仕組みになっている。

マルス「あれは・・・宝箱だ!!」

宝箱を見つけたマルス。

マルス「ええっと・・・なんだ・・・双眼鏡か・・・」

マルスは双眼鏡を見つけた。

マルス「無いよりはましか・・・」

そのころ

子供「よし！中央エリアについたぞ！！」

ピット「さっさと終わらせようぜ！」

子供「おお！」

??? 「きたか・・・はやいな。」

子供「さっきの作戦で行こうぜ！おまえも捕まったときに言ったら！」

ピット「了解！」

そういうと、滝のほうに2人は行ってしまった。

ネス「ふう、危なかった。」

隠れていたのはネスであった。

現在1時間30分経過！
この先どうなる！？

頭脳プレー（後書き）

i k k i 「ルイージ確保！」

ルイージ 「雑！嘘でしょ！」

i k k i 「嘘。」

ルイージ 「あっさり！！！」

挟み撃ち（前書き）

評価してください！

挟み撃ち

鬼である子供リンクとピットは、中央エリアの、滝ゾーンに向かっていた。

ピット「足の遅い人いなか～な・・・」

子供「見ろ・・・ウルフだ！」

確かに子供リンクの視線の先にはウルフの姿があった。

子供「お前が先におとりとしていけよ！」

ピット「分かってる。」

2人は、草むらで息を殺すように、策を実行した。

ピット「いた！クツパ待て！」

そうしてピットは、ウルフに気付かないようにして、滝のほうへ向かった。

ウルフ「クツパも気の毒だな・・・」

ウルフは、のんきに空を見ている。

子供「気付かれないように・・・」

そのころ子供リンクは、ウルフあと20メートルのところまで来ていた。

ガサッ

子供リンクが足元の草を踏んで、音を立ててしまった。

ウルフ「鬼か！逃げろ！！」

子供「くそっ！逃がすか！！」

ウルフも逃げるのに必死だが、子供リンクも追うのに必死だ。

ウルフは、ピットが移動した滝のほうとは逆に、逃げてしまった。

ウルフ「どうせ挟み撃ちが目的だろ！！」

子供「黙れ!!!」

ピット「来ると思ったよ!!!」

そこには、森の中から出てきたピットの姿があった」

ピット「滝のほうはこないと分かるから、こっちに来て正解だったよ!!!」

ウルフ「フン、前がだめなら横に進めばいい。」

そういつてウルフは、東の方角へと向かっていった。

子供「くっ・・・逃がすな!」

ピット「了解!!」

そうして、ピットと子供リンクは、東エリアへと向かっていった。

ガサッ

ウルフ「ふう、どうやら行ったようだな。」

どうやら草むらに、隠れたウルフ。幸い見つからず、鬼は、東エリアに逃げたと勘違いしたようだ。

ウルフ「さて、危なかった。逆の西エリアに行くか。」

鬼が逃げた方向と逆に逃げるウルフ。しかし、対照的な生存者もいた。

ポポ「ピット君がさっきこちらでつかまったから東エリアにいこ
！」

ナナ「えー、西エリアのほうがいいよ。」

ポポ「じゃあ分かれる・・・？」

ナナ「そうする？」

ポポ「うん・・・」

こうして、ウルフとナナは西エリアに行き、ポポは、東エリアに行く事になった。

次回、ポポの運命やいかに！？

挟み撃ち（後書き）

ピット「なんか誰も鬼になら無いような気が・・・」

i k k i「気のせいだ！被害妄想おおすぎ！」

ピット「はい。」

20年前の島（前書き）

ただいま2時間経過（増やし鬼）

20年前の島

獲物を逃がし、意気消沈の子供リンクとピット。二人はこう思う。

ピット「あのさあ・・・」

子供「なんだ？」

ピット「ウルフ東に逃げたけど、ほんとには北か南に行ったんじゃない?」

子供「そうかもな・・・」

一方ウルフは・・・

ナナ「うわっウルフか・・びっくりしたよ。」

ウルフ「なんだ。ナナか。ポポはどうした？」

ナナ「西に逃げたけど・・」

ウルフ「そうか・・おれは鬼に見つかったが、東に行くと見せかけて西に逃げてきたからな。」

きつと鬼は東に、向かってるんじゃないのか？」

ナナ「うそっ！ポポがんばって・・」

一方鬼2人・・

子供「南に行かない？」

ピット「そうだね!!」

子供「じゃあ行こうぜ！」

ピット「ところで子供リンク、君は何で廃墟エリアとか墓場エリアがあるか知ってる？」

子供「ああ・・・」

子供「この島の中央エリアの山ゾーンの山が、噴火したんだ。そして、この島の人は全滅した。

そして、これからいく墓場エリアに、その人たちが埋まっている。」

ピット「そうだったのか・・・」

子供「さあ、いこう！早く捕まえにいこ！」

ピット「うん！！」

そうして墓場エリアに向かう2人

墓場エリアは、1年に6回、南エリアからほかの島の人が、掃除に来るので、結構きれいだった。

そのころ

ロボット「メタナイトサン、ボクイドウシテイイデスカ？」

メタナイト「別にかまわんが・・・」

ロボット「メタナイトサンモイドウシマスカ？オニガクルヨウナヨカンガシマス。」

その通りである。

メタナイト「さっき北のほうでピットが捕まっただろ！まだ大丈夫だって！」

ロボット「ジャアイドウシマスケド・・・ガンバツテクダサイ！」

そういつてロボットは、移動していった。

メタナイト「さて、おれもがんばらねえと・・・マジか！」

そこでメタナイトが見たのは、鬼の二人だった。

メタナイト「ヤバイな・・・」

ピット「ずいぶん大きい墓場だね・・・」

子供「ここには、約1000人のお墓だからな・・・」

この墓は、名古屋ドーム半分ほどの巨大なものだが、メタナイトは、

ピットたちの近くにいる。

メタナイト「くっ・・・やばいな・・・」

絶体絶命メタナイト！！！！どうなる！？

次回へ続く

20年前の島（後書き）

中日絶好調♪サイコーー！

子供リンクの涙（前書き）

ロボット運いいゝ

子供リンクの涙

自分のいる墓場エリアに、鬼がやってきたメタナイト。
絶体絶命!! どうなる？

メタナイト「強行突破しかないか・・・」

もうあまり鬼との距離が無いメタナイト。強行突破するようだ。

メタナイト「とりやつ!!」

そういつてメタナイトは、墓場から脱出しようとした。

ピット「までっ!!」

子供「逃がすかつー!!」

もちろん二人共気がついた。

メタナイト「くっ・・・あいつら早い・・・」

ずっと座って隠れていたメタナイト、動く準備ができていなかったらしい。

ピット「僕は出口をふさぐ!子供リンクは、そのまま追いかけて!」

子供「ああ、わかった。」

ピットは、動きやすい道を行き、出口をふさぐ作戦だ。

メタナイト「なんとしてもピットより先に出口へ行か無ければ・・・」

しかし、先に出口に着いたのは、ピットであった。

メタナイト「くっ・・・」

この墓場には、出口は3つあるが、そのほかの2つは、とても遠くにある。

子供「観念しろ！」

メタナイト「わかった・・・あきらめよう・・・。」

メタナイトは、ついに止まってしまった。

そして、メタナイトに、子供リンクがタッチした。

ピット「やったあ!!」

子供「ありがとうピット! 君じゃなかったらきつと捕まえられてないよ!」

ピット「さあ、もう帰っていいよ。」

子供「わかった! さよなら!!」

そういつて帰っていった子供リンク。彼の目には、涙が浮かんでい

た。

子供リンクの涙（後書き）

次回、メタナイト確保のリアクションです！！

2人目の鬼（前書き）

訂正 この章までの方角で、西と東が逆になっていました。

もう直してあるので不愉快なかは、もう一度
読んでください。
すいませんでした。

2人目の鬼

前回、出口をふさがれて、つかまってしまったメタナイト、そのときの生存者の、様子です。

メタナイト「くっ・鬼になってしまおうとは・」

ピット「子供リンクも帰ったみたいだし・ここからは分かれて行動しよう！」

メタナイト「・・・ああ・」

そういつて、2人は、別々の方角へと向かっていった。

そのころ、生存者には、こんなメールが送られた。

スタートから、3時間経過。南エリアの墓場ゾーンでメタナイト確保。

現在、鬼は子供リンクが帰ったため2人である。ここからは、捕まると鬼が増え続ける。

ロボット「エエー！メタナイトサンツカマツタンデスカ？」

マリオ「きびしいな・・・」

カービィ「メタナイト君・・・僕より足はやいのにな・・・」

リンク「2人つかまって残り38人か・・・」

ソニック「鬼も作戦を練ってくるから気をつけないと・・・」

一方鬼の二人は、ピットは南エリアの海岸ゾーンへ、メタナイトは、西へと移動し始めた。

ピットは南エリアの海岸ゾーンに移動した。ここには、移動したロボットと、ピーチがいる。

ピット「ふー・・・って・・・あれロボットとピーチじゃん！」

ピーチとロボットを見つけたピット。一気に追いかけるようだ。

ピット「どっちか捕まえられるだろ。そりゃ！」

ピット全力疾走！そのとき、

ロボット「ワッ！！オニデス！ニゲロ！」

ピーチ「えっ・・・キャー！！！」

ロボットとピーチは、無事逃げ切れるのか？

2人目の鬼（後書き）

i k k i 「ルイージあとがき出場ナンバー1」

ルイージ「あっそ・・・」

全力疾走（前書き）

カービー「ごはんがないー（泣）」

全力疾走

前回ピットに見つかったピーチとロボット。全力疾走で捕まえようとするピット。

果たしてどうなる？

ピット「までー！ー！」

ロボット「ニゲルガカチデス。」

ピーチ「キャー！ー！ー！」

全力で逃げるピーチ。しかし、ロボットに抜かれ、ピットもすぐ近くだ。

ピット「はあはあ・・・タッチ！」

ピーチ「はあ・・・捕まっちゃった・・・」

ピーチ確保。 一方のロボット

ロボット「ボクロボットダカラストaminaハモチマスケド・・・ピーチサンハツカマッタヨウデスネ。」

ピット「よし、次はロボット・・・はぁ、逃げられたか。」

ロボットは、今も逃げ続けており、だいぶ離れたようだ。

ピーチ「悔しー！」

生存者に、送られたメール

スタートから4時間、南エリアの海岸ゾーンにて、ピーチ確保。現在鬼は3人。

マリオ「姫が捕まったか……」

ゼルダ「ピーチ……こんなに早く……」

メタナイト「よくやった!! これで鬼が増えた!」

一方カービィは……

カービィ「あ!! 宝箱! 何が入っているのかな!」

そういつて中身を開けるカービィ。中には、食料が入っていた。

カービー「ラッキーー♪」

ピットがピーチを捕まえたとき、メタナイトは、西エリアの廃墟ゾーンにきていた。

メタナイト「誰かいるのか・・・」

そう、彼の近くには、ある生存者が隠れていた。

???「はやくあっちいけよ・・・」

幸い、見つからなかったようだ。

そして数分後・

ウルフ「もうよさそうだぞ。ナナも出て来い。」

ナナ「本当？」

そういつて、公衆のゴミ箱から、ウルフとナナが出てきた。

ウルフ 「危険だな・・」

ナナ 「もう分かれていい？ 私も大丈夫だし。」

ウルフ 「そうか？ じゃあ元気でな。」

そうって、2人は、分かれていった。

と、そのとき！

メタナイト「いたぞ!!」

ナナ「うわーん!!」

ウルフ「くっ・・・いたのか・・・」

そこには、こちらへ猛スピードで、向かってくるメタナイトであった。

ウルフ「ナナは路地裏に逃げろ!! 俺はまっすぐ行く。」

ナナ「うん・・・分かった！」

ウルフは、足の遅いナナを路地裏へ逃げさせて、自分が追いかけて、逃げようという作戦のようだ。

メタナイト「そうはさせるか！」

しかし、メタナイトは、ナナのほうへと向かっていった。

ウルフ「・・・くっ・・・しょうがねえ、あいつの分も逃げるか。」

そういつて、ウルフは森エリアへと逃げた。

一方のナナ。

ナナ「あそこに隠れよ！」

そういつて、近くにあった公園のゴミ箱に隠れた。

ナナ「ウルフとじゃないから、隠れにくいや。」

そうこうしている間に、メタナイトが来た。追跡がとても遠くからだったので、何とか隠れるのに、間に合った。

ナナ「お願いだから通り過ぎて・・・」

ナナが小声でそうつぶやいた。

メタナイト「どこだ！！ナナ！」

メタナイトは、気がつかず、通り過ぎたようだ。

メタナイト「ナナはどこにいつ・・・」

そういつて、メタナイトの目に飛び込んできたのは、大量のダンボールだった。

スーパ―の裏なのだろう。

ここは、もともと廃墟だが、（ウルフとナナの隠れたところも）下
がコンクリートなので、
土に返らず残っていた。

メタナイト「ここにいるだろー!」

そういつて、ダンボールをどかし始めたメタナイト。しかし、どこにも入ってなかった。

メタナイト「最後の1個だな・・」

そして、そのダンボールをどかした。

??? 「なにっ!!」

メタナイト「いたっ! タッチ!!」

??? 「くっ・スネークより早く見つかったか。

スネークより遅かったら、絶対見つかってないのに・・・

」

そういつて、ダンボールの中に入っていたのは、サムスであった。

メタナイト「ということで、確保だ。」

サムス「はぁ・・・仕方ないか。」

そして、生存者に、メールが届いた。

スタートから4時間30分、西エリア廃墟ゾーンにて、サムス確保。
現在鬼は4人。

ナナ「逃げという正解だった・・・」

メタナイトから逃れたナナは、中央エリアの滝エリアに来ていた。

ネス「ずいぶんペースが速いね・・・」

ロイ「女子ってそんなに早く捕まるもんなの？」

続々と確保されていく生存者たち。この鬼地獄から逃げられるのか！？

全力疾走（後書き）

20年前の島、今日編集しました！

（墓場は結構ほかの島から掃除に来る人がたくさんいるのできれいだ
ということだけです。）

スタートから5時間経過（前書き）

アイクラが2人に分かれたので、40人になりました。

スタートから5時間経過

現在スタートから5時間経過。鬼は現在ピット、メタナイト、ピーチ、サムスの4人。

残り時間は67時間！生存者はどうなるのか！？

ピット「5時間で4人か・・・いいペースだな。」

メタナイト「お仕置きだけは絶対しない！」

マスハン「うむ・・・おもしろくなってきたぞ！！」

常に全員を監視できるマスハン。

マスハン「ZZZZZZ・・・」

マスハンは、眠りだした。しかし、録画はしていて、あとで見られるらしい。

現在のエリア情報

北エリア

海岸ゾーン ソニック、リュカ

森ゾーン なし

磯ゾーン ポケトレ ロイ

東エリア

海岸ゾーン ファルコン ポポ

森ゾーン プリン ドンキー

洞窟エリア マルス ウォッチ

高台エリア ファルコ、ピクオリ

南エリア

海岸ゾーン なし

森ゾーン ウルフ トウーン クツパ

墓場ゾーン なし

西エリア

海岸ゾーン ゼルダ、ピチュー

廃墟ゾーン スネーク アイク

森ゾーン ルイージ ガノン ピカチュウ ナナ

中央エリア

森ゾーン カービィ デデデ ヨッシー ネス

滝ゾーン ルカリオ

湖ゾーン デイディー フォックス ワリオ

山ゾーン マリオ ミュートー リンク

いったいどうなる！？

次回、次回緊急事態発生！？

スタートから5時間経過（後書き）

サバイバル――

追い込み作戦（前書き）

サマーパーフェクト終わったー！
（宿題）

追い込み作戦

現在鬼は4人。そして、鬼は携帯電話で連絡を取り合うことができる。

そこに目をつけたピットは、メタナイトと、連絡を取り始めた。

ピット「ねえ、メタナイト。」

メタナイト「なんだ？」

ピット「たしか東エリアに、洞窟ゾーンっていうのがあったよね？」

メタナイト「ああ・・・」

ピット「そこで出口をふさいでつかまえない？」

メタナイト「ピットにしてはいい案だな・・・よし、やってみるか
！！」

ピット「じゃあメタナイトは先に行ってて！僕2人に連絡してから
行く！」

メタナイト「ああ、分かった。」

そうして20分後・・・

メタナイト「ここだな・・・」

サムス「ずいぶん入り組んでいるわね・・・」

4人が集まり、ついに突入するようだ。

現在、この洞窟ゾーンには、マルス、ウォッチがいる。

ウォッチ「ウム・・・キタヨウデスネ・・・」

洞窟の入り口辺りにいたウォッチ。鬼に気がついたようだ。

メタナイト「サムス、ピーチ、お前たちは2つある出口をふさいでくれ。ピット、お前は

ここをふさぐんだ!!」

3人「了解！」

メタナイト「では、10分後に私がこの洞窟の中に入る。各自持ち場に着け！！」

（言ってみたかったんだよねー）

3人「はい！」

そして10分後

メタナイト「じゃあ俺は中に入る。お前もしっかりな。」

ピット「分かってるって！！」

そういつて、メタナイトは洞窟の中に入っていった。

ウォッチ「ハヤクイケ・・・」

入り口の近くに隠れているウォッチ。幸い見つからなかったようだ。

ウォッチ「ピットウゴカナイカナ・・・」

ピットの隙を見て脱出しようとするウォッチ。

一方のメタナイト。

メタナイト「うん・・・？あれは・・・」

そういうメタナイトの先には、マルスの姿があった。

マルス「ほかになんかいアイテムないかなー」

メタナイト「チャンス！」

メタナイトは、また全力疾走で、マルスを捕まえに行った。

マルス「バレバレなんだよ！」

そういうと、マルスは低いメタナイトの身長を飛び越した。そして、今度はピットのほうの入り口に向かって逃げ出した。

メタナイト「ピット！洞窟の中に入れ！！」

ピット「なに！」

ピットは、洞窟の中に入りすぎてしまったため、ウォッチに、逃げる隙を与えてしまった。

ウォッチ「ソット、ソット・・・」

上手くウォッチは、逃げれた・・・

ピット「タッチ！！」

ウォッチ「ミツカッテイマシタカ・・・」

ピット「まあね、それより僕マルスの確保に行くから！」

ウォッチ「ガンバツテクダサイ！」

そういつている間に、マルスは出口へと近づいていた。

マルス「くっ・・・ピット・・・」

マルスはまた、飛び越えようとした。しかし背の高いピットは、越えられなかった。

ピット「タッチ!!」

マルス「早く捕まったな・・・」

メタナイト「やるな、ピット!」

ピット「ありがとう。僕ウォッチも捕まえたんだよ！」

メタナイト「ほう、やるじゃんか！」

ウォッチ「コレカラハ、ボクモオニデス。」

そのころ・・・

リンク「メールです。」

ドンキー「また誰か捕まったのか・・・」

メール内容

スタートから6時間、東エリア洞窟ゾーンで、マルス、ウォッチ確保。

現在鬼は6人。生存者は残り34人。

アイク「マルス・・よりによってこんなに早くつかまるとは、」

フォックス「はやりすぎねえか!? まだ6時間だぜ、」

ポポ「いっぱい鬼いるんだ! 早く東エリアからだよ!」

ソニック「6時間って、俺の予想より4人も鬼多いぜ!」

次々とあせる生存者たち! 果たしてどうなるのか!?

追い込み作戦（後書き）

本田↓リアルマドリード

増やし鬼の脅威（前書き）

I K K I 「果たしてルイージは本文に出られるのか!？」

ルイージ 「でれるでしょ!！」

I K K I 「第・・・」

ルイージ 「???？」

I K K I 「30位!！」

ルイージ 「おためしかっ! かよ!！」

増やし鬼の脅威

現在まだ6時間しか経過してないにもかかわらず、現在鬼は6人。

このままでは、全滅となる可能性が高いが、果たしてどうなる!?

6時間経過 午後6時

スタートしたのが、昼の12時で、もう日が暮れている。

マリオ「日没か・・・見つかりにくくてラッキー♪」

ネス「今6時・・・僕いつも9時に寝てるからな・・・」

プリン「もう眠いでしゅ……」

長友選手「睡眠中も油断できないな……」

一方の鬼

サムス「ねえ、メタナイト、いい案があるんだけど……」

メタナイト「なんだ？」

サムス「鬼も睡眠をとったほうがいいと思うの。だから、もう休まない？少し早く起きれば

生存者も油断してると思うし……」

メタナイト「そうだな。よし、鬼本掘地に戻るぞ！」

5人「はい！」

そういつて、鬼は睡眠をとるために、鬼本掘地に戻っていった。

一方、寝ている逃走者もいた。

ルカリオ「ZZZZZ・・・」

スタート時から、ずっと眠っているルカリオ。彼は今中央エリアの滝ゾーンにいる。滝の裏側に隠れているのだ。

ルカリオ「ぐあー」

ルカリオは起きたようだ。

そして、もう一人眠っている生存者がいた。

カービィ「ZZZZZZ・・・・」

こちらにも眠っていた。起きそうに無い。スルーしよう。

一方鬼は、東エリアから、鬼本拠地のある西エリアへと向かっていた。

メタナイト「ふう、ついた。」

ピット「遠かったね。」

サムス「とりあえず休憩しましよ。朝の3時に集合ね。」

5人「ああ。」

鬼は休憩に入った。

この先、生存者と睡眠の、激しい戦いが、今、始まる！！

次回、途中経過発表です。

増やし鬼の脅威（後書き）

作者は、いつも11時半に寝ます。
作者多分2日は行きます。

（逃げ足は、意外と速いので）

途中経過（食料など）（前書き）

落合監督しつかり・・・

途中経過（食料など）

途中経過を発表します！私が書いてないものもありますが、結構皆宝箱とってます。

食料ランキング

宝箱1個Ⅱ1箱

リンク、カービィ、ネスⅡ2箱

上の人以外Ⅱ1箱

マリオ「雑だなー・・・」

リンク「カービィあいつ食料足りるのか？」

カービィ「足りるわけ無いじゃん・・（泣）」

フォックス「わかった、わかった、俺の缶詰1個やるからなくな！」

カービィ「うん!!」

アイテム途中経過

トゥーン「たしか、もうつかまったけど、マルスが双眼鏡とっただけだね。書いたのは、」

アイテム一覧

ケムリ球Ⅱガノン、ルカリオ

双眼鏡Ⅱマリオ

スマッシュボールⅡソニック、リュカ

落とし穴の種Ⅱトウーン

スイッチ（お楽しみ）Ⅱルイージ

テントIIロボット

ルイージ「スイッチってめっちゃやばそう・・・」

ソニック「俺のスーパーソニックは無敵だぜ!!」

i k k i「ほら、はやくにげろ。」

全員「そーだったー!!!!」

そうって、全員逃げていった。

キャスト

マリオ

リンク

フォックス

カービィ

ソニック

トウーン

一応ルイージ

マリオ「キャストいらなくね？」

次回いよいよ鬼が起きます！

途中経過（食料など）（後書き）

久しぶりにギャグ書いたー！

鬼起床 恐怖再臨(前書き)

感想くれた人ありがとうございます！これからも評価と感想お願いします！

鬼起床 恐怖再臨

午後6時、午前3時に起き、寝不足の生存者を狙う作戦に出た鬼たち。

果たして生存者の運命はいかに・・・

メタナイト「よく寝たな・・・」

マルス「生存者はこんなにゆつくりできないんだろうね・・・」

ピーチ「さあ、寝不足の鬼を狙うわよ！」

鬼「エイエイオーー！」

ちなみに、現在の寝不足状況

睡眠5時間以上
ルカリオ
カービィ
ロボット
ピカチュウ
ピチュー
ルイージ
ウルフ

睡眠5時間以下1時間以上||マリオ ソニック ポケトレ リュカ
ネス ゼルダ

プリン
ガノン

アイク スネーク ロイ ポポ ロイ

ツクス トウン ドンキー ファルコ フォ
ピクオリ

オ
長友選手

ヨ
ッ
シー
ファ
ル
コン
リン
ク
ワリ

睡眠1時間以下
ナナクツパ
ディディ
デデデ
ミューツ

ウルフ「ZZZ・・・はっ！！つい寝てしまった。だが、結構体が軽くなったな！」

ピットと子供リンク、メタナイトに追われたウルフ。そりゃ疲れる
だろ。

カービィ「ZZZZZZZZ・・・」

一番長い10時間寝ているカービィ。はたして起きるのか？

デデデ「よし、そろそろ寝るゾイ！これから鬼も眠るころだぞい！」

大ハズレな大王

クッパ「さて、寝るか！ここはいい場所だ！」

ルカリオが寝た滝エリアの滝の裏にやってきたクッパ。ここで寝る
ようだ。

ルカリオ「ちっ・・クツパにとられたし・・」

しぶしぶ移動するルカリオ

ルカリオ「飯でもさがしにいくか♪」

何事もポジティブに考えるルカリオ。

ナナ「眠いーポポは大丈夫なのかな？」

心配性なナナ。ほとんど眠ってないようだ。

メタナイト「おい・・見ろ・・???だ・・」

ピット「ほんとだ・・あいつセリフ多いからずるいんだよね・・」

メタナイト「よし・・・四方八方に挟みうちにするぞ・・・」

5人「分かりました・・・」

鬼の集中攻撃を受けることになった絶体絶命の生存者は誰なのか？
次回に続く！

鬼起床 恐怖再臨（後書き）

最近やっと思いが分かってきた・・

ピカチュウ「機械オンチだからでチュ。」

i k k i 「・・・」

四方八方（前書き）

2000アクセス突破！！読者の皆様ありがとうございます！！

四方八方

現在、鬼は6人全員で行動し、中央エリアの〇〇〇ゾーンの
ある生存者一人を、

四方八方から囲むことに成功した。はたして生存者はどうな
るのか？

また、その生存者は誰なのか？

長友選手「しんどい・・・開始早々追いかけられた疲労がまだ残っ
てる・・・」

相当つらいようだ。

ポケトレ「よし・・・鬼は全員行ったようだ・・・」

鬼本拠地にいるポケトレ。鬼本拠地の建物は、鬼以外立ち入り禁止
だが、

外は自由である。

ポケトレ「誰も休憩に来るなよ・・・」

ロイ「宝箱あった!」

現在中央エリアの山ゾーン宝箱を見つけたロイ。中には、ルイージのと似たスイッチがあった。

ロイ「山エリアで追われたときに使え・・・か。ここにいるか。
よし、休憩しよ! 小説的にもコメント言ったし。↑(必要か
?)」

鬼たち「とりゃああ!!!!!」

ロイ「!!!!!!」

ロイはとつさに振り向いた。

??? 「ギャー!」

メタナイト「捕まえたぞ!」

ロイ「うつ・・・て、捕まってない?」

??? 「ギャー!」

ロイ「近くで誰か捕まったんだ・・・逃げよう!」

そういつて、山エリアから滝エリアに逃げたロイ。

ロイ「1時間ぐらいしたらもう一回戻ろう。」

そのころ鬼たち

全員「とりやああ!!」

???「!!!!!!」

メタナイト「捕まえたぞ!!」

果たして捕まった生存者とは？

リンク「うわっ……最悪……」

リンクだった。

リンク「鬼か……悔しい……」

マルス「鬼7人だ！」

サムス「どんどん捕まえるために分裂しましょ！」

全員「ああ！」

そういうと、メタナイト以外はほかの生存者を探しに行ってしまった。

リンク「俺も・・・鬼なのか？」

メタナイト「そうだ。いくぞ。」

そういうとメタナイトは去っていった。

マリオ「メールだ。」

ロイ「さっき捕まった人の情報だ・・・」

メール内容

午前3時30分、スタートから15時間30分経過。

中央ゾーン山エリアにて、リンク確保。鬼は7人。生存者は33人。

フォックス「暗闇でも捕まるのかよ・・・」

ゼルダ「リンク・・・捕まってしまいましたね。」

ガノン「ふあああ・・・リンク確保か。よし、目標達成だ。」

ついにリンクも捕まってしまい、残り33人。増え続ける鬼から逃げられるのか？

次回に続く。

四方八方（後書き）

評価お願いします！感想も！

高飛車な男（前書き）

ソニック「スーパーソニック光るから余計危ない・・・」

高飛車な男

鬼が7人に増え、自由を奪われていく生存者たち。

残り56時間30分を逃げ切れる者は現れるのか？残り33人

ミューツー「ふん、鬼7人なんてまだまだ少ないもんだぜ！」

自分のプライドが高いミューツー。まだ一睡もしてない。

ミューツー「俺は幻のポケモンだからな。睡眠なんか無くてもへっちゃらなんだよ！」

ハハハハハ！！」

サムス「??? さっき誰かの声がしたけど・・・」

現在不幸にも鬼がたくさん集まっている山ゾーンにいるミューツー。

それにもかかわらず大声を出す高飛車はアホと同然だろう。

ピット「ミューツ―・・・チャンスだ!!」

そういうとピットは、サムスに連絡を取った。ピットは隠れているサムスに気がついたらしい。

ピット「サムス、今からそっちにおびき寄せるけどいいな？」

サムス「・・・ああ。」

そういうと、ピットは、ミューツ―めがけて全力疾走していった。

ミューツ―「ハハハハハ！愚か者が！そんなものすぐ逃げればいいわ！」

そういうと、ミューツ―はまんまとサムスのほうに逃げていった。

ピット「はあ、はあ、もうつかれたよ・・・（全部ウソ）」

ミューツ―「ふん、こんな愚か者ほつといて先に行くか。」

そういうと、気がついてないのかサムスのほうに一直線に移動してきた。

サムス「あんたが愚か者だよ！」

そして、サムスは、真正面にきたミューツ―をタッチした。

ミューツー「うおおおー！私がいこんなに早く捕まるとは……」

ピット「サムスよかったよ。さっきのプレー。」

サムス「ありがとう。ピット」

ピット「これで鬼8人か……」

サムス「48時間で終わらせたいわね……」

ミューツー「はあ、まあさっさと終わらせるか。」

長友選手「誰が捕まったんだ？」

ウォッチ「ダレカガツカマエテクレマシタ。」

メール内容

午前4時、開始から16時間経過。

中央エリア山ゾーンにて、ミューツ―確保。現在鬼は8人。生存者は32人

これより、生存者はバッグの中にあるゼッケンをつけてくれ。

さらに、これよりサポーターとして、監視カメラ兼質問装置の小型全自動カメラを出動させる。

質問は、必要なことだけを言うようになっている。

マリオ「これがその装置か・・・」

小型全自動カメラは、人間の耳ほどの大きさでいる。かたちは、スタフィーの形。

ピチュー「ついにDXメンバーも捕まったでちゅね・・・」

フォックス「ゼツケンって、緑色か・・・草むらだと安全だけど、相手がわかんないな。」

まだ16時間しか経過してないが、現在鬼は8人。この増え続ける鬼から逃げられるのか？

次回に続く。

高飛車な男（後書き）

ミューツー「われが捕まるとは・・・」

ピット「僕なんて開始40分で捕まっただし・・・」

浮遊鬼（前書き）

この日2話目！

浮遊鬼

たった16時間しか経過してないが、鬼は8人と超ハイペースだ。

このままで生存者は大丈夫なのか？残り32人

トウーン「やばいな・・・暗闇でもたくさん捕まる・・・」

ファルコ「安心できねえな・・・」

ロボット「ZZZZZZZ・・・」

テントの中にいるロボット。なぜか安心のようだ。

ファルコン「宝箱あった!」

そういつて宝箱を開けるファルコン。その中には、落とし穴の種だった。

ファルコン「・・・よし、行くか!」

ミューツー「よし・・・いたな・・・」

ファルコンを草むらで見るミューツー。

ファルコン「ん?ミューツーか・・・種仕掛けとくか・・・」

そういうと、ファルコンは、ばれないように種を仕掛けた。

ミューツー「全力疾走!!」

しかし、砂浜だったので、あまり早く走れないと予想したファルコン。

ファルコン「ここまでこいよ!」

しかし、ミューツーは、浮遊して移動するので、そんなもの関係なかった。

ファルコン「(まあ落とし穴の種があるし)かかってこいよ!」

ミューツー「ばかな、私に落とし穴の種なぞきかぬ!」

ミューツ―は、落とし穴の種を軽々念力で跳び越した。

ファルコン「マジか！ヤバイヤバイヤバイ！」

ミューツ―は、そんなことお構いなしに、ファルコンに全力疾走していった。

ミューツ―「タッチ。」

ファルコン「チクショー！！油断しすぎた！」

いつもならそこそそ足の速いファルコン。しかし、砂浜なので、そうもいかなかった。

ファルコン「ちっ・・・鬼か・・・」

悔しがるファルコンから、ゼッケンが消えた。

まあさっさと終わらせるぜ！

プルルル

トゥーン「また電話・・・」

デデデ「さっきの連絡から30分たってないゾイ！」

メール内容

午前4時30分、開始から16時間30分経過。

東エリアの海岸ゾーンで、ファルコン確保。残りの生存者は、31人。

ロイ「あのファルコンが！2番目に足速いのに！」

スネーク「たぶん砂浜だからこけたんだろな・・・」

ヨッシー「大丈夫ですかね・・・あと1人捕まったら10人ですよ！」

ロボット「ヤバイ・・・モウオキナイト・・・」

あせるロボット。しかし、出てきたとき、偶然マルスが通りかかった。

ロボット「ギヤアアアアー！」

マルス「逃がすか！」

足の速さでは、マルスのほうが早く、差もあと少しだ。

ロボット「ウツ・・・ネオキダカラ・・・」

寝起きなので、走れないロボット。

マルス「タッチ！」

ロボット「アアーーッ！」

ロボットの体からも、ゼツケンが消えた。

ロボット「オニ・・・」

ピリリリリリリ・・・

ゼルダ「また！」

メール内容

南エリア森ゾーンにて、ロボット確保。鬼は10人になった。

10人に増えた鬼。果たして運命やいかに！？

浮遊鬼（後書き）

次回、まとめです（途中経過）

途中経過（2回目）（前書き）

ピカチュウ「これって i k k i が確認のためにつくったんだよね？」

i k k i「まあルイージを忘れるからね。」

途中経過（2回目）

開始から16時間30分経過時点のデータです。

鬼Ⅱ10人 ピット、メタナイト、ピーチ、サムス、ウォッチ、
マルス、リンク、ミューツィー

ファルコン、ロボット

生存者Ⅱ30人

食料

3箱Ⅱファルコ、ピカチュウ、フォックス、カービィ

2箱Ⅱマリオ、長友選手、ソニック、ウルフ、ネス、ピチュー

1箱Ⅱその他の人

アイテム

双眼鏡Ⅱマリオ、ポポ

ケムリ球Ⅱガノン、ルカリオ

スマッシュボールⅡリユカ、ソニック

落とし穴の種Ⅱトウーン

スイッチⅡルイージ

山ゾーンスイッチⅡロイ

木の実発見器Ⅱネス

現在の位置

北ゾーン

海岸ゾーン リュカ プリン

森ゾーン ソニック

磯ゾーン ポケトレ

東エリア

海岸ゾーン
なし

森ゾーン
デイデュー
カービー

洞窟エリア
ピカチュウ
ワリオ

高台エリア
ピクオリ
ファルコ

南ゾーン

海岸ゾーン クツパ ナナ

森ゾーン ルイージ トウーン ウルフ

墓場ゾーン ピチユー

西ゾーン

海岸ゾーン ゼルダ

廃墟ゾーン スネーク ルカリオ

森ゾーン デデデ ドンキー ネス

中央エリア

森ゾーン ロイ マリオ 長友選手 ポポ

山ゾーン ヨッシー

湖ゾーン アイク フォックス

滝ゾーン ガノン

生存者サミット

マリオ「まさかファルコンが高をくくって捕まるとは・・・」

ルカリオ「ミューツもそうじゃ無いのか？（笑）」

カービィ「以外にクッパ、デデデ、ガノンの3人がんばってるね。」

3人「足遅いののがんばってるだろ！」

マリオ「ルイージハンデ過ぎるだろ！」

ルイージ「僕だってかかれなくて大変なんだぞ！」

ゼルダ「影が薄いといろいろ苦労するものなのね。」

ウルフ「俺なんて影が濃すぎて2回も追われたぜ」

ルイージ「影が濃いほうが目立っていい・・・」

トゥーン「ピットは早過ぎないか？40分で鬼になるって・・・」

ヨッシー「まあピットはそういうキャラだから。」

マリオ「それルイージじゃないのか？」

全員「ははははは！」

ルイージ「笑えない・・・」

ピクオリ「まあなるべく捕まらないようにがんばっていきましょー
！」

全員「オーー！」

鬼サミット

メタナイト「ファルコンはいい戦力になるな。」

ピーチ「ガノン、クッパ、デデデは逃がせば逃がすほど恥ずかしいわね・・」

ピット「まあ4人に1人鬼なんだし、まだ55時間30分あるから大丈夫だよ。」

サムス「そういえば作者時間計算のために電卓パソコンの上に常備してあるらしいよ。」

マルス「まあサクッと終わらせちゃいましょうよ!」

全員「オーーーーー!」

（この2つのサミットは、皆の通信機で行われたものです。話しているときは、時間とまっています。）

次回ゲーム再開！生存者のナイスプレー続出です！

途中経過（2回目）（後書き）

この日3話書いてツケなくなったー！（1日1話ペース）

アイテムの力（前書き）

電話でネットでそんぽ24

アイテムの力

現在10人の鬼が、島で生存者狩りをしている。果たして生存者は大丈夫なのか？

メタナイト「さて、ここまで来たが・・・誰かいるのか？」

北ゾーンにやってきたメタナイト。そして、彼を恐れる1人の生存者がいた・・・

「???」
「うう・・・鬼いるよ・・・よりによって結構早いメタナイト・・・」

メタナイト「ん？声が聞こえたが・・・」

そういつて、メタナイトは、その生存者に近づいていった。

リュカ「何でこっち来るの！（怒）」

そう、その隠れている生存者はリュカだった。

リュカ「スマッシュボール使うしかないか・・・」

メタナイト「リュカ!! お前か!!」

そのとき、リュカがメタナイトの見つかった。

??? 「リュカ君見つかった・・・」

そして、この北エリア海岸ゾーンには、もう一人の生存者がいた。
もちろん、リュカは気がついていない。

リュカ「こわいよこわいよこわいよ・・・(泣)」

メタナイト「残念だが捕まってもらう!」

リュカ「うわぁー……PKスターストーム!!」

そう、リュカは、宝箱からスマッシュボールをとっていたのだ。

メタナイト「やめろ!・・・うわぁー」

メタナイトは、あたってしまい、島のどこかに吹っ飛んでいった。

???「リュカ君こっちまで飛んでくる・・・」

アイテムは、自分以外の生存者にも当たる。すなわち、さっきの生存者も例外ではない。

プリン「プリーイッ!!!」

隠れていたのはプリンだった。

プリン「なんで私まで飛ばされるでプリーー!?!」

プリンもどこかに飛ばされていた。

ドスッ！

メタナイト「・・・・・・・・飛ばされたな・・・・・・・・」

相当な距離を飛ばされたメタナイト、中央エリアの森ゾーンまで来たようだ。

メタナイト「そういえば・・・・・・・・日も照ってきたな・・・・・・・・」

午前五時になり、日が照り始めた無人島。

プリン「うう・・・・・・・・」

ルカリオ「やっと気がついたようだな。」

プリン「何でルカリオ君が・・・」

ルカリオ「俺はずっとここにいた。お前が飛ばされてきたんだろ。」

プリン「そうプリ・・・」

廃墟エリアまで飛ばされたプリン。

ルカリオ「多分お前飛ばされて正解だったぞ。」

プリン「えっ・・・？」

果たしてルカリオの言ったわけとは？

次回に続く。

アイテムの力（後書き）

次回、重大な報告があるので、必ず見てください！

リスク（前書き）

大事な連絡はあとがきで！

リスク

現在午前5時。日が照りはじめた。さらに見つかりやすくなり、

生存者の危機！果たして大丈夫なのか？

プリン「ルカリオ、何で飛ばされて正解なんでしゅか？」

ルカリオ「落ち着いて考えろ。あのリュカのPKスターストームはここでも分かるほど

でかかったんだぞ！あんなもん絶対鬼近づいてくるって
！」

プリン「なるほどでしゅ。じゃあもう行くでゅ。」

そういうと、プリンは廃墟エリアを出て、森ゾーンへと逃げていった。

リュカ「ふう、危なかった。」

メタナイトを追い払って一安心のリュカ。まだこの恐怖には気がついてないようだ。

サムス「いたわ！リュカよ！」

リュカ「逃げろ！」

全力疾走するリュカ。しかし、前方に・・・

ウォッチ「バレバレデスヨ！」

リュカ「くっ……」

サムス「タッチ！」

リュカ「うつ……捕まっちゃった。」

ピリリリリリ

メタナイト「たぶんほかの鬼が捕まえてくれたんだな……」

ルカリオ「ほらな・・・」

メール内容

ゲーム開始から17時間15分経過。午前5時15分、
北エリア海岸ゾーンにてリユカ確保。残り29人

プリン「やっぱり捕まったでしゅ！やばいでしゅ！」

ネス「そんなあ・・・」

そのころ・・・

ロボット「カンネンシロ！」

ワリオ「ここまで来てみるワッハッハ！！！」

ロボットに見つかったワリオ。しかし走力は圧倒的にワリオのほうが有利だ。

ワリオ「ん？なんか開けたぞ。海岸か？」

東エリア海岸ゾーンに出たワリオ。

ロボット「ソノクツジャアルケマイ！」

ワリオ「ワッハッハ！そんなの加工してあるにきまつてるだろ！」

ズボッ！！！！！！

ワリオ「なんだなんだ？」

ワリオは、ファルコンがしかけてそのままだった落とし穴の種にはまったのだ。

ロボット「チャンス！」

ワリオ「までまでまで」

ロボット「タッ!!」

ブオッッ!!

ワリオ「あぶなかった・・・」

ワリオは、ためていたワリオっぺでぎりぎり脱出していた。

ワリオ「逃げろー!」

ワリオの全力疾走は、マリオよりも速い。

ロボット「ニゲラレタ・・・」

森に逃げ込まれ、見失ったワリオ。

ワリオ「はぁはぁ・・・」

間一髪逃げ切ったワリオ

現在5時30分。残る生存者は29人。逃げ切れるのか？

リスク（後書き）

重大なお知らせを発表します！

これから、敗者復活してほしい人のアンケートを取ります！

締め切り8月13日で、1位を復活させます！

どしどし応募してください！

遠慮しなくてかまいません！

ちなみに、この話までです！（敗者復活させられるのは）

スイッチ（前書き）

敗者復活アンケート気軽に書いてください！名前だけでもいいです！

スイッチ

現在鬼の大量が巡回している無人島。生存者たちは大丈夫なのか？

ネス「リュカこんなに早く捕まるなんて・・・」

スネーク「脅威的な速さだな・・・」

リュカ「早くこんな島出たい・・・」

デデデ「なんか目標よりもめっちゃ行ってるゾイ！」

目標時間が8時間のデデデ。だいぶ目標更新のようだ。

ルイージ「宝箱あった！」

宝箱を発見したルイージ。

中身は、またスイッチである。

ルイージ「またスイッチか・・・1個押してみるか・・・」

そういつて、ルイージは、最初に見つけたスイッチを押した。

ポチッ！

中から、カプセルに入ったスターが出てきた。

ルイージ「すごいや！これで一度は逃げれる！」

自信が出てきたルイージ。

そのころ、鬼全員はとある作戦を立てるために、鬼本拠地に戻っていた。

メタナイト「よし！全員集まったな。これより南追い詰め作戦会議を開く。」

マルス「メタナイト、どんな作戦なの？」

メタナイト「簡単に言えば、南エリアの北側から、生存者を大量に海岸ゾーンに集めて、

一網打尽にする作戦だ。」

ファルコン「成功させようぜ！鬼増えたら早く終わるからな！」

メタナイト「じゃあしゃっばっ！」

全員「おおおっ！」

ネス「北に行こうか・・・そこにいたドンキーとデデデ誘って・・・」

さっきの会話を盗み聞きしていたネス。

鬼本拠地に鬼が集まるので、怪しいと思ったようだ。

ネス「移動移動!!」

そういつて、ネスはドンキー、デデデを何とか見つけ出し、北へと逃げた。

鬼「開始!」

その合図で、午前6時30分、作戦が始まった。

現在南エリアにいるのは、

クッパ、トウーン、ナナ、ピチュー、ウルフ、ルイージの6人。
大丈夫なのか?

次回に続く。

スイッチ（後書き）

敗者復活投票1人一回にしてください！

南追い詰め作戦（前書き）

敗者復活アンケート読んだら投票してください！絶対に！

南追い詰め作戦

鬼たちの南追い詰め作戦にかかっている事になった
クツパ、ルイージ、ウルフ、トゥーン、ナナ、ピチュー
の6人。

果たして大丈夫なのか？

ナナ「ルイージ！」

ルイージ「ひゃっ！！！ど、どうしたの？」

ナナ「ん？ルイージなに持ってるの？」

ルイージ「宝箱からとったスターだよ！」

ナナ「ふーん。」

ルイージ「これで1度は・・・って、ん？」

ルイージは、カプセルの内側に何か書いているのを見つけた。

そこには、これは蛍光塗料とかかれていた。

ルイージ「なんじゃそりゃー！」

ナナ「なんで！追われたとき一緒に逃げようと思ったのに！」

そこに近づく鬼・・・

ピット「いた！」

ルイージ「見つかった！！」

ナナ「かして！」

そういうと、ナナはカプセルを取り、スター兼蛍光塗料を自分に当てた。

ピット「うつ・・・」

ナナ「ルイージも逃げて！」

ナナはそういうと、ピットに突進していった。

ピット「飛ばされるよりはましか・・・」

そういつてピットは、少し後ずさりした。

ナナ「じゃあねー！」

そういうとナナは、北に逃げていった。

ピット「追いたいけど約束は守らないと・・・」

そのころルイージは、西ゾーンに向かっていた。

ルイージ「何とかして逃げないと・・・」

しかし、その先には・・・

メタナイト「いたぞ！」

今なんとなく鬼のリーダーのメタナイトがいた。

ルイージ「ひゃっ!!」

今度は鬼の作戦の南に逃げるルイージ。

メタナイト「作戦通りだし・・・ほっておくか。」

メタナイトは追おうとはせず、ルイージを南へ逃がした。

ルイージ「はあ、はあ、何とか助かった・・・」

作戦を知らないルイージ。

そのころある2人が危機に陥っていた。

トウーン「逃げる逃げる！」

クツパ「ギャー！ー！」

この二人を追う鬼とは？

ミューツー「逃がしませんよ。フッフ・・・」

トウーン「ああ・・・もう無理っぽい・・・」

スタミナ切れのトウーンリンク。

二人は鬼とは、もう30メートルほどしかない。クツパも、何とかトウーンに並んで逃げている。

トウーン「あっ・・・」

トウーンはこけてしまった。そのとき、何かが出てきた。

クツパ「大丈夫か？」

意外とやさしいクツパ。トウーンを見る。

ミューツ「フッフ・・・トウーン君、さようなら・・・」

トウーン「これまでか・・・」

トウーン「はぁ・・・って捕まってる？」

トウーンは気がつくど、クツパの背中にいた。

クツパ「ここまで来れば大丈夫だな。」

そういつて、クツパはトウーンを背中からおろした。

クッパ「お前がいなかったら多分俺も鬼になっていただろうな。」

トゥーン「なんで大丈夫だったの？」

クッパ「お前の持っていた落とし穴の種をダイレクトにあいつにぶつけたんだ。」

あいつは地面に投げるだけだと宙に浮いたままになるから効果が無いんだ。」

トゥーン「そんな頭が働くなんて・・・」

少しクッパを尊敬したトゥーン

クッパ「とりあえず分かれて逃げるぞ。」

トゥーン「ああ。」

そういうと、二人は別々の方へと歩いていった。

現在南エリアにいるのは、3人。大丈夫なのか？

次回に続く。

南追い詰め作戦（後書き）

アンケート締め切り15日に変更です。

13日から福岡に行くのでかけません（16日まで）
そこを理解してください。

詰められた生存者（前書き）

アンケートは、票が少ないので、連絡するまで延長にします。

詰められた生存者

南追い込み作戦にかかったことを知らないルイーダ、ウルフ、ピチューの3人。

果たして大丈夫なのか？

ウルフ「宝箱あった！」

宝箱を見つけたウルフ。しかし・

ピーチ「みつけたわ!!！」

ピーチに見つかってしまった。

ウルフ「手荒なまねはしたくないが・・・」

そういうと、ウルフは・・・

ウルフ「ちよいとすまねえな!!」

ピーチ「キャー!」

ウルフは、宝箱ごと、ピーチに投げつけた。

ピーチ「いたいー」

ウルフ「おさきに！」

そういうと、ウルフは北に逃げていった。

ピーチ「1人ぐらいなら逃がしてもいいか・・・」

まだナナ、トウーン、クツパの3人も逃げたことを知らないピーチ。

ピチュー「鬼が来た・・・」

おびえるピチュー。しかし、それはルイージであつた。

ルイージ「ふーー」

ピチュー「ルイージさんか・・・」

しかし、話しかけようとしないうピチュー。

そこへ・・・

メタナイト「全員集合！今の中に南ゾーンの生存者がいるはずだ！」

サムス「そう仕掛けたからね・・・」

ピット、ミューツ、ピーチ「ああ・・・」

メタナイト「よし！じゃあピットとサムスは、2つある入り口をふさげ！！」

あとの全員は、中で搜索するぞ！！」

そういうと、鬼は全員位置についた。

それを見ていたルイージとピチュー・・・

ピチュー「ルイージは大丈夫かな・・・」

ルイージ「なんで？作戦だったのかよ！」

ピチューの存在に気がついてないルイージ

ピチュー「隙ができたなら逃げないとでちゅ・・・」

結構サムス側の入り口に近いピチュー。それに比べ、入り口から結構遠いルイージ。

ルイージ「搜索が終わるまで隠れるしかないのか・・・」

しかし・・・

サムス「いたわ!!」

メタナイト「どこだ!!」

サムス「そこよ! ルイージよ!」

ミューツ「どこだよ!」

サムス「そこっていつてるでしょ！」

ルイージ「見つかった・・・」

サムス「マルス！そっちに逃げたわ！」

マルス「そっちってどっち！？」

ピチュー「今しかチャンスは無いでちゅ・・・」

そういつて、入り口に滑り込むピチュー。

サムス「だからそこっていつてるでしょ！！！！！！何でわかんないの

！」

ルイージの位置を教えるのに、必死なサムス。
スマブラキャラで1番小さいピチューには、気がついていない。

メタナイト「分かった！いたぞ！！」

ルイージを見つけたメタナイト。

ルイージ「もういやだ！」

逃げるのをあきらめたルイージ。

メタナイト「タッチ！！」

ルイージのゼッケンが消えた。

メタナイト「これで全部なのか？」

ピット、ミューツィ、ピーチ「メタナイト・・・あの・・・」

3人は、ほかの生存者を逃がしたことを言った。

メタナイト「じゃあ全部っぼいな・・・」

ピリリリリリ・・・

マリオ「また誰か捕まったか・・・」

ピチュー「多分ルイージさんでしゅ・・・絶対・・・」

メール内容

午前7時、ゲーム開始から19時間経過。

南エリア墓場ゾーンにて、ルイージ確保。残り28人。

現在鬼は、12人。

マリオ「弟よ・・・」

クッパ「テレッテレレレだな。」

長友選手「なかなかたくさん捕まるな・・・」

ロイ「時間稼がないと・・・山ゾーンに戻るか・・・」

次々と鬼が増え、混乱する生存者たち。まだ3分の1以上残っている時間！

果たして生き残れる人はいるのか？

詰められた生存者（後書き）

福岡に行く前に、1日山口の予定入れといてよかったー！

南エリアから散っていく鬼たち（前書き）

5000アクセス突破！！

この小説も大したもんだな・・・

南エリアから散っていく鬼たち

南エリア追い込み作戦に散ったルイージ。なおも増え続ける鬼。

絶体絶命の生存者たち！はたして彼らに希望の光はあるのか？

メタナイト「よし！これからはいろんなエリアで単独行動をする。」

全員「はい！リーダー！」

すっかり鬼のリーダーになったメタナイト。

ピーチ「サ姆斯、一緒に行動しない？」

サムス「ええ、いいわよ。」

ピーチとパワースーツを着たサムスは、足に自信が無いので、2人で行動するようだ。

リンク「活躍しないと・・・」

ピット「1番のベテランが頑張らないと・・・」

ウォッチ「バツゲームハサケナイト・・・」

皆、気合十分なようだ。

ピチュー「はあ、はあ・・・」

南エリアの海岸ゾーンに逃げてきたピチュー

ピチュー「鬼来ないでくださいでちゅ・・・」

ピカチュウ「ほかの皆は大丈夫なのかな・・・」

アイク「皆生きているのだろうか・・・」

生存者は、皆ほかの生存者が心配なようだ。

長友選手「なんだここ？」

北エリアの大きな木にやってきた長友選手。

長友選手「でっかいな・・・あっ！宝箱ある！」

宝箱を見つけた長友選手。なかには、ロイと同様、スイッチがあった。

長友選手「ん？なにに、この樹齢1000年の大木の近くで使えか・・・」

いったい何の効果があるのだろうか。

マリオ「まあ、あいつは捕まるためにいるようなもんだし・・・地味な捕まり方

じゃないからいいんじゃないのか？」

心の狭い兄。

ウルフ「チツ・・・安全な場所はねえのかよ・・・」

これまで最多の3回鬼に見つかったウルフ。

ウルフ「フォックスには負けられねえ・・・」

ミューツ「いましたね・・・あいつなら私の力で大丈夫でしょう・・・」

ある生存者を見つけたミューツ。

ミューツ「強行突破といきましようか・・・」

強行突破を用いたミューツ！果たして彼の目線の先には！

次回に続く

南エリアから散っていく鬼たち（後書き）

毎日更新を目標にしてたけど、毎日はずらいな・・・

もうひとつのエリア（前書き）

評価お願いします！

もうひとつのエリア

前回、ミューツーが見つけた生存者とは！

そして、その生存者はどうなるのか？

ミューツー「とりゃあ！！！」

ロイ「！！！」

ミューツーが見つけたのはロイであった。

ミューツー「まてーーー!」

ロイ「うわあああ!」

一目散に逃げるロイ。しかし、彼はスイッチのことを思い出した。

ロイ「助けてくれ!」

ポチッ・・・

ゴゴゴゴゴゴ・・・

ミューツ―「なんなんだ？」

ロイ「何なんだよ！」

ロイの身には何も起こらず、まだ逃げている。

ロイ「効果なんだったんだよ！」

しかし、その意味が逃げてる途中に分かった。

ピット「あれっ！」

ピットが見たのは、山にある洞窟だった。

ここは洞窟ゾーンではなく、山ゾーンだ。

ロイは、これがスイッチの効果だと思った。

ロイ「賭ける！！有利であってくれ！」

入り口に入るロイ。

洞窟の中は、大きくなく、ただ、らせん階段があるだけだった。

ミューツ―「もうにげられませんよ・・・」

ミューツ―も洞窟内に入ってきた。

ロイ「絶対あきらめない！」

そういうと、ロイは、らせん階段を下りていった。

らせん階段を全部下りると、出口があった。

ロイ「出ないと・・・」

ロイの背後からは、ミューツーが、残り20メートルまで迫っていた。

出口を抜けると、そこは山ゾーンであった。

ロイ「なんで！・・・とりあえず隠れよう！」

ガサツ・・・

ミューツー「見失いましたか・・・」

そういうと、ミューツーは、勘を頼りに行ってしまった。

ロイ「何でこんなところがあるんだろ・・・」

ピリリリリリリ・・・

マリオ「電話だ。」

ロイ「早く出ないと見つかる!」

クッパ「また捕まったのか・・・」

果たしてメールの内容とは！次回に続く。

もうひとつのエリア（後書き）

夏休み終わったら更新遅くなるかも・・・

新エリア（前書き）

感想と評価待ってます！

新エリア

突如かかって来たナゾのメール。そして、ロイのいるところはどこなのか？

トゥーン「なにになに・・・新エリア追加!!!!!!」

マルス「なんだって・・・不利になるな・・・」

メール内容

ロイにより、隠していた地下エリアが、使用可能となった。地下といっているが、今までのエリアとまったく一緒だ。現在は、山ゾーンの山のふもとからでないと入れないが、場所が書いてあるスイッチを押せば、入り口が増えていく。なお、地下エリアは、宝箱が出ない。

ネス「だいぶ有利だね・・・」

長友選手「じゃあこれとか・・・」

北エリアの森ゾーンのスイッチを持っている、長友選手。

ポチッ！

ゴゴゴゴゴゴゴゴゴゴ・・・

樹齢1000年の大木から、地下エリアへの、入り口の洞窟が出て

きた。

長友選手「よっ！」

大木の中に入ると、やはり、らせん階段があった。

長友選手「おりるか・・・」

長友選手は、地下エリアへと移動した。

ロイ「だいぶ楽に・・・」

ミューツ―「タッチ!!!!」

ロイ「!!!!!!!!!!!!」

ミューツ―「ここにいましたか・・・」

ロイは、ミューツ―に追われてここまで来たので、隠れたものの、ミューツ―は近くにいたのだ。

ミューツ―「少し隠れたので、苦戦しましたね・・・」

ロイ「くやしー！だいぶ有利になったと思ったのに！」

ピリリリリ・・・

デデデ「多分誰か捕まったゾイ・・・」

リンク「だれか捕まえてくれたな・・・」

メール内容

午前8時30分、ゲーム開始から20時間30分経過。

地下中央エリアの山ゾーンにて、ロイ確保。 鬼は13人。 生存者は27人。

フォックス「たぶん追われたまま地下エリアに入ったんだろうな・
・」

アイク「マルスに続きロイまで捕まるとは・・・」

長友選手「地下エリアだからって油断できねえな・・」

カービー「もうすぐ鬼15人じゃん・・」

全滅の可能性が出てきた生存者。このままで大丈夫なのだろうか？

新エリア（後書き）

夏休みも残りわずかか・・・

新エリアへの道（前書き）

最近感想も無いし・・・人気落ちたんだろうか・・・

新エリアへの道

現在、新エリアが登場して、エリアが2倍になったものの、ロイが捕まり鬼は13人。

生存者は、この新エリアを上手く活用することができるのか？

カービィ「新エリアは食べ物が出ないから行きたくない・・・」

新エリアに行きたくないカービィ。

ファルコ「山にあるんなら高台にもあるだろ・・・」

必死に宝箱を探すファルコ。この高台エリアから、ほとんど動いていない。

ピクオリ「ありました!!!! 宝箱です!」

宝箱を発見したピクオリ。

中に入っていたのは、高台の近くで使えと書かれたスイッチだった。

ピクオリ「新エリアへのスイッチですか・・・」

ポチッ！！

ゴゴゴゴゴ・・・

すると、高台の一部に、穴が開いた。

ピクオリ「今は鬼少ないと思うのから行ってみるか・・・」

地下へ降りるピクオリ。

現在、開いている地下への入り口は、中央エリア山ゾーン、北エリア森ゾーン、東エリア高台ゾーンの3つ。

そのころ・・・この無人島に近づく人物がいた・・・

??? 「フフフ・・・待ってろよ・・・」

その人物は、何をしに、何のために来たのか分からない。

ルカリオ「・・・・・・・・いやな予感がする・・・・・・・・」

いち早く察知したルカリオ。

長友選手「地下エリアって有利だな・・・鬼の気配がぜんぜんないじゃん・・・・・・・・」

長友選手は気がつかなかったが、この地下エリアには、あるスイッチがあった・・・・・・・・」

それは地下通路を開けたスイッチよりも大きく、固定型だった。

メタナイト「鬼もだいぶ増えてきたな・・・」

ピット「ちよつと休憩・・・」

マルス「鬼も疲労が結構溜まるもんだね・・・」

最初からの鬼は、ずいぶん疲れているようだ。

スネーク「ちっ・・・バレるからダンボールが使えねえ・・・」

いつもダンボールを使う印象があるスネーク。しかし、彼は使っていない。

スネーク「絶対ダンボール使わない・・・」

ダンボールを使わないと決めたスネーク。

現在、ゲーム開始から、21時間経過。

果たして、ナゾの人物は、誰の見方なのか？

次回へ続く。

新エリアへの道（後書き）

ちゃんと読んでもらえているか不安なので、感想書いてください！
皆の意見聞きたいですし！

生存者の苦悩（前書き）

感想くれた人たちがありがとうございます！

生存者の苦悩

人。

現在スタートから21時間経過。鬼は既に13

更にナゾの人物が接近中！果たしてどうなる？

??? 「早く無人島に着かないかな・・・」

船長 「あと4時間ぐらいで着くよ」

??? 「なるほど・・・」

あと4時間で船が到着するようだ。

アイク「鬼いるじゃん・・・」

ウォッチ「ドコニイルンダロ・・・」

アイク「わざわざ廃墟ゾーンにきたけど・・・どこも一緒か・・・」

もはや鬼を見つけるのは普通だ。

そのころ・・・

ポポ「こわい・・・・・・」

中央エリアの森ゾーンから一向に動こうとしないポポ。

ピーチ「いたわ！」

ポポ「!!!!!!!!!!こわい!!!!!!!!!!」

何もかも忘れて一目散に逃げるポポ。

しかし・・・

ピーチ「フー、フー・・・タッチ!!」

ポポ「捕まっちゃったー（泣）」

ピーチ「サムスとははぐれたけど、1人でがんばれそうね・・・」

ピリリリリリ・・・

ドンキー「また誰か捕まったか・・・」

ルカリオ「これで捕まったら鬼14人だな・・・」

メール内容

現在午前10時 スタートから22時間経過。

中央エリア森ゾーンで、ポポ確保。

現在鬼は14人。

ナナ「ポポもこれまでか・・・」

ファルコ「どんどん増えるじゃねえか・・・」

ヨッシー「これじゃ移動もできませんね・・・」

まだ24時間経過していないのに、14人が鬼。この最悪な展開に、生存者はどうするのか？

次回に続く

生存者の苦悩（後書き）

敗者復活もつとアンケートこないと成立しないな・・・

途中経過（3回目）（前書き）

敗者復活アンケートもう少し投票お願いします！

途中経過（3回目）

現在の鬼やエリアなどの途中経過です。

ここだけ鬼と生存者の会話ゾーンです。

鬼Ⅱ14人

ピット、メタナイト、ピーチ、サムス、ウォッチ、マルス、リンク、ミューツィ、

ファルコン、ロボット、リュカ、ルイージ、ロイ、ポポ（捕まった順）

マリオ「おお、わが美しき弟よ、なぜこんなに早く捕まってしまったんだい？

（棒読み）」

ルイージ「聞ってる最中から棒読みって分かったよ！」

次回から、鬼には、

ピット（鬼）「・・・・・・・・」

などのように、ふきだしの前にマークをつけます。

残り時間

現在午前10時 スタートから22時間経過。残り50時間

食料

マリオ「食糧不足は確保の危機だからな・・・」

カービィ「食料足りないー」

フォックス（足りた事あるのか？）

5箱⇨カービィ

3箱⇨ドンキー ポケトレ、アイク

2箱〓その他の人（ネス以外）

1箱〓ネス（木の実発見装置があるため。）

全員「ネスずるい！」

ネス「だってあるんだもん・・・」

アイテム

マリオ「ルイージ確かスイッチ持ったまま捕まったよね？」

ルイージ「忘れてた！」

ピチュー（それがあればあの時（南エリア追い込み作戦）楽勝だったかもでちゅ。）

ルイージ「押してみよ！」

ポチッ！

スイッチ「ハズレ」

ルイージ「なんやねん！」

フォックス「大阪弁出た！」

アイテム

双眼鏡Ⅱマリオ

ケムリ球Ⅱガノン、ルカリオ

スマッシュボールⅡソニック、ピチユー

木の実発見器Ⅱネス

3分間タケコプターⅡフォックス

無人島限定どこでもドアⅡポケトレ

ピチュー「私がスマッシュボールもってなんか意味あるの？」

IIKKI「それは使ってからのお楽しみ。」

マリオ「これつまんないな。」

IIKKI「だったら次回全部生存者サミットと鬼サミットにするか？」

全員「賛成!!!」

というわけで、今回は、サミット二本立てです。

途中経過（3回目）（後書き）

次回更新未定です。（疲労のため）

全員の位置情報（前書き）

前回の書き忘れ・・・すみません。

全員の位置情報

マリオ「よっしゃー!! 生存者サミットやるぜ!!」

i k k i「お前頭おかしいのか? 題名見ろ!!」

マリオ「……………」(しばらく気絶)

i k k i「あいつが死んでる間に書くか……」

現在のエリア情報

エリア訂正 高台ゾーン↓灯台ゾーン 山ゾーン↓火山ゾーン

北エリア

海岸ゾーン ピット（鬼）

森ゾーン ポポ（鬼） ピーチ（鬼）

磯ゾーン ポケトレ

北エリア地下

森ゾーン 長友選手

海岸ゾーン なし

磯ゾーン なし

東エリア

海岸ゾーン ウルフ

森ゾーン デイディー カービィ ヨッシー

洞窟ゾーン ピカチュウ リンク（鬼）

灯台ゾーン ファルコ

東エリア地下

森ゾーン なし

海岸ゾーン なし

洞窟ゾーン なし

灯台ゾーン ピクオリ

南エリア

森ゾーン ナナ ルイージ（鬼） ウオツチ（鬼）

海岸ゾーン ピチュー

墓場ゾーン リュカ（鬼）

南エリア地下

誰もいない

西エリア

海岸ゾーン ゼルダ ヨッシー

森ゾーン トウーン クッパ ネス デデデ ドンキー サムス（
鬼）

廃墟ゾーン アイク スネーク マリオ マルス（鬼）

西エリア地下

誰もいない

中央エリア

森ゾーン プリン メタナイト（鬼）

火山ゾーン ワリオ ファルコン（鬼）

湖ゾーン フォックス ロボット（鬼）

滝ゾーン ルカリオ ガノン

中央エリア地下

火山ゾーン ミュート（鬼） ロイ（鬼）

森ゾーン なし

湖ゾーンなし

滝ゾーン なし

こんな感じです。面白くなくてすいません。

マリオ「おい i k k i!! いつなんだ? サミットは! (怒)」

i k k i「次回次回!!」

マリオ「不安だ・・・」

次回、書き忘れがなければ、サミットします。

全員の位置情報（後書き）

次回はギャグ満載です。ギャグはどうでもいいひとは、見なくてもストーリーにはまったく影響ありません。

マリオの希望くサミットく(前書き)

ついにサミットです。いらないことばかりです。

マリオの希望くサミットく

マリオ「よっしゃあ！！これで皆と話せる！」

リンク（鬼）「ここで作戦を練りますか・・・」

生存者サミット

ここまでの小説のVTRを見て。（小説とまったく同じ）

マリオ「ルイージ捕まった！！」（笑）

フォックス「当たり前だろ！」

スネーク「追いつめて追いつめてリンチとは・・・やるな・・・」

ヨッシー「よくあのカスをうまく使ったな。ピチュー」

ピチュー「ゴミも上手く活用しないとね！」

ルカリオ「ウルフ3回も追われたのか？」

ウルフ「ああ。全部逃げ切れたがな。」

クッパ「まだ1日もたっていないのに捕まるやつらは間抜けだな。」

デデデ「我輩よりも遅いやつなんていないのに、皆情けないゾイ！」

ピカチュウ「これってサバイバル要素あるの？」

ファルコ「ただの無人島増やし鬼じゃねえのか？」

ネス「多分いろんなバラエティー番組の合成じゃないかな・・・」

ソニック「まあ小っちゃい事は気にするな！」

マリオ「それ、わかちこわかちこ！」

ディディー「それほかの芸人のギャグだぞ！」

ピクオリ「まあいいじゃないですか！」

ヨッシー「そう、気にしないでいいんだよ！」

マリオ「グリーンダヨ!!」

トウーン「マリオやめてくれ・・・」

ワリオ「わがライバルとして恥ずかしいわ!!」

カービィ「いつからライバル視・・・？」

アイク「うーん・・・もう24時間テレビみれない・・・。見たかったのに・・・」

ナナ「私全部録画してる！DVDにしてあげる！」

アイク「すまん！ありがとう！」

ドンキー「あーーーーー！！！！！！」

ポケトレ「今度は何？」

ドンキー「大勝負！バナナの神様王決定戦の録画忘れた！！」

ポケトレ「どうでもいいや……」

プリン「まあがんばろ！」

全員「エイエイオー！！！！」

鬼サミット

都合上中止

メタナイト「なぜだ！！」

尺が足りない

華が無い

どうせ作戦立てるだけ

メタナイト「うっ!!」

IKKI「すまんメタナイト。」

というわけで中止です。

次回、増やし鬼再開です！

マリオの希望くサミットく(後書き)

あーあ、夏休み終わるー！ー！

宿題8月31日に終わらすか！

無人島は猛暑!! (前書き)

増やし鬼再会です!

無人島は猛暑!!

ゲーム。

マリオのくだらないサミットも終わり、再開された
果たしてどんな展開が待っているのか？

ファルコ「くだらないサミットも終わってまた逃げるのか・
それにしても暑いぜ!!」

現在メンバーがいる無人島は、8月15日からはじまり、8月18
日に終わる予定である。
なので、とてつもない猛暑日である。（最高気温34度）

ナナ「寒さは強いけど・・あつすぎる・・・」

暑さに弱いアイクラ。

一方ポポは・・

ポポ（鬼） 「ふーっー気持ちいい!!」

鬼本拠地にて涼んでいた。（鬼本拠地は、基本的に鬼は出入り自由。）

しかし、これもあの有名なプレイヤーの作戦であった・・・

メタナイト（鬼） 「よし!! 新作戦だ! ポポ、ファルコン、リンクは鬼本拠地で寝ていてくれ!

夜になったら万全の状態で大量確保を狙う!」

3人（鬼） 「了解!」

そういうと、3人は休憩しはじめた。

そして、2時間誰も捕まらないまま過ぎてしまった。

メタナイト（鬼）「ちっ！！主力3人がいないから捕まらない・・・」

ピリリリリリ・・・

電話が鳴った・・・

フォックス「なにになに・・・確保情報&緊急連絡？」

メタナイト（鬼）「めんどくさそうだな・・・」

はたして確保されたのは誰なのか？そして、緊急連絡とはいったい何なのか？

今回ものすごく短いですがもう終わりです。すいません。

無人島は猛暑!! (後書き)

次回はちょっと長いです。

緊急連絡（前書き）

いつもより長いです。

緊急連絡

前回連絡された緊急連絡&確保情報。果たして緊急連絡と
は何なのか？

そして、確保されたのはいったいだれなのか？

トゥーン「連絡が2つも！？一旦落ち着こう・・・」

マリオ「いったい何があったんだ・・・」

デデデ「とりあえず見てみるゾイ・・・」

少なくとも確保されていない3人。果たして確保されたのは？

メール内容前半

現在正午。ゲーム開始から24時間経過。
東エリア灯台エリアにて、ファルコ確保。
者は残り25人。

鬼は15人。

生存

カービー「ファルコ捕まっちゃったの!？」

ウルフ「ふん……情けないぜ……」

フォックス「あいつに捕まりたくない……」

事の成り行きはこうだった

ピーチ「サ姆斯、あの中に入って！私出口見張っとくから！」

サ姆斯「ええ。分かったわ。必ず誰かいるはずよ。」

連絡を取り合い再び集まったピーチとサ姆斯。2人は、灯台に狙いを定めていた。

一方・・・

・
ファルコ「チツ・・・ここに地下のスイッチあると思ったのに・・・

無かったか・・・って！！鬼いるし！」

鬼を見つけ、半ばあきらめるファルコ。しかし、灯台にはピクオリが開けた地下通路があるのだが、ファルコは知らない。

ファルコ「どこかに隠れるか・・・」

そういつて、とある引き出しに隠れたファルコ。大丈夫なのか!?

コツコツ・・・

ファルコ「近いな・・・」

キイイツ・・・

サムス「タッチ！」

ファルコ「終わったか・・・」

灯台のとある引き出しに隠れたファルコ。
あえなく撃沈。

ファルコ（鬼）「鬼か・・・フォックスとウルフを逃がしてたまるか！」

ガノン「ファルコ・・・まだ緊急連絡があるな・・・」

ネス「吉報だといいけど・・・」

リンク（鬼）「俺らに有利であれ！」

メール内容後半

緊急連絡。現在、24時間が経過し、3分の1終わった。

ナナ「終わり！？」

ヨッシー「何が伝えたかったんですか？」

クッパ「このメール打ったやつ頭おかしい・・・」(メールはすべてマスハン)

ゼルダ「あっ！！まだ下に何かあるわ！」

そう、これはマスハンのイタズラで、大量の改行をつかい、下に他の物があるという仕掛けだったのだ。

メール内容後半

これより、1日経過の祝いとして、鬼を生存者へと戻す敗者復活を行う。

しかし、もう読者のアンケートで決まっており、そのものには、ゼッセンを配布させる。

その敗者復活者とは・・・・・・・・

メタナイトに決まった。これより、メタナイトには、ゼツケンが装着される。

鬼は、これより30分間メタナイトを確保することができない。

メタナイト「・・・私が・・・復活・・・」

そういと、メタナイトに、ゼツケンが戻った。

ロイ（鬼）「メタナイトがんばれよ！」

近くにいたロイが言う。

ロイ（鬼） 「見つけたときには本気だからね！」

メタナイト 「ああ！」

正直言って、メタナイトは、鬼のリーダーであり、一瞬辞退という言葉が浮かんだこともあった。

しかし、ロイの一言で、勇気が出た。く俺は鬼から1秒でも長く逃げてやる。く

メタナイトは、ロイを離れ、どこかに行ってしまった。

メタナイトは、もう鬼ではない。なので、ほかの人と連絡も取れない。

しかし、メタナイトは、鬼の代表と思い、本気で逃げようと思った。

メールの最後

現在鬼は14人。生存者は16人。

ロイ以外の鬼の心情 (鬼マークなし)

ピット「あーあ、リーダーが・・・」

リンク「マジで！やばい！」

ファルコン「絶対捕まえてやる！」

気合と不安たっぷりの鬼軍団！はたしてどうなる！？

次回に続く

緊急連絡（後書き）

結構そこまで長くなかった・・・

メタナイトの心境の意味が分からない方いると思います。
大丈夫です。作者も意味分からず書いてました。

憂鬱な鬼（前書き）

更新おくれてすいません。がんばっていきます！

憂鬱な鬼

24時間が経過し、メタナイトも復活してテンションのあがる生存者。

一方リーダーのメタナイトを失った鬼たちは・・・

リンク（鬼） 「リーダー・・・」

ファルコン（鬼） 「とりあえずメンバー集めて会議しようぜ！」

ミューツ（鬼） 「ああ・・・」

メタナイトの作戦で、夜に作戦の決行を予定していた3人。

そして鬼が全員鬼本拠地に集結した・・・（鬼マークなし）

リンク「どうする？」

ロイ「全員休憩して総攻撃する？」

ピット「それいいかもね！」

ファルコン「そうだな！」

そうして全員が休憩し、夜の六時になった・・・

リンク（鬼） 「気合入れていこうぜ！」

全員 「おお！」

午後6時、鬼は生存者を探すべく、総攻撃を仕掛けた。

一方の生存者・・・

ポケトレ 「日が暮れてきた・・・」

ネス 「そういえば鬼が増えて無くない？」

そう、鬼は、約8時間誰も捕まえていない。

マリオ「俺天才! ? ここまで残ってるぜ! 」

一応まだ半分もつかまってない・・・

ルカリオ「鬼も休憩したんだな……気をつけないと……」

「よし！！がんばる………！！！」

意気込むピットの前に現れたのは……

カービィ「ZZZZZZ・・・・」

睡眠中のカービィであつた。

ピット「タッチ・・・」

カービィからゼッケンが消えた。

ピリリリリリリリ

ルカリオ「犠牲者か・・・」

デデデ「久しぶりに誰か捕まったゾイ！」

メール内容

現在、午後6時15分。スタートから30時間15分が経過。東エリア森ゾーンでカービィ確保。

増える鬼！果たしてどうなる？

次回に続く。

憂鬱な鬼（後書き）

今日もう1つ作ります！

鬼大暴れ!! (前書き)

本日2作目!

鬼大暴れ！！

午後6時、作戦実行した鬼に、カービィが確保された。これから鬼の大暴走が始まる！

メタナイト「鬼たちも本気を出してきたな・・・」

復活したメタナイト。完全に生存者になったようだ。

デデデ「カービィより逃げ切れたのはうれしいゾイ！！」

なぜか喜びだすデデデ。

ファルコン（鬼） 「いた・・・俊足のプライド見せてやるぜ！」

ファルコンがねらいをつけたのは・・・

ルカリオ 「気をつけて移動するか・・・」

ルカリオだ。

ファルコン（鬼） 「慎重になったところを・・・今だ!!」

そういうとファルコンは、突撃していった。

ルカリオ「!!!!!!・・・やべっ!!」

強行突破を仕掛けたファルコン。しかし、反射神経がよく、ルカリオに上手く逃げられたようだ。

ルカリオ「マジか・・・鬼やべえ・・・」

そのころ・・・

地下エリアの怪しい装置が作動していた・・・

本田「無人島に着いたぜ・・・」

なぞの人物こと本田選手がやってきた。↑（しってるよね？）

そして、機械が作動した・・・

そして、数字が、18..00をあらわした・・・

そのころ鬼たちは・・・

サルス（鬼） 「スーツを取ったから追いつけそうね・・・」

ゼロスーツサルスになったサルス、

サルス（鬼） 「行くわ!!」

全力疾走のサルス！

ネス 「うわっ!!」

追いかけられるネス。しかし、木の実の食べすぎで、上手く動けない。

サムス（鬼） 「タッチ!!」

ネス 「あーあ・・・」

ネス、ここで散る・・・

そして・・・

ロイ（鬼） 「まてー!!!!」

全力疾走のロイが追うのは・・・

ポケトレ「逃げろー！！」

ポケトレだった。

ピーチ（鬼）「逃がさないわ！！」

そういつて隠れていたピーチが現れた。

ポケトレ「クソッ！！」

ポケトレがいるのは磯ゾーン。もはや後ろは海で前は鬼。絶体絶命だ。

ロイ（鬼） 「タッチ!!」

ポケトレ 「はぁ………」

ピリリリリリリリ……

ガノン 「また捕まったか……」

メール内容

北エリア磯ゾーン、西エリア森ゾーンで、ポケトレ、ネス確保。
現在、鬼は16人 生存者は24人。

果たして増え続ける鬼に生存者はどうなるのか？

鬼大暴れ!! (後書き)

ああー学校がー

位置情報（前書き）

鬼の休憩中に、生存者が地下エリアに進んだようです。
今回は、鬼の情報を書きません。

位置情報

鬼が眠っている間に、生存者たちは、地下に入ることができたのか？

鬼 ピット ピーチ サムス ウォッチ マルス リュカ ロボツ
ト ポケトレ ネス カービィ

ルイージ ファルコン ロイ ミューツィ ポポ ファルコ
リンク

地下エリア情報

地下であるが、ただまったく同じエリアができたといってよい。

地下への入り口は、5箇所ある。（1エリアに1つ）

入り口情報

ロイにより、中央エリア火山ゾーンの入り口開放。

ピクオリにより、東エリア灯台ゾーンの入り口開放。

長友選手により、北エリア森ゾーンの入り口開放。

ここから未公開

ピチューにより、南エリア墓場ゾーンの入り口開放。

スネークにより、西エリア廃墟ゾーンの入り口開放。

すべての地下入り口が開放した！地下エリアを上手く使いこなせるか！？

位置情報

北エリア

海岸ゾーン なし

磯ゾーン なし

森ゾーン トウーン ガノン

北エリア地下

海岸ゾーン 長友選手

磯ゾーン なし

森ゾーン ソニック

東エリア

海岸ゾーン ナナ

灯台ゾーン ワリオ

森ゾーン デイディー ヨッシー

洞窟ゾーン なし

東エリア地下

海岸ゾーン なし

森ゾーン ピクオリ

灯台ゾーン なし

洞窟ゾーン ピカチュウ

南エリア

海岸ゾーン なし

森ゾーン デデデ
ルカリオ

墓場ゾーン なし

南エリア地下

森ゾーン アイク

海岸ゾーン ピチユー

墓場ゾーン なし

西エリア

森ゾーン クッパ
プリン

海岸ゾーン ゼルダ

廃墟ゾーン ウルフ

西エリア地下

森ゾーン なし

海岸ゾーン なし

廃墟ゾーン マリオ スネーク

中央エリア

森ゾーン メタナイト

火山ゾーン なし

湖ゾーン なし

滝ゾーン ドンキー

中央エリア地下

森ゾーン なし

火山ゾーン なし

湖ゾーン フォックス

滝ゾーン なし

訂正 現在の生存者は23人でした。ミスが多くてすみません。

次回に続く。

位置情報（後書き）

次回からは、ノーマスでがんばります！

俊足大暴走！（前書き）

復活！！どンドン更新します！

俊足大暴走!

現在鬼は17人。もう少しで半分だが、果たしてどうなるのか?

ピカチュウ「ポケトレが捕まった・・・」

リュカ(鬼)「やった! ネスが捕まった」

やはり、捕まると、生存者はおびえ、鬼は喜ぶようだ。

ファルコン(鬼)「いた! 汚名返上!」

ファルコンが見つけたのは・・・

ソニック「鬼きた!! やばい!!」

メンバー1の俊足ソニック。果たして大丈夫なのか？

ソニック「ダッシュだ!!」

俊足のソニック! ファルコンは見失ったようだ・・・

ファルコン（鬼）「ちっ・・・」

しかしそのころ・・・

ピット（鬼） 「いるな・・・たくさん・・・」

ピットがいるのは、廃墟ゾーン地下。ここには、マリオ、スネーク、アイクがいる。

ピット（鬼） 「仲間呼ぶか・・・」

ファルコン・サムス・マルス・ウォッチ（全員鬼） 「何だ？」

ピット（鬼） 「地下の廃墟ゾーンに3人いる。階段で追い詰めようとともうから地下から

階段に追い詰めてくれ。」

4人（鬼）「了解」

5人の鬼に狙われる3人の生存者の運命やいかに？

次回に続く

俊足大暴走！（後書き）

とても短くてすみません・・・塾があるので・・・

ついに・・・(前書き)

体育祭の練習しんどい・・・

ついに……

現在、生存者23人に対して、鬼は17人更に、
今ターゲットのマリオ、アイク、スネークが捕ま
れば、

鬼は20人となり、生存者と鬼の数が、一緒になっ
てしまう！

時間は半分たってない。この先どうなってしまふの
か？

マリオ「地下エリアって便利だな！」

スネーク「ああ、同じものが2つなんてたいしたことをしたもんだ。
」

アイク「それにしても鬼来ないな・・」

鬼が集まっていることを知らない3人。

そして、3人のいる、地下廃墟ゾーンに鬼がやってきた・・・

マルス（鬼） 「絶対追い詰めるぞ・・・」

サムス（鬼） 「だいぶ人数増やしたもんね・・・」

最初は、ファルコン、マルス、サムス、ウォッチの4人で、地上への階段におびき寄せ、
階段でピットが追い詰めるという作戦だったが、安全に安全を重ね、
ロボット、リユカ、ルイージ、リンクの4人を補強した。

なお、補足であるが、階段は、周りの景色と同化して、まったく分からない。

ファルコン（鬼） 「あのタワーの中が階段らしいぜ！」

リンク（鬼） 「じゃあ、四方八方から追い詰めていきましょう！」

サムス（鬼） 「じゃあタワーの中にあいつらを追い込むわよ・・・」

鬼全員 「ああ！」

そして、

マリオ 「・・・あれ鬼じゃね!？」

リンク（鬼） 「・・・」 （気がつかないフリ）

アイク「マジか？」

スネーク「どっか逃げ．．．あっちもだ．．．」

スネークの目線の先には、リュカの姿。

そのとき！

リンク・リュカ（鬼）「まてっ！！」

3人に襲い掛かってきた！！！！

アイク「とりあえず逃げろ！」

リュカ（鬼）「とまれ！」

マリオ「止まれと言われて止まるやつはいない〜」

3人が向かった先は・・・タワーだ。

アイク「ダッシュ！！！」

マリオ「逃げろ！！！」

スネーク「おりゃっ!!」

3人は、タワーに入った………と思いきや……

スネーク「逃げろー!!」

スネークは、タワーに入らずに、逃げていった。

これには、鬼のリンクとリュカもびっくりである。

リュカ（鬼）「リンクはタワーを包囲して！僕はスネークを追う！」

この緊急事態に、冷静な判断をしたリユカ。

リンク（鬼）「分かった。」

そういつて、リンクは、タワーの地下入り口をふさいだ。

そして、リンクから連絡を受けたピットが、2人を捕まえに向かう。

マリオ「逃げ切れたかな・・・」

アイク「多分追っかけてきてるだろ・・・」

上を見ずに、階段を上がるマリオとアイク。そして目の前に・・・

ピット（鬼） 「いた！！！」

マリオ・アイク 「うわっ！！」

あわてて階段を下りていくマリオとアイク。しかし・・・

リンク 「待て！」

階段を上ってきたリンクに、囲まれてしまった・・・

リンク・ピット（鬼）「タッチ!!」

マリオ・アイク「はぁ……」

マリオ（鬼）「ルイージと同じ鬼か……」

アイク（鬼）「マルスより逃げ切ったのに……」

ピリリリリリ……

デデデ「メールぞい。」

ウルフ「よく捕まるな……」

メール内容

現在午後8時。ゲーム開始から32時間経過。

西エリア地下廃墟ゾーンにてマリオ、アイク確保。現在鬼は19人。

ウルフ「すぐ近くじゃん!」

地上の廃墟ゾーンにいたウルフ。すぐその場を離れる、

ルイージ(鬼)「やっと捕まった……よかった……」

クッパ「まあマリオより逃げたからもういいか・・・」

喜ぶ二人。

一方

本田選手「なるほど・・・」

マスハン「分かったか？」

本田選手「ああ。」

本田選手とマスハンが話し合っていた。

いったい何がはじまるのか？

そして、例の地下エリアの機械のメーターが、今、16..00を示した・・・

大量の計画が進む中、残された生存者は、どうなってしまうのか？

次回に続く・・・

ついに・・・(後書き)

これ終わったら何書こうかなー？でもまだだいぶあるからまだいいか。

増え続ける闇（前書き）

祝！！40話！！読者の皆様ありがとうございます！

ピカチュウ「1話1話が短いからね」

i k k i 「・・・」

増え続ける闇

現在、鬼は19人。あのあと、スネークは一矢報いって、逃げ切ったものの、

あと1人で、鬼と生存者が同数になる。この事態に生存者はどうなるのか？

カービィ（鬼） 「ZZZZZ・・・ハッ!!」

やっと起きたカービィ

カービィ（鬼） 「ん?・・・!!!!!!もしかして鬼!?!」

当たり前だ。

そしてそこに・・・

ガノン「鬼もいねえな!! 楽勝!!」

ガノンが通りかかった。

カービィ（鬼）「もしかしてタッチしたらゼツケン消えるのかな・・・」

全力で追うカービィ。

ガノン「ん?・・・ヤベッ!」

気がつき、逃げるガノン。

しかし、彼はメンバーの中でも、とても足が遅い。

カービィ（鬼）「タッチ!」

ガノン、あっけなく確保・・・

ガノン（鬼）「ああーーーー捕まったーーーー」

ガノン（鬼） 「ハッ！！ 所謂いえば、俺で鬼と生存者同じ人数か！
クソー・・・あと1人

あとに捕まっていれば・・・」

そう、これで、鬼と生存者の人数が、20人ずつとなった。

ピリリリリリリ・・・

デデデ 「やばいゾイ・・・確保情報だったら・・・」

ルカリオ 「ついに鬼も半分か・・・」

メール内容

現在、午後9時。ゲーム開始から、33時間経過。

東エリア森ゾーンにて、ガノン確保。現在、鬼も生存者も20名

ファルコ（鬼） 「よっしゃ!!」

リンク（鬼） 「あと半分だぜ!!」

ロイ（鬼） 「早く終わらせよう!!」

テンションの高くなる鬼たち。その一方……

トウーン「ヤバイ・・・」

フォックス「ガノンとはいえ・・・あと半分か・・・」

デデデ「鈍足3人組のガノンが捕まったゾイ・・・（あと1人はクッパ）」

テンションの下がる生存者たち・・・

しかし、このあと生存者は、驚きの生命力と、根性と運で、2時間45分誰も捕まらず逃げ切った。

ウルフ「電話がなってねえ・・・ってことは誰も捕まってないってことか・・・」

長友選手「この2時間45分誰も捕まってねえ・・・このテンションを保てれば・・・」

ファルコン（鬼）「いた!! とりゃ!!」

長友選手「!?!?!」

油断した長友選手。 俊足だが、スマッシュブラザーズのメンバーでも2位のファルコン。

わずかにだが、距離が狭くなっていく。

長友選手「うつ・・・無理っぽい・・・生存者の皆ごめん・・・」

半ばあきらめかけの長友選手。しかし、そこに1筋の光が・・・

長友選手「あれなんだ？」

その目線の先には、ポケットレがかさばるといって、使おうと思っていたが、

1瞬で磯の崖に追い詰められたので、未使用の島限定どこでもドアだ。

長友選手「ラッキー!!!」

すぐさまドアに入り、扉を閉めた長友選手。

ファルコン（鬼）「ちっ・・・誰だよ・・・こんなところにどこでもドア置いたやつ・・・」

あきらめるファルコン。

長友選手「間一髪セーフ・・・ところでここは？」

地図を見る長友選手。推測した結果、ここは地下の森ゾーンらしい。

長友選手「助かったからどこでもいいや・・・」

一方・・・

ファルコン（鬼） 「はぁ・・・絶好のチャンスだったのに・・・」

確保寸前まで来ていた長友選手を捕まえ損ねて、落ち込むファルコン

クツパ 「ん？あれはファルコン・・・逃げるか・・・」

すぐに立ち去ろうと全力疾走するクツパ。

しかし、後ろを向いたら、そこには、ガノンがすぐそこまで来ていた。

ガノン（鬼） 「ファルコン！……ここにいろぞ！」

大声でファルコンを呼ぶガノン。

ファルコン（鬼） 「何だ……！クツパだ……！待ちやがれ……！」

クツパ 「なにっ……！」

逃げるクツパ。

しかし、ファルコンとはすばやさで圧倒的に違う。

ファルコン（鬼） 「タッチ！」

クツパ（鬼） 「うう・・・」

ピリリリリリ・・・

デデデ 「せっかく2時間45分捕まっていなかったのにゾイ・・・」

ピチュー 「つらい・・・」

ネス（鬼） 「誰かがこの悪い空気を誰か止めてくれた・・・」

ミューツー（鬼） 「誰か分からないがすまない・・・」

メール内容

現在午後11時50分。ゲーム開始から、35時間50分経過。
北エリア森ゾーンにて、クツパ確保。鬼は21人。生存者は19人。

メタナイト「やばい・・・」

ナナ「どうしょ・・・」

とんでもない事態になり、慌てふためく生存者。そこに1通のメールが・・・

ピリリリリリリ・・・

ヨッシー「また捕まっただんですかー!？」

ディディー「早すぎるだろ・・・」

しかし、このメールがすべてのメンバーの運命を変えることに・・・

次回に続く。

増え続ける闇（後書き）

もう半分です！早いですね・・・

1 筋の光（前書き）

終わるの大体90話ぐらいかな・・・

1 筋の光

時間、生存者ともに、半分をきったスマブラサバイバル増やし鬼。

ただ、これは増やし鬼なので、このペースでは大変すぎる。鬼21人に比べ、

残り19人の生存者は、テンションもがた落ちである。しかし、そこに一通のメールが・・・

ピクオリ「半分切った・・・ってメールですか・・・」

ドンキー「また捕まったのか・・・」

ソニック「いくら俊足でも、一度に襲われたらたまないぜ・・・」

リンク（鬼）「確保情報だといいな・・・」

そのメールの中身とは・・・

メール内容1

これより、第2回敗者復活戦をする。

フォックス「なんだって・・・」

ピット（鬼）「やった!!」

メール内容2

それより、この敗者復活ミッションに参加しない、生存者たちには、鬼から見えなくなる
マントを、カメラより配布する。

ゼルダ「本当！助かったわ・・・」

トウーン「これで何とか助かる・・・」

メール内容3

そして、敗者復活する条件は、これより、日本代表の本田選手をエ

リアに投入する。
鬼は、それをタッチすれば、ゼッケンを入手できる。しかし、1人のみである。

ファルコン（鬼） 「絶対捕まえる・・・」

メール内容4

しかし、午前6時を過ぎる、または、とある場所にある、大型装置のレバーをおろされると、
ゲームオーバーである。ちなみに、大型装置は、ちゃんと分かるようにしてある。

（未公開だが、北エリア地下森ゾーンにある。）

ネス（鬼） 「急がなきゃ!!」

メール内容5

しかし、生存者も油断できない。本田は、仮に鬼で、マントも通じない。

本田に捕まっても、鬼になる。（その人は、復活権利なし。）

更に、本田が、レバーをおろしてしまったら、そのまま鬼のまま続行する。

マントは、誰かが復活するか、ゲームオーバーになると、消滅する。

プリン「意味わかんない・・・」

カービィ（鬼）「何をどうすればいいの？」

とりあえず次回に続く！！

1 筋の光（後書き）

次回、詳しい敗者復活ルール説明します！

敗者復活の説明（前書き）

分からなかったら、見てください。

敗者復活の説明

鬼に与えられた敗者復活のチャンス！復活できる人はいるのか？

ルール1 投入するものⅡ本田選手（仮に鬼）、大型機械（前から北エリア地下森ゾーンに設置。）

透明マント（生存者のみ。本田選手は無効。）

ルール2 復活条件・・・本田選手を捕まえれば、敗者復活。先着1名のみ。

ルール3 ゲーム終了・・・本田選手を捕まえる・午前6時になる。（本田選手は撤退。）

大型レバーを本田選手に下ろされる。（その場合は、本田選手が、鬼として続行。）

ルール4 生存者のルール・・・透明マントをかぶり、鬼から身を

守れるが、

ると、鬼になる。

生存者は、復活不可。）

本田選手には、無効で、確保され

（ちなみに、本田選手に捕まった

以上が今回の復活ルールです。

次回から敗者復活スタート！

安心は無い（前書き）

うーん・・・やっと体育祭終わった・・・

安心は無い

敗者復活と聞き、喜びだす鬼と生存者。果たして誰か復活するのか？

ファルコ（鬼） 「絶対俺が復活する・・・」

ファルコン（鬼） 「本田ってどこにいるんだ？」

いっせいに鬼を探し出すメンバー。

一方の生存者たち・・・

トゥーン「本田選手って足速いのかな・・・」

プリン「油断できないでしゅ・・・」

そのころの本田選手・・・

本田選手「本当にもらえるのかな・・・」

そう、今回、たくさんの生存者を確保し、レバーをおろすと、褒美をもらう約束の本田。

本田選手「ん．．．．．あれは．．．」

目を凝らす本田選手。その先には．．．

??? 「だいぶ安全になったな．．．」

とある生存者がいた。

本田選手「あれぐらいなら大丈夫だろ．．．とうっ!!」

本田選手が狙いを定めた生存者とは!?

ドンキー「ん？・・・うわっ!!」

後ろから追いかけられたため、隙があったドンキー。

本田選手との差は、20メートルほどしかなかったが、その差もどんどん無くなっていく・・・

本田選手「タッチ!!」

ドンキー（鬼）「復活もできないし最悪・・・」

ピリリリリリリ・・・

ピット（鬼）「もう誰か捕まえたの!？」

ピカチュウ「誰が復活したんだろ？」

完全に誰か復活したと思い込んでる鬼と生存者。

メール内容

現在午前0時30分。ゲーム開始から36時間30分経過。

とある場所で、ドンキー確保。現在生存者は、残り18人。

ディディー「マジでか・・・」

ヨッシー「本田選手に捕まった・・・」

油断のできない生存者。果たしてどこまで生き残れるのか？

安心は無い（後書き）

感想がいっぱい！

逃げる側、追う側（前書き）

評価がもっと上がらないかな・・・

逃げる側、追う側

敗者復活が開始し、鬼が本田選手のみになったものの、ドンキーが捕まり、

あわて、不安になる生存者たち。果たして復活するものは、現れるのか！？

ヨッシー「1人の鬼なのに、ドンキーを捕まえるなんて・・・どんなすごい人なのでしょうか・・・」

ウルフ「なんか生存者がけっぷちだな・・・」

フォックス「このまま鬼1人のままのほうがいいのかな・・・」

突然のことで、驚きを隠せない生存者たち・・・そこにあの人が・・・

本田選手「いた！！どんどん捕まえるぜ！！」

本田選手が見つけたのは！？

ナナ「！！！！キャー！！！！」

ナナだった。

全力疾走のナナ。しかし、サッカー選手の本田選手によって、差は
どんどん少なくなっている・・

ナナ「捕まりたくないー!!」
・・・!!!!」

何かを見つけたナナ。その何かとは・・

ネス（鬼）「本田選手どこかな・・」

鬼のネスだ。

ネス（鬼）「? ? さっきナナの声が聞こえたけど・・!! いた!
!」

ナナのおかげで、本田選手を見つけたネス。

本田選手「!! チッ・あとちよつとだったのに・・」

残り、15メートルまで迫っていた本田選手。しかし、捕まると終わりなので、一目散に逃げ出す。

ネス（鬼）「まてっ!!」

本田選手「ああー!!!! もうちよつとだったのに!!」

よっぽど悔しい本田選手。しかし、俊足でネスからは逃げられたようだ。

ネス（鬼） 「あーあ・・・逃がした・・・」

ナナ「助かった・・・」

悔しがるネスと、喜ぶナナ。

ルカリオ「これがレバーか・・・」

なんと、本田選手や鬼より先に、レバーにたどり着いたルカリオ。

ルカリオ「でも鬼には、早く来てほしい・・・」

何もできない悲しいルカリオ。

そうなのだ、鬼と生存者とは、声でしかつながないのだ・

ルカリオ「声でつながるんなら・・・」

なにやら、新たな作を考え出したルカリオ。果たして何が始まるのか？

そして、何も進展しないまま、1時間が過ぎ、現在、午前1時30分になった。

デデデ「何も起こらないってことは本田選手見つからないって事かゾイ・・・」

メタナイト「鬼は1人でもいいから減ってほしいな・・・」

スネーク「希望としては、足の速いやつが復活してくれればな・・・」

ソニック「レバーおろされて、また1人増えたら最悪・・・」

希望と不安がつづる生存者たち。果たして無事逃げ切れる人は現れるのか！？

次回に続く・
・
・

ここでいったん情報整理（前書き）

中日優勝しないかな・・・したら更新ペースあげよっ！！

ここですったん情報整理

生存者が大量に捕まり、更には敗者復活も始まった。

果たして、この事態に、生存者は、対応できるのか!?

現在、午前1時30分。スタートから、37時間30分経過。残り時間34時間30分。

鬼Ⅱ22人 ピット、サムス、ピーチ、リンク、マルス、ウォッチ、ロボット、ポポ、ルイージ

ファルコン、ミューツー、ロイ、マリオ、アイク、ドンキー、ネス、リユカ、

ポケトレ、ガノン、クッパ、ファルコ、カービィ

生存者Ⅱ18人 ルカリオ、デデデ、ピカチュウ、ヨッシー、ナナ、トウーン、プリン、ピチュー

ワリオ、スネーク、長友選手、ソニック、メタナ

イト、ゼルダ、ウルフ

フォックス、デイドー、ピクオリ

敗者復活Ⅱ敗者復活の説明を参考に。

ほかの事は、敗者復活後にお知らせします！

ここであつたん情報整理（後書き）

今日は超手抜きだったな・・・

まあ生存者情報書けたからいいか！

逃げろ！捕まえろ！（前書き）

1泊2日の校外学習があったから遅れました！すいません・・・

逃げろ！捕まえろ！

間30分。

現在、午前1時30分。敗者復活の残り時間は、4時

果たして鬼は復活できるのか！？

本田選手「どこだ・・・生存者とレバー・・・」

生存者を捕まえ、レバーをおろすと、マスハンから褒美がもらえる
本田選手。

しかし・・・

リュカ（鬼）「いた・・・隙を見て捕まえるか・・・」

そして、復活をたくらむこの男の姿も・・・

ロイ（鬼） 「復活してやる・・・逃げてやる・・・」

2人は、本田選手の近くの、茂みに隠れている。

しかし、

本田選手 「ん・・・いた!!」

リュカ、ロイ（鬼） 「見つかったか・・・」

いっせいに走り出す2人。しかし、本田選手は、2人を見つけたのでは、無かった。

ソニック 「ん？ 声が聞こえたような・・・ってうわっ!!」

そう、本田選手は、ソニックを捕らえていたのだ。

ソニック 「マジか!! 逃げろ!!」

本田選手とはいえ、さすがにソニックには追いつけない。どんどん距離が広がっている。

さらに、本田選手とリュカ、ロイの距離も、広がっていく。

ソニック「逃げる逃げる……!!」

ロイ（鬼）「見えないけどきつと生存者狙ってるんだな……」

そう、鬼に、生存者は見えないのだ。

更に、ソニックと本田選手の、距離は離れていく。

本田選手「無理か・・・ソニック早いな・・・」

ソニックをあきらめた本田選手。

しかし、本田選手には、ロイと、リュカが迫っている。

本田選手「ハア、ハア・・・って、いた!!!」

一目散に逃げ出す本田選手。

ウォッチ（鬼）「イマシタ!!!」

更に、ウォッチも合流。

本田選手「しぶとい二人だ!!」

本田選手は、まだウォッチに気がついていない。

絶体絶命の、本田選手。果たして、どうなったのか!?

次回に続く。

逃げろ！捕まえろ！（後書き）

短くなってすいません・・・忙しいので・・・

敗者復活!! (前書き)

更新遅れました・・・すみません・・・

敗者復活!!

現在午前2時で、敗者復活残り時間は、4時間。
現在追っているロイとリュカ、ウォッチは、捕まえられ
るのか？

本田選手「ソニック逃がしたと思ったらこれだよ・・・」

リュカとロイには気がついていないが、ウォッチには気がついていない！

ウォッチ（鬼）「ツカマエニキマス!!!!」

ウォッチも、戦闘体勢に入った!!

本田選手「ハア・・・ってこっちもかよ!!」

ウォッチに、残り30メートルほどで、やっと気がついた本田選手。

本田選手「無理だよ・・・」

速度が落ちていく本田選手。逆に、ウォッチとの差が無くなっていく・・・

ウォッチ「タッチデス!!」

ロイ、リュカ「チッ・・・そこにいたのに・・・」

ロイとリュカも近くにいた。

ピリリリリリリ・・・

デデデ「きっと誰か復活してくれたゾイ!!」

トウーン「誰か捕まったのかな・・・」

リンク（鬼）「もう復活!?!」

メール内容

現在、午前2時。残り34時間。

とある場所にて、本田選手をウォッチが捕まえ、ウォッチ復活。
現在、生存者は、19名。

なお、これより30分間鬼はウォッチを確保できない。

ヨッシー「ウォッチさんやりましたね・・・」

ソニック「何とか捕まえてくれたみたいだ・・・」

ゼルダ「もう透明マントがなくなっちゃったわ・・・」

そう、敗者復活が終了したため、マントは無くなった。

サムス（鬼）「くやしい・・・」

ファルコ（鬼） 「さっさと片付けるか・・・」

一方そのころ・・・

マスハン 「チツ・・・期待したんだがそれほどでもなかったな・・・」

時期早々に本田選手が捕まったため、悔しがるマスハン

マスハン「さて……生存者にはがんばって逃げてもらおうか・
」

そして無人島。

ゼルダ「もうゼルダの伝説メンバーももう半分……がんばらなく
ちゃ・・・」

しかし……

???
「誰かいなかー．．．」

ゼルダ「!!!!．．．来たみたいね．．．」

!!
海岸を全力疾走しようとするゼルダ。しかし、見つかってしまった

???
「ゼルダさん!!!!」

ゼルダ「キャー！！！！！」

ゼルダは全力疾走！！果たしてどうなる！？

次回に続く

敗者復活!! (後書き)

最近悩んでることがあります。よかったら、次回のあとがきに書きますので、
よかったら、また感想お願いします。

2日目の日の出（前書き）

中日優勝！！！

更新遅れてすいません・・・

2日目の日の出

9名。

現在、ウォッチが復活し、残り生存者1

しかし、現在ゼルダが何者かに見つかった！！果たして逃げられるのか！？

ゼルダ「キャー！！！！」

???「まってー」

果たしてゼルダを追いかけているのは！？

ゼルダ「聞覚えのある声……ヨッシー!？」

ヨッシー「そうですよー。鬼だと思ったんですか？」

ゼルダを見つけたのは、生存者のヨッシーであった。

ヨッシー「大きい声だと見つかりますよ。」

ゼルダ「そうだったわ……」

安心するゼルダとヨッシー。そこに！

ピット（鬼） 「いた！！」

ピットだ

ゼルダ、ヨッシー 「逃げろー！！！！」

ピット（鬼） 「どっち行こう！？」

どちらを狙うか迷うピット。ピットが狙いをつけたのは!?

ゼルダ「こっち!？」

ゼルダだった。

足が遅いゼルダ。あっという間に、ピットに詰められていく・・・

ピット（鬼）「タッチ!!」

ゼルダ（鬼）「あー……もう捕まった……」

ヨッシー「ゼルダさんはどうなったのでしょうか……」

逃げ切れたヨッシー。

ヨッシー「まあ捕まっていなかったらいいですけど・・・」

のんきな人だ。

ピリリリリリリ・・・

ウォッチ「電話です。」

メタナイト「まさか捕まったとか・・・」

リンク（鬼）「もとにもどったか・・・」

メール内容

現在、午前4時。残り32時間。

ゼルダ確保。現在生存者は、18名。

トゥーン「ゼルダの伝説メンバーあと一人・・・」

リンク（鬼）「ゼルダ・・・捕まってしまいましたか・・・」

フォックス「元に戻ったな・・・」

そして、午前5時30分 ゲーム残り30時間30分。

そして、日が昇った・・・

ウォッチ「マズイデスネ・・・アカルイト、フリデス・・・」

ルカリオ「まだ捕まりたくないな・・・」

プリン「がんばりたいでしゅ・・・」

ソニック「とりあえずがんばろう・・・」

それぞれの胸に、気合を入れる生存者たち。
果たして、日が暮れるまでの不利な時間を逃げれるのか!?

次回に続く・・・

2日目の日の出（後書き）

深刻な問題ですが・・・

日本代表の選手の実名を使うのは、ありなんでしょうか・・・

また感想で意見聞きたいです・・・

不利になって追われるもの(前書き)

本気で悩んでいます・・・感想よろしくお願いします。

不利になって追われるもの

現在、午前6時。日が昇り、不利になった生存者。さらに、ゼルダがつかまり、

残り18人。増える鬼から逃げられるか!!? ?

ソニック「鬼に遭遇したくないな・・・」

いくら俊足でも、囲まれたらにげられないので、あわてるソニック。

ピカチュウ「また暑い昼が始まる・・・」

そう、これが開催されているのは、8月15～18日である。
気温は30℃をこすのは、確実である。

長友選手「うーん・・・いるよ・・・」

今回で消えるかもしれない日本代表の長友選手。しかし、近くに、
クッパ、ガノンの姿。

長友選手「あっち行ってよ・・・」

前しか見えていない長友選手。

しかし、後ろから・・・

リンク（鬼） 「ダダダダダダダダダダ・・・」 （走る音です）

長友選手 「うわっ！ 後ろからか！！」

後ろから、リンクが出てきたので、あわてて移動した長友選手。
しかし、移動した先に、クツパとガノンが！！

長友選手「無理だ……」

走るのをあきらめた……

リンク（鬼）「タッチ!!」

クツパ（鬼）「我輩のおかげだ」

長友選手（鬼）「くやしい……でもクツパでつかまったんじゃない……」

ピリリリリ・・・

スネーク「明るいからつかまったか・・・」

メタナイト「鬼多くなってくるな・・・」

メール内容

現在、午前7時。スタートから43時間経過。
長友選手確保。残り17人。

ファルコ（鬼） 「やった！！大きな戦力だ！」

ヨッシー 「かなり強い人が敵になりましたね・・・」

ピリリリリリ・・・

マリオ（鬼） 「まさかの連続確保!？」

ナナ 「またつかまったの!？」

メール内容

これより、鬼が全滅させることができなかった場合の、罰ゲームを発表する。

サムス（鬼） 「なにかしら・・・」

リュカ（鬼） 「怖い・・・」

マリオ（鬼） 「これ次第で、サボろうかな・・・」 （笑）

果たして罰ゲームの内容とは!?

次回に続く。

不利になって追われるもの（後書き）

10月10日の逃走中あんまり面白くなかった・・・
全滅して復活って・・・

バツゲームの内容(前書き)

祝!! 20000アクセス突破!!

皆さんのおかげです!

バッゲームの内容

前回突如送られてきたバッゲームの内容のメール。果たして、
バッゲームとは何なのか!?

カービィ(鬼) 「怖い……」

フォックス 「捕まりたくねえ……」

メール内容続き

バッゲームとは……

ダメージ999%でマスハンからホームランバットでホームラン打たれる！

これだ。

全員「……………」

エエツ……………!!!!」

ファルコ（鬼） 「マジでか・・・」

サムス（鬼） 「厳しすぎる・・・」

マルス（鬼） 「パワーないピーチで10%でも吹っ飛ぶのに・・・」

ソニック 「逃げ切ってみてみたいな・・・」

それぞれの思いでこれからのゲームに挑む全員。
果たしてどんな展開になるのか!?

次回に続く

バツゲームの内容（後書き）

すごくショートですいません・・・
父とケンカしてるんで・・・

バツゲームで覚醒した鬼たち（前書き）

珍しく3日連続投稿！！

バツゲームで覚醒した鬼たち

前回、マスハンから全滅できなかったときの、鬼へのバツゲームが

発表された。果たして、鬼たちはどのように対処するのか！？

プリン「捕まったらたぶん一番吹っ飛ばされるでしゅ……」

メンバーの中で一番軽いプリン。

クッパ（鬼）「ウオォー！！一番重いとはいえ飛ばされたくないー！！」

ピリリリリリリリ・・・・

ポケトレ（鬼）「メールだ。なんだろう・・・」

トウーン「まさか誰か捕まった!？」

メール内容

これより、宝箱から手に入れたアイテムを、使用不可にする（食料は別）

さらに・・・

カービー(鬼) 「ドキドキ・・・」

フォックス 「ゴクッ・・・」

メール内容続き

南エリア森ゾーンにて、スネーク確保。残り17人。

デイディー 「エーッ・・・」

デデデ「ここで捕まるかゾイ・・・」

事の成り行きはこうだった・・・

スネーク（まだ鬼じゃない）「フウ・・・疲れるぜ・・・」

疲労で休憩するスネークに、とある鬼が・・・

ファルコン（鬼）「いたぜ!!」

スネーク「チッ!!クソッ!」

逃げるスネーク。

しかし、俊足ファルコンの前に、あまり目立てず・・・

ファルコン（鬼）「タッチ!!」

スネーク、あっけなく確保。

スネーク（鬼） 「チツ・・・せめて目立って捕まりたかった・・・」

ピカチュウ 「まずいでチュ・・・これからどんどん鬼が増えるでチュ・・・」

トウーン 「これじゃあ後人間は僕とナナだけじゃん・・・」

人間キャラが残り二人だと思い、悲しむトウーン。

ワリオ、ピクオリ 「ハックシュン！！誰かうわさしてるのかな・・・」

「

まだ二人いた。

しかし、減りつつある人間キャラに、更に鬼の手が忍び寄る・・・

マリオ（鬼） 「いたぜ！！！！捕まえて目立つぜ！！！」

??? 「うわっ！！にげろ！！！」

追われているのはいったい誰なのか!?

注! 人間キャラです!

次回に続く。

バツゲームで覚醒した鬼たち（後書き）

次の次の話は、長めです。

途中経過発表!! (前書き)

中日ドラゴンズ日本シリーズ優勝!!

本気でがんばります!!

途中経過発表!!

途中経過です!! 情報が多すぎる・・・

・

現在の生存者・・・ヨッシー、トウーン、ウォッチ、メタナイト、
ピカチュウ、プリン

ソニック、ディディー、ワリオ、ナナ、ピクオ
リ、ルカリオ、ピチュー

フォックス、ウルフ、デデデ、残り16人。

生存者たびたび変わってすいません・・・ここから固定です!!

生存者のエリア分布図

ヨッシー・・・南エリア海岸ゾーン

ワリオ・・・地下東エリア洞窟ゾーン

ピクオリ・・・地下東エリア灯台ゾーン

ディディー・・・北エリア森ゾーン

プリン・・・中央エリア森ゾーン

ルカリオ・・・中央エリア滝ゾーン

ナナ・・・地下西エリア森ゾーン

ウルフ・・・西エリア廃墟ゾーン

ソニック・・・北エリア海岸ゾーン

フォックス・・・地下北エリア森ゾーン

デデデ・・・地下中央エリア湖ゾーン

ピチュー・・・南エリア墓場ゾーン

メタナイト・・・南エリア森ゾーン

ウォッチ・・・東エリア森ゾーン

ピカチュウ・・・地下南エリア海岸ゾーン

トウーン・・・地下西エリア森ゾーン

果たして、残り27時間30分を逃げ切るものは現れるのか!?

途中経過発表!! (後書き)

実名の良し悪しアンケートお願いします！
次の小説使うか困っています・・・

日の照る戦場（前書き）

マリオがみつけたのはいったい誰なのか！？

日の照る戦場

前々回、マリオがとある生存者を見つけた。果たして誰なのか!?

マリオ（鬼） 「全力疾走!!」

全力疾走するマリオ。果たして見つかったのは!?

プリン 「プリッ!!」

プリンだった。

プリン「逃げるプリ!!」

逃げるプリン

マリオ（鬼）「逃がすもんか!! 足は俺のほうが速い!!」

それを追うマリオ。確かに、足の速さでは、マリオのほうが圧倒的に上だ。

プリン「無理でしゅ．．．こうなったら最終兵器．．．」

かなり距離が詰められてきたプリン。すると．．．

マリオ（鬼）「あれはまさか．．．」

プリン「最終兵器！．．．転がるでしゅ！．．．」

そう、かなりの速度が出る転がるを繰り出したのだ。

バシューーン！！！！

プリンは、車並の速さで逃げ去っていった。

マリオ（鬼） 「マジか……後ちよつとだったのに……」

残り約20メートルほどまで迫っていたマリオ。とても悔しいだろう。

プリン「ハア、ハア・・・逃げ切れたでしゅ・・・」

何とか逃げ切れたプリン。

そこに・・・

メタナイト「プリン！まだ生きてたのか！？」

完全に鬼になってたと思い込んでいたメタナイト。

プリン「当たり前でしゅ!! 転がるで絶対逃げるでしゅ!!」

そのとき・・・

ガサッ!!!!

メタナイト、プリン「!!!!」

2人（？）はあわてて音のした場所を見たがそこには何もなかった。

メタナイト「気味が悪いな・・・」

そういうと、メタナイトはそこを去っていった。

プリン「怖いでしゅ・・・プリンも逃げるでしゅ!!」

そういつて、プリンも逃げ出しかけたその時!!

カービィ(鬼)「とうっ!!」

なんと、木の上からカービィが飛び出してきた。

プリン「ギャー!!!!転がる!!!!」

バシュー!!!!

またもプリンは、転がるを使い、逃げ去っていった。

カービィ（鬼） 「あゝあ・・・にげられた・・・メタナイトの方向
こ・・・」

そういうと、カービィは、また木の上に上って、メタナイトのほう
へと向かって行った・・・

そして、ここからはメタナイトを追うカービィ目線・・・

カービィ（鬼） 「メタナイトどこかなー？」

しかし、メタナイトは、案外とすぐそばにいた。

メタナイト「プリンが代わりに捕まるから大丈夫だろ！！」

余裕のメタナイトが優々と歩いていた。

カービィ（鬼）「気付かれない様に・・・」

そういつて、カービィは慎重に、メタナイトへ飛んでいった。

そして、残りの距離は10メートル・・・

メタナイト「うるさいな・・・」

メタナイトは、セミに気を取られ、まだカービィに気付いていない。

カービィ（鬼）「捕まえる・・・」

そう小声で言うと、カービィは大きく口を開けた・・・

カービィ（鬼）「吸い込む!!!!!!!!!!」

やっぱりでた・・・

メタナイト「セミうるさ・・・ウワーーーー！！！」

メタナイトは、カービィに吸い込まれた。

一応メタナイトは、この時点ではアウトにならず、タッチされれば鬼になる。

カービー（鬼） 「ペツ!! タッチ!!」

そして、メタナイトを吐き出すと、タッチし、メタナイトはあっけなく捕まった。

メタナイト（鬼） 「くそー!!!! 気付かなかった!!」

ピリリリリリリ・・・

デデデ 「もう確保情報はこりこりゾイ・・・」

ゼルダ（鬼） 「トウーンかな・・・」

メール内容

現在、午前9時30分。のこり26時間30分。
南エリア森ゾーンにて、メタナイト確保。残り15人。

ウォッチ 「オニガ35ニンデスカ・・・」

サムス（鬼） 「もう15人なの？早いわね！」

プリン 「やっぱりメタナイト捕まったでしゅ・・・」

ピカチュウ「ヤバイ!!! どうなってん・・・」

リンク（鬼）「タッチ!」

ここで、メールを読んでいたピカチュウあっさり確保・・・

ピカチュウ（鬼）「えっ!?! 情けないでちゅー!!!」

ピリリリリリ・・・

ソニック 「またきた!!」

トゥーン 「敗者復活か!？」

ポポ（鬼） 「連続で捕まることなんてないから敗者復活だ!! きっと!!」

メール内容

地下南エリア海岸ゾーンにて、ピカチュウ確保。残り14人。

ルカリオ「ピカチュウ……お前もか……」

ピチュー「お兄ちゃん……」

フォックス「残りがどんどん減っていく……」

ウルフ「鬼の数と残り時間がつりあってねえ……」

ピリリリリリ……

ピクオリ「エッ！また！？」

ヨッシー「3連続はないでしょ・・・」

メール内容

この内容は、生存者のみに配布する。

ナナ「エッ！何！？」

果たして、生存者にのみ与えられたメールの内容とは！？

次回に続く。

日の照る戦場（後書き）

増やし鬼終わったら何書こうかな・・・

メール内容 (前書き)

メール内容とはいったい何なんでしょうか・・・

メール内容

現在、鬼が36人、生存者が14人と圧倒的に不利な状況の生存者たち。

そんなとき通のメールが・・・果たして、内容とは
いったい何なのか!?

トゥーン「生存者だけってどんな内容なんだ・・・」

そう、このメールは、生存者のみに連絡されており、鬼には、そのことはまったく知らされていない。

メール内容1

これより、3回目の敗者復活の準備をしようと思う。

ウォッチ「ヤッター!!」

フォックス「助かったぜ・・・」

メール内容2

今回のルールは、午前12時（正午）から、最長2時間だ。

12時になると、ドクターマリオ、（通称ドクター）子供リンク（通称子供）

を無人島に投入する。

ウルフ「今回は二人か・・・」

メール内容3

鬼は、ドクター、子供を捕まえると、復活となる。

ルカリオ「まあ、そうだな。」

メール内容4

更に、今回のターゲットは、君たちでもある。

生存者全員「!!!!!!!!!!」

メール内容5

君たちも、敗者復活時間に捕まれば、鬼となり、捕まえたやつは、生存者となる。

ソニック「めっちゃ不利じゃん!!」

ディディー「無茶苦茶だ!!」

メール内容6

しかし、この島から脱出すれば、復活ゲームから、のがれることができる。

脱出の仕方は、東西南北の海岸ゾーンにある、ノコノコが運転する船に乗れば、

脱出が可能だ。

ちなみに、ノコノコの船は、誰かが乗ると1分後に出発し、20分戻ってこない。

また、地下エリアでも同じで、ノコノコは無休で動いてくれる。

終わり。

ピチュー「いくでちゅ!! 逃げるでちゅ!!」

ヨッシー「メール読んでる間に後2時間です!! いそげ!!」

最初、南エリアの海岸にいたヨッシーだが、移動したため、距離が離れてしまった。

ソニック「船って・・・あれか!!」

北エリアの海岸ゾーンにいたので、船を見つけたソニック

ソニック「ノコノコいる!!」

ノコノコ「増やし鬼の方ですね。どうぞ。」

そうって、ソニックは乗った。

ソニック「助かった・・・」

一安心のソニック。何とか復活ゲームからのがれた。

ノコノコ「出発！！」

そういうと、ノコノコの船は、出発した。

そのころ・・・

ルカリオ「海岸っておい！！ここからどれだけ離れてんだよ！！」

デデデ 「2時間しかないゾイ!! 早く動くゾイ!!」

中央エリアにいる2人。移動を始める。

続々と移動を始める生存者たち!! 果たして、敗者復活ゲームまでに間に合うのか!?

次回に続く

メール内容 (後書き)

なんか逃走中みたいになってきた・・・

あと、敗者復活ルールの矛盾点や不明点があったら教えてください！！

生存者はノコノコに頼れ！！（前書き）

更新日時まったく不明のスマブラサバイバル増やし鬼！！
まだまだ続きます。

生存者はノコノコに頼れ！！

現在、午前10時！！突然の敗者復活の犠牲から生存者たちは生き残れるか！？

現在無人島から脱出し、安心しているソニック。

ソニック「それにしてもどこに行くんだろ・・・」

これは、ノコノコの運転なので、どこに行くのか、生存者は分かっていない。

ノコノコ「あのワープゾーンに行くんですよ」

そういった、ノコノコの指差した先には、虹色の門があった。

そして、門の前にたどり着いた・・・

ノコノコ「降りてください」

ソニック「はぁ・・・」

そういつて、ソニックは船から下りた。

ワープゾーンには、停留所があり、降りていくようになっていて、更に、その先にはドアがある。

ノコノコ「そのドアを入れば、快適な空間ですよ」

そういつて、ノコノコは帰っていった。

ソニック「入るか・・・」

ドアを開けて、入るソニック。

ドアの中

ソニック「・・・・・・・・すげえ・・・・・・・・」

ドアの中は、まるで天国だった。

あたり一面の空、遠くまで広がる雲。

その雲の上に、ソニックはいる。

ソニック「床ふかふかだ・・・きもちいい・・・」

快感を楽しむソニック。

そのころ猛暑の無人島では・・・

ピチュー「急ぐでちゅー!!」

船へ向けて、急ぐピチュー。

ヨッシー「あ！ピチューさん！！」

ヨッシーが、ピチューを見つけた。

ピチュー「！！！！」 「ヨッシーさんでちゅか・・・」

二人がであったのは、海岸ゾーン。幸いにも、南エリアなので、船はまだいる。

ノコノコ「二人でもいいですよ」

ピチュー・ヨッシー「やった!!」

ヨッシー・ピチューは、無事脱出した。

一方・・

ウルフ「じゃあ頼んだぞ。」

ノコノコ「了解」

西エリアの海岸ゾーンから、近かったウルフが脱出成功。

現在、ソニック、ピチュー、ヨッシー、ウルフが脱出成功。

ほかに脱出できる生存者は現れるのか！？

次回に続く・
・
・

生存者はノコノコに頼れ！！（後書き）

大体冬休み前に完結させる予定です。

鬼に知れ渡るとき(前書き)

次回作決定!!

詳しくはあとがきで!!

鬼に知れ渡るとき

1時間30分。

現在午前10時30分。敗者復活ゲームまで残り

果たして、生存者は無事脱出できるのか!?

現在はソニック、ヨッシー、ピチュー、ウルフが脱出した無人島。
残るは10人。

そしてここは地下東エリア海岸ゾーン・・・

ピクオリ「うう・・・何とか到着です・・・」

全力疾走したピクオリが、灯台エリアからやってきた。

ノコノコ「お疲れ様です」

ピクオリ、無人島から脱出成功。

とそのとき・・・

???「キヤーー!!!!」

ピクオリ「!!!」

ピクオリを乗せた船が出港して間もないとき、森のほうから悲鳴が聞こえたのである。

ピクオリ「なんだったんでしょうか・・・」

ピリリリリ・・・

リンク（鬼） 「何だ!？」

ソニック 「確保情報だったら大変なことになるぞ・・・」

メール内容

現在、午前10時45分。残り25時間15分。
地下東エリア灯台ゾーンにて、ナナ確保。

残りは13人。

ヨッシー・ピチュー 「これってやばくない・・・」

トウーン「まずいな・・・」

ワリオ「全速で行かなければ・・・」

ではナナの確保シーンを見てみよう・・・

ナナ「ここどこ？地図が読めない・・・」

ナナはもともと地下西エリア森ゾーンにいて、地下西エリアに近か

ったが、なぜか逆のほうの
地下東エリアのほうの海岸に来ていた。

そのとき・・・

ミューツー（鬼） 「久しぶりのターゲットです・・・」

鬼のミューツーに見つかった・・・

ナナ 「キャー！！」

悲鳴を上げるナナ。ピクオリが聞いたのは、この声だ。

ミューツー（鬼） 「タッチ……」

ナナ、ミューツーに簡単に追い詰められ完敗……

そのころ……

ヨッシー・ピチュー 「ソニックさん!!」

ソニック「遅いなー」

ヨッシー・ピチューが楽園にやってきた。

ソニック「ヤバイな・・・ナナが言いふらすだろ・・・」

ヨッシー「そうですよね・・・」

ナナの確保で、あわて、どよめきだす生存者。

果たして、無事脱出できるのか!?

次回に続く・・・

鬼に知れ渡るとき（後書き）

次回作！！！！

スマブラメンバー逃走中に決定！！

終わり次第逃走開始！！

早期脱出へ!! (前書き)

早めに投稿・・・

早期脱出へ!!

分。

敗者復活開始まで、残り1時間15

更に、復活ゲームの知っているナナが捕まり、
生存者は大混乱。

果たして、何人が脱出できるのか!?

ここは脱出したものの来る天国・・・

ウルフ「ふん、やっとついた・・・」

ピクオリ「はぁ・・・あぶなかった・・・」

脱出した2人が、天国へとやってきた。

ソニック「おつかれ!!」

ピチュー「ご苦労さまでちゅ!!」

ヨッシー「セーフですね!」

ウルフ「ああ・・・ナナはどうなんだろうな・・・」

そのころ無人島のナナは・・・

ナナ（鬼） 「ミューツー!!」

ミューツー（鬼） 「なんだ!？」

ナナ（鬼） 「じつはさっきこんなものが送られたんだけど・・・」

そうって、ナナは、復活ゲームのことをミューツーに見せた。

ミューツー（鬼） 「なに！？敗者復活ゲーム！？早く船に乗せるな
！！」

ピリリリリリリ・・・

サムス（鬼） 「また捕まえたのかしら？」

ピット（鬼） 「メール多いな・・・」

メール内容

ミューツーからの伝言だ。

とりあえず急いで東西南北の海岸にあるノコノコの船を見張ってくれ。

地下にもある。

なぜかは12時に分かる。

なお、この内容は、鬼のみに送っている。

ピカチュウ（鬼） 「信用してみるか・・・」

リュカ（鬼） 「あれかな・・・ノコノコいるし・・・」

リュカが、地下北エリアの海岸にたどり着いた。

リュカ（鬼） 「休憩になるし、信用してみるか」

こうして、地下北エリアの海岸ゾーンは、逃げられなくなった・・・

一方その上の北エリアでは・・・

ディディー「ヤッホーイ!!」

ディディーが、船着場にやってきた。

ソニックが、早く脱出したので、船は帰ってきている。

ディディー「乗せて!! 乗せて!!」

ノコノコ「いいですよ」

ディディー「ふう〜助か・・・」

???
「待ったーーーーー」

そこに現れたナゾのメンバー・・・

更に別の場所・・・

トゥーン「あれか・・・」

ワリオ「ああ・・・」

トゥーンとワリオの2人が、地下南エリアの船着場に到着した。

トゥーン「ワリオ急いで・・・」

トゥーンは、船着場に到着したが、ワリオはまだ少しある。

トゥーン「ん？あれは・・・」

トゥーンが目にしたものは・・・

ピカチュウ（鬼）「船を止めるでちゅー!!」

鬼のピカチュウだった・・・

トゥーン「あわわ・・・ワリオ!! 急いで!!」

ワリオ「わかつとるわい!!」

船着場まで、ワリオは30メートル、ピカチュウは、およそ70メートル。

果たして先にたどり着くのは？

そして、ディディーの前に現れたメンバーとは！？

次回に続く・・・

早期脱出へ!! (後書き)

ふー、

この1話でやっと15分くらいか・・・

厳しい脱出劇（前書き）

冬休み前に終わるかな・・・

厳しい脱出劇

現在、敗者復活ゲームの脱出中!!! しかし、ナナが捕まり、現在は1つだが

 どんどん鬼によって少なくなっていく安全な船着場。果たしてどうなるのか!?

そして、ここは船着場のディディーと、とあるメンバー……

ディディー「!!!!!! だれ! だれ!」

??? 「俺だ!!!」

ディディー「……この声は……」

ルカリオ「俺も乗せてくれー!!」

ディディー「なんだ……ルカリオか……鬼かと思っただけ……ま、鬼でも」

大丈夫だけだな……」

ナゾのメンバーとは、生存者のルカリオであった。それにしても、中央エリアからここまでの距離を短時間で移動するのは、難しいだろう。

そして、ルカリオが船着場にたどり着いた・・・

ノコノコ「出発しますよ」

ディディー「ああ！」

そういつて、ディディーとルカリオは、無事脱出した・・・

そして、この場とは変わってとある船着場・・・

ゼルダ（鬼） 「あれか・・・通行止め（？）しなきゃね・・・」

そういつて、ゼルダがやってきたのは、地下西エリアの海岸・・・

ゼルダ（鬼） 「敗者復活に貢献しないと・・・」

こうして、地下エリアは、東エリア、南エリアからしか安全には逃げられなくなった・・・

そして、ここはその地下南エリア・・・

ここでは、葛藤(?)を繰り広げている
ピカチュウとワリオと、見ているトウーンがいた・・・

現在、ワリオは船着場まで、約20メートル。
ピカチュウは残り約50メートルである。

トウーン「ワリオがんばれ!!!」

そういつて、船着場から見ているトウーン。
なものだ。

そうとうのんき

ワリオ「うーん……あと少し……」

ピカチュウ（鬼）「絶対ワリオだけは捕まえるでちゅー!!」

あきらめないピカチュウ!!

果たして結果は!?

ワリオ「ついたぞ・・・」

ピカチュウは残り20メートル。ワリオに軍配があがった・・・

トウーン「早く乗って!!」

ワリオ「そうだ・・・」

急いで乗るトゥーンとワリオ。

ノコノコ「出発」

そういうと、ピカチュウを残し、船は出発していった・・・

ピカチュウ（鬼）「あゝあ……」

ワリオを取り逃がし、落胆するピカチュウ。

ピカチュウ（鬼）「仕方ない……もう逃がさない……」

そういつて、船を守り始めるピカチュウ。

そして、

地下エリアからは、東の海岸からしか逃げられなくなった・・・

次回！生存者に恐怖のメール！！

（ネタバレだよな・・・）

次回もお楽しみに！！

厳しい脱出劇（後書き）

ちなみに、増やし鬼の次のスマブラ逃走中の

希望内容アンケート開始！！面白い！！と思った1つを採用します
！！

ちなみに、期限は、11月までです！！

ぜひ参加してください！！

地下は無意味（前書き）

感想とか評価がこない・・・

地下は無意味

現在、午前11時15分。敗者復活ゲーム開始まで、残り45分。

更に、地下エリアは、東エリア以外全部の船が、鬼によって監視されている。

果たして、脱出できる生存者はまだ現れるのか！？

そして、ここは地下東エリアの海岸ゾーン……

ミューツィ（鬼）「フン……やっと着きました……」

ついに東エリアの海岸にも、ミューツィがやってきた。

ミューツ―（鬼）「おろかなやつらめ・・・」

そして、ミューツ―が地下東エリアの船を見張っているため、安全な脱出は地下エリアからできなくなってしまった・・・

ピリリリリリリ・・・

トウーン「逃げれた・・・って・・・メールかよ・・・」

ソニック「おお!!メール来たぞ!!」

ピクオリ「何でしょうか・・・」

メール内容

この内容は、生存者のみに送られる。

現在、無人島に残っている生存者は、

デデデ、プリン、フォックス、ウォッチの4人である。

ソニック「もうそんなに出たのか!？」

トウーン・ワリオ「やった、ついた!!」

ルカリオ・ディディー「天国だ・・・」

ここで、脱出した生存者は、全員天国にやってきた。

そして、無人島に残されている生存者は・・・

ウォッチ「ヤバイ・・・」

デデデ「結構みんな脱出してるゾイ・・・」

プリン「早く出たいプリ・・・」

フォックス「どんどん狙われる率高くなるじゃん・・・」

メール内容2

更に、脱出できていない生存者にヒントをあげよう。
ナナが捕まり、鬼もこのことは知っている。

そして、鬼が、地下4つの海岸を、すでに監視している。
逃げるなら、上のエリアの海岸から逃げることをお勧めする。

フォックス・デデデ「上だ!!」

同じ場所にいるわけでもないのに、同じ事を言った2人。

そして、ここは天国・・・

ソニック「ふー・・・大変なもんだな・・・」

トウーン「早く脱出して正解だった・・・」

ピクオリ「今頃地下エリアにいる生存者はきつと
と言ってるんでしょうね・・・」
「上だ!」

ワリオ「わはははは!!!! そうだな・・・」

ピチュー「なんか気の毒でちゅ・・・」

そして、ここはとある海岸・・・

「????? ヤットツキマシタ……」

どこかで聞き覚えのあるこえ……

そして、更にここはとある狐（笑）の場所……

フォックス「上行こうと思ったけど……時間少ない……」

そう、時間は、現在11時30分。

残りは、30分だ。

フォックス「1人ぐらいなら突破って案もあるな・・・」

現在、地下北エリアのフォックス。

強行突破を試みる!!

果たして、フォックスは無事脱出できるのか!?

そして、とある海岸にやってきたのは、カタコトの

?????
なか、?????
なか!?

次回に続く・・

地下は無意味（後書き）

1話前の、方角ミスを訂正しました。

何度も申し訳ございません。

はじまるラストチャンス（前書き）

逃走中楽しみ！！！！

でもロケ地が家とはめっちゃくちや遠い・・・

（ちなみに僕は中部地方在住です。）

はじまるラストチャンス

敗者復活ゲームまで、残り30分。

果たして、無人島に残っているウォッチ、デデデ、プリン、フォックスは

無事脱出できるのか!?

そして、ここは?????か?????のいる東エリア海岸ゾーン……

果たしてついたのは!?

ウォッチ「ダッシュします！」

ウォッチだ。

船に向かって歩くウォッチ。

しかし、森の奥から・・・

長友選手（鬼） 「ん？ あー！！ ウォッチおったでー！！」

そう、実名の不安でいっぱいだった長友選手が、久しぶりに小説に登場！！

ウォッチ 「ヒャー！！」

一目散に船に向かうウォッチ。

しかし、相手は世界の名門チームからのスカウトも来ているサッカー選手。

長友選手（鬼） 「タッチ!!」

ウォッチ（鬼） 「アアー・・・」

ウォッチ、あと30メートルで散る・・・

ピリリリリリ・・・・

プリン「何でしゅか・・・」

フォックス「うるさいな・・・」

メール内容

現在、午前11時45分。

東エリア海岸ゾーンで、ウォッチ確保。

なお、長友選手が仕事で帰るので、メンバーは、39人となり、生存者は、残り12人。

長友選手「撤収」

そういうと、船に乗って、撤収していった。

ウォッチ（鬼）「イガイトアツサリデスネ。」

一応復活したのに、また捕まったウォッチ。

一方、こちらはまだ脱出できてない生存者・・・

プリン 「転がるファイヤー!!」

なぜか自称最終兵器を連発するプリン。

しかし、これがよかったのか、南エリアの海岸ゾーンにたどり着いた。

プリン「プリ〜!! 暴れてたらたどり着いたプリー!!」

プリン脱出。

めでたしめでたし!?

デデデ「ブフー・・・」 (何の効果音だ!!)

奇妙な効果音を上げるデデデ。

とても重量級キャラとは思えない走りで、運良く西エリアの海岸ゾーンにたどり着いた。

ノコノコ「……大丈夫ですか……」

デデデ「うう……とにかく出発……」

ノコノコ「了解……」

デデデ、何とか脱出！？

そして、2人が運良く意味不明だが、脱出に成功したので、残るはフォックスのみである。

そして、フォックスは言ったとおり危険をかえりみず、地下東エリアの海岸にやってきた。

フォックス「いるいる・・・もう時間ねえ・・・」

見張っているのは、ミューツー1人。残り時間は、あと3分。

ミューツー（鬼）「はやく始まりませんかね・・・」

早くも敗者復活ゲームを待ち望むミューツィ。

そして、油断したのか、少し船着場から離れてしまった。

そして、森の中でそのときを待っていたフォックス。

フォックス「今しかない！」

そう小声で言うと、足音が出ないくらいの速さで、船に近づいていく。

刻一刻と船着場に向かうフォックスメートル。

距離は、およそ20

場まで10メートルあり、

ミューツーは、船着

い！！

まだ気がついていな

（高飛車だからね）

フォックス「なるべくバレないように・・・」

そして、残り10メートル！！

とそのとき!!

ミューツ―(鬼) 「!!!!何ッ!!」

ミューツ―に見つけた!!

フォックス「ヤベッ!!」

この走力勝負を制するのは!?

フォックス「脱出成功!!ノコノコ早く船出して!!」

圧勝でフォックスだった。

なぜなら、ミューツ―は、フォックスを見つけたとき、

慌て、自分を宙に浮かしていたサイコキネシスが途切れ、（18話
浮遊鬼参考）

かつこ悪く砂浜でこけてしまったのである。

そして、最後の無人島の生存者フォックスも、脱出に成功した・・・

12時に、残り2分前の出来事だった・・・

次回、鬼が生存者になるためのラストチャンス！！敗者復活ゲーム
開催！！

次回に続く。

はじまるラストチャンス（後書き）

ふゝ．．．実名問題終わったかな．．．

鬼へのラストチャンス（前書き）

いつもの3分の1ぐらいです。

フォックス「100文字ぐらいか！」

鬼へのラストチャンス

現在、12時。残りは、24時間。
敗者復活、スタートです。

ピリリリリリリ・・・

ファルコ（復活ゲーム中マークなし） 「復活か・・・」

リンク 「3度目の正直・・・」

メール内容

これより、敗者復活ゲームを行う。

これより、子供リンク（子供）、ドクターマリオ（ドクター）をエリア内に投入する。彼らを捕まえれば、敗者復活となる。

更に、知ってると思うが、脱出ゲームの結果、

生存者は、全員脱出した。

制限時間は午後2時までだ。

ネス「うつ・・・全員脱出したの・・・」

ロイ「止められなかった・・・」

ミューツー「クソ・・・」

そして、ここは全員が脱出した天国・・・

早めだが、サービスで全員到着!!

ソニック「ヤッター!! 全員脱出だって!!」

プリン「皆がんばったでしゅ!!」

フォックス「誰が復活するかな・・・」

そういいながら、天国にある、子供、ドクターの空中カメラから、
誰が復活するかを監視する生存者・・・

更にそのころ鬼本拠地点・・・

ドクター「がんばってこうぜ!!」

子供「久しぶりだぜ!!」

動き出すターゲット2人。

波乱万丈復活ゲーム！！

果たして復活できるのは誰なのか！？

次回に続く。

2時間のバトル!! (前書き)

逃走中まであと2日!!

2時間のバトル!!

現在、敗者復活ゲームがスタート!! 果たして、誰が復活するのか!?

子供リンク目線 (中央エリア湖ゾーン)

子供「うゝ・・・暑いゝ・・・」

現在、気温は31度。今時季節遅れだが、季節は執筆開始とおなじ、猛暑である。

子供「少しでも長く書いてもらおう……!!」

突然慌てだす子供リンク。

子供「う……いるな〜けっこう。」

子供リンクが見たのは、湖の対面にいる、ファルコ、アイク、スネークの3人。

アイク「あゝあ．．．どこかいらないかな」

ファルコ「チツ．．．こいつらといると絶対復活できねえ．．．」

スネーク「どこにいらんだ!？」

半ば分裂気味の3人。（もともとチームではないが・・・）

子供「アイクとスネークはともかく、ファルコはヤバイ・・・」

ファルコにおびえ、立ち去るソニック。

一方こちらはドクターマリオ目線（東エリア洞窟ゾーン）

ドクター「報酬〜報酬〜」

一応、2時間逃げ切った場合には、報酬もあるが、どうやらドクターは、

それにすごく興味があるようだ。

ドクター「一応相手は個人戦だからな・・・洞窟に逃げ込めば、何とかなるだろ・・・」

自分が復活することだけを相手は考えてくるからな・・・

「

一応、持ち前の頭脳は発動するようだ。

ドクター「まだ15分しか・・・」

ダダダダダ・・・

突然逃げ出したドクター。

ロイ「コラ待てドクター!!」

ロイに見つかってしまった。

ドクター「いゝそゝげゝ!! いくら作戦を立てても捕まったら意味ないゝ」

洞窟内を移動するドクター。

洞窟内は、迷路のような仕組みになっており、挟み撃ちでもしないと、なかなか捕まらない。

ドクター「逃げ切れたか・・・」

ロイ「くっ・・・何処に逃げた・・・」

ロイ、ドクターに逃げられる・・・

ドクター「油断できねえ・・・」

洞窟は、曲がり角が多く、鉢合わせになる可能性もあるのだ。

さすがはドクター。逃げ切っても冷静で、さっきの報酬のくだりを取り消してもいいくらいだ。

ドクター「ロイが危ない・・・ここから出たい・・・」

そしてまた子供リンク目線。

子供「うーん・・・参ったな・・・」

中央エリア湖ゾーンから、南エリア海岸ゾーンにやってきた子供リンク。

子供「こっちにも結構いるな・・・」

海岸には、ピカチュウ、墓場には、ポポを見つけた子供リンク。

子供「うわゝ・・・気が休まらない・・・」

うんうん・・・分かるその心。俺も高校受験心配で気が休まらない・・・

という余談はさておいて・・・

現在、20分経過。残り1時間40分。

果たして、誰か復活し、生存者になれる人は現れるのか!???

次回に続く。

2時間のバトル!! (後書き)

次回からほぼ毎日少しずつか、たまに沢山書くか、どっちにしようかな・・・

絶体絶命!!! (前書き)

ちよつと遅れました。

絶体絶命!!!

リオと子供リンク

現在、敗者復活ゲームの真っ只中。ドクターマを追う鬼たち。果たして、復活できるものは現

れるのか!?

子供リンク視点

子供「はあくまだ1時間15分もあるよ・・・」

現在は、午後0時45分。 敗者復活ゲームは、午後2時まで続く。

子供「というよりここどこだよ・・・」

そう言い、西エリア廃墟ゾーンにやってきた子供リンク。

子供「ん？ここって見通しいいし逃げ切れそう！」

しかし、鬼は27人。

アイク「子供リンク待てやー!!」

子供「またか!! ウワァー!!」

一目散に逃げる子供リンク。

曲がり角を使い、アイクとの距離を広げていく。

アイク「待てー……あれ、逃げられたか……」

子供「ハァ……危なかった……」

上手く逃げ切れた子供の前に、地下への階段。

子供「地下って人いなさそうだね・・・行ってみようか・・・」

そういうと、子供リンクは地下に降りていった・・・

ドクターマリオ視点

現在、ドクターは、東エリア洞窟ゾーンにいる。
そして、ロイがドクターを追っている

コツ・・・コツ・・・

ドクター「うゝん・・・足音が響くなゝ」

洞窟エリアは、地下迷宮のように入り組んでいて、出入り口が4つのみなので、よく声や足音が響くのだ。

ドクター「ハア・・・はやくここから出たい・・・」

コッ・・・コッ・・・

そこに足音・・・

ドクター「！！！！僕の足音じゃないし・・・誰か来てる・・・」

そういつて、逃げ出すドクター。

しかし・・・

コッ・・・コッ・・・

逃げようとした先に、足音・・・

ドクター「う・・・終わったか・・・」

果たしてドクターの運命やいかに！？

そしてあの某緑は！？

次回に続く・・・

絶体絶命!!! (後書き)

逃走中面白かった!!! そろそろクロノス復活しないかな・・・

(最後に出るやつ)

あのところから逃走中のファンです!!!

復活!!そして新たな試練・・・(前書き)

モンハン小説と交互更新なので、更新が遅れます。

復活!!そして新たな試練・・・

現在午後1時。復活ゲーム残り1時間。果たして、復活できるものは現れるのか!?

そして、ドクターマリオの運命は!?

東エリア洞窟ゾーン

ドクター視点

ドクター「袋のねずみだ・・・これは・・・」

ドクターは、長い通路のちょうど真ん中にいて、両方の曲がり角か

ら、
足音が聞こえるのだ。

—	—	—	
—	—		
—	—		
—	—	—	

こんな感じ。(大きくしたかっただんですが、そうすると破滅したので、縮小版になりました。)

ドクター「無理か・・・あきらめるしかないのか・・・」

時間の問題と考えるドクター。

不運にも・・・

ロイ「あー!!」

ゼルダ「キャー!! いたわ!!」

あいにく2人に発見された・・・

ドクター「……………」

ドクターは、すでにあきらめている。

ゼルダ・ロイ「タッチ!」

ドクター「終わったか・・・」

ドクター「確保。残りは子供リンク。」

ドクターは終わった。しかし、終わらないものもある。

ロイ「復活か・・・」

ゼルダ「え？私が復活じゃないの！？」

ロイ「俺だって・・・」

ピリリリリリ・・・

そのとき、メールが鳴った・・・

メール内容

現在午前1時5分。 とある場所で、ドクター確保。

ゼルダとロイが同時にタッチしたため、2人に復活の権限が与えられる。

ゼルダ「復活ね・・・」

ロイ「ついにやった・・・」

メール内容

しかし・・・

リンク「ん？下にまだあるぞ？」

ファルコン「なんだろう？」

メール内容

これより2人には、地上地下の東西南北の海岸エリアに行ってもらい、船にのらないければ、復活は認められない。

その間に他の鬼に捕まれば、そのものに権限が交代する。

なお、捕まった場合、捕まえられたものから復活の権限を即座に奪い返すのは

認められない。

時間は午後2時までだ。

ゼルダ「嘘・・・」

「ロイ「とりあえず行こう。ここだと1番近いのは西エリアの海岸だ。」

一緒に行動する2人。果たして、無事復活することができるのか？

子供リンク「俺は!？」

次回に続く。

復活!!そして新たな試練・・・(後書き)

某緑とは、子供リンクでした(笑)

プライドゼロ!! 復活へ!! (前書き)

おでんのおいしい季節ですね

ちなみに作者は、つけパンよりひたパン派です。

プライドゼロ!! 復活へ!!

現在、ゼルダとロイが復活権獲得!! 更にそれを追うた
くさんの鬼たち!!

残り50分!! 果たして船に乗り、脱出できるの
か!?

ピリリリリ・・・

子供「何だ!?!」

マリオ「まさかもう脱出した!?! はやすぎだろ!?!」

メール内容

これより、更にチャンスを与える。子供リンクを捕まえたものにも、復活権が与えられ、船に乗れば、その者も復活になる。

子供「えゝ・・・・・・・・厳し・・・・・・・・」

マルス「これ計画的にしないと・・・・・・・・」

そのころ洞窟・・・

ゼルダ「ここどこなの？ 分かんない・・・」

ロイ「ここって迷路みたいなんだよね・・・」

迷走中のゼルダとロイ。

鬼にも気付かれないが、迷い、どんどん時間は過ぎていく……

場面変わって子供リンク……

子供「あゝあ……鬼ってどこにもいるんだな……」

地下西エリア廃墟ゾーンにやってきた子供リンク。

サムス「どこにいるのかしら・・・」

スネーク「はやく復活してえ・・・」

近くにスネークとサムス・・・

子供「ここも危険か・・・」

廃墟ゾーンを離れ、海岸ゾーンに移動する子供リンク。

子供「ヤバ．．．たぶん海岸のほうがいるな．．．」

そう思いつつも、海岸に向かう子供リンク。

子供「あ、あと30分・・・」

残り30分。逃げ切れるか？

あと30分。この二人は・・・

ゼルダ・ロイ「出口どこ？」

出口を探すロイとゼルダ。

ゼルダ「ハア・・・どこなのよ・・・」

ロイ「時間が・・・あつた!!!」

ゼルダ「本当!？」

やっと出口を見つけたゼルダとロイ。残り30分。

果たして、脱出できるのは、誰なのか!?

次回に続く・・・

プライドゼロ!!復活へ!! (後書き)

次回作!!

スマブラ逃走中〜島の10の謎〜 (予定)

楽しみにしてください!!

復活ゲーム終了!! (前書き)

長い&誤字脱字多いです。

多分・・・

復活ゲーム終了!!

0分!!

現在午後1時30分!! 復活終了までは残り3

果たして、復活できるものは現れるのか!? そして、子供リンクは!?

東エリア森ゾーン

ロイ、ゼルダ視点

ロイ「脱出しないと・・・」

ゼルダ「後30分しかないわ!」

ロイ「あー!!はやく復活してえー!!」

あせる2人。

地下西エリア海岸ゾーン

子供リンク視点

子供「鬼って生存者が海岸にいるってあんまり考えないと思うんだよね」

そう言いつつ、海岸にやってきた子供リンク。

子供「あ、さすがに海岸のど真ん中にいたら危ないな・・・」

そう思い、近くの林に逃げ込む子供。

子供「あゝ・・・あと20分でやっと褒美だよ・・・長い・・・」

子供は、2時間逃げ切れたなら、褒美をもらえる予定になっている。
かなり本気のようなのだ。

子供「ハァ・・・こんなにがんばってるんだから褒美は金一封がいいな・・・」

あ、子供の考える事じゃない・・・」

残り20分。

一方こちらは船まで最短ルートで、残り100メートルの2人・・・

ゼルダ「ハア・・・ハア・・・まだなの・・・」

ロイ「ハア・・・多分もうちよつと・・・」

最短ルートで突き進む2人。残り50メートル。

ゼルダ「海岸に出たわ!!」

ロイ「間に合った・・・」

急いで駆け寄るゼルダとロイ。

残り10メートル・・・

ロイ「ヤッター!!!」

ゼルダ「復活ー!!!」

船にたどり着いた2人。

ノコノコ「早く乗ってください」

ゼルダ・ロイ「ハイ!!」

残った力すべてを振り絞って返事をした2人。

見事復活成功。

ピリリリリリリ・・・

カービィ「まさか・・・」

ファルコ「脱出されたか・・・」

メール内容

現在、午後1時55分。復活ゲームは残り5分。

ロイ、ゼルダ復活成功。

ソニック「ゼルダとロイ復活だって!!」

ディディー「スゴイー!!」

大歓声の天国・・・

リンク「ありゃー・・・姫に復活された・・・」

アイク「は？ロイ復活!？」

マルス「5分じゃ無理だー!!」

地獄の無人島・・・

子供「後5分・・・頼む・・・」

鬼の標的となった子供リンク・・・

子供「もう諦めてるだろ・・・」

逃げ切りを期待する子供リンク・
・

子供「1分切った!!」

後1分・
・
・

残り30秒・・・

子供リンクの周りには、誰もいない。

子供「5, 4, 3, 2, 1、ヤッター!!」

復活ゲーム終了。

ピリリリリリ・・・

ファルコン「終わった・・・」

ガノン「終了か・・・」

メール内容

復活ゲームが終了した。

子供リンクは、誰にも捕まらず、ゼルダ・ロイの二人が復活となった。

これより、鬼たちには、地上、地下ともにある、鬼本拠地に、これより20分以内に到着しなければ、バツゲームがある。

急ぎたまえ!!

ピーチ「え? 急がなきゃ・・・」

サ姆斯「いやな予感ね・・・」

鬼本抛地に急ぐ鬼たち・・・

ソニック「フー・・・残り14人か・・・」

ヨッシー「2人復活ですもんね・・・」

天国でも少し不安な生存者・・・

ノコノコ「そろそろ無人島に再出発です」

全員「はい！」

無人島に再移動する生存者たち・・・

天国の港には、ロイとゼルダもいた。

トゥーン「来てたんですね!!」

ロイ「ああ。がんばろうぜ!!」

こうして14人になった生存者たち・・・

ノコノコ「船に乗ってください」

ノコノコにより、決戦の無人島に向かう・・・
（何とか全員船に入った・・・というより押し込んだ）

一方の無人島・・・

何とか、全員本拠地に帰れた・・・

(地下の人は全員地上に上がった)

鬼本拠地

マスハン「ヨッ!」

そこに現れたマスハン・・・

マリオ「あ、クソ手袋!!」

サムス「何のよう? 軍手」

早速いじられるマスハン・・・

マスハン「ハア・・・扱い雑・・・まあいい、それより、食堂に差し入れしといたから、

食え。あと、午後3時になったら鍵開いて出れるぞ。」

そういい残し、また消えたマスハン・・・

全員「ハイ」

そして食堂・
・
・

そこには、
瀕死状態のメン
バーがいた・
・

時はさかのぼる・
・

マリオ「うひょー!! 差し入れピザだ!!」

リンク「ホント!？」

ポケトレ「イタリアンじゃん!!」

マリオ「1人1切れ!! ルイージも・・・」

ドンキー「とりあえず食うぞ!!」

全員「いただきます!!」

パクッ!!!!

一斉に食べた・・・そして倒れた・・・

マスハン「ハハハ・・・ピーチの激マズ料理のコピーの威力でたな・・・スゲェ・・・」

メンバーは、3時まで動けなかったらしい・・・もちろん建物には鍵もついていない・・・

そして、その間に生存者も自分好みのスタートエリアについた・・・

残り21時間!!逃げ切れるものは現れるのか!?

次回に続く...

復活ゲーム終了!! (後書き)

ピーチの激マズ料理は、
ダークピカチュウさんの
リクエストです。

鬼も大変だ・・・

途中経過!! (前書き)

途中経過発表!!

途中経過!!

季節・・夏 (初投稿の日から) 時間・・

午後3時

残り21時間 (昼の正午に終了予定)

生存者・・・14人 (これより、生存者には(生)マーク)

ソニック・ヨッシー・ピチュー・ルカリオ・ロイ・デデデ・ワリオ・
トウーン・ゼルダ・ウルフ
フォックス・ピクオリ・プリン・ディディー

鬼軍団・・・25人 (これより、(鬼)マーク撤去)

ピット・メタナイト・サムス・ピーチ・ファルコ・リンク・ガノン・
マリオ・ルイージ・ピカチュウ

ポケットレ・ミューツー・スネーク・ファルコン・ポポ・ナナ・ドン
キー・マルス・アイク・クッパ

ウォッチ・ロボット・カービィ・ネス・リユカ

全滅できなかったときのバツゲーム

ダメージ999%で、ホームランバット!!

生存者全員の位置情報

ヨッシー・・・地下西エリア廃墟ゾーン

ソニック・・・南エリア森ゾーン

ゼルダ・・・東エリア灯台ゾーン

ロイ・・・中央エリア滝ゾーン

ディディー・・・地下中央エリア森ゾーン

デデデ・・・地下中央エリア火山ゾーン

フォックス・・・西エリア海岸ゾーン

ウルフ・・・西エリア廃墟ゾーン

プリン・・・地下中央エリア森ゾーン

ルカリオ・・・地下北エリア磯ゾーン

ピクオリ・・・東エリア灯台ゾーン

トゥーン・・・地下南エリア森ゾーン

ワリオ・・・東エリア洞窟ゾーン

ピチュー・・・地下東エリア森ゾーン

次回から決戦の21時間スタート!!

果たして誰か逃げ切れるのか!?

次回に続く。

途中経過!! (後書き)

これ冬休み前に終わらないな・・・

多分スマブラ逃走中は1月からかな・・・

21時間の戦い、スタート!! (前書き)

読者の皆って、スマブラ何使うんですか？

ちなみに僕はトゥーンリンク!!

やっぱり強い!!

21時間の戦い、スタート!!

現在、生存者は14人。
か逃げ切れるのか!?

残り21時間!! 果たして、誰

3..00 鬼の復活

マリオ「あゝあ・・・何か酷いな・・・」

ドンキー「最悪のスタートだ・・・」

リンク「めっちゃ目覚め悪……」

毒物から開放され、不愉快ながらスタートする鬼たち。

サムス「作戦を練ったらどう？突進していくのもいいけど、それだと全滅できない

場合もあるわ。」

全員「確かに……」

「ファルコン「じゃあ、2チームに分けるのはどうだい？前やったし。」

「1日目にやった作戦である。」

ネス「それでよくない？ 俊足が4・5人のチームとそれ以外で」

アイク「じゃあ、ファルコン、マルス、メタナイト、ピカチュウ、それに暗闇に強い

ウォッチは9時まで休憩でそれまでは俺たちが捕まえるのはどうだ？」

ウォッチ「タシカニボクハクラヤミニハツヨイデス。」

全員「はい。」

ファルコン「じゃあ俺たちは休憩だな。」

ピカチュウ「じゃあ9時ね〜」

そういうと、5人以外は、無人島へ飛び出した・・・

無人島のとある場所・・・

フォックス（生） 「あゝ・・・本拠地からそこそこ近いよ・・・」

西エリアの海岸ゾーンにいるフォックス。

「
・
・
・
・
・
・
・
」

フォックス（生） 「ん？何か聞こえたような気が・・・」

「???
来るなー!! うわぁー!!」

叫び声・・・

フォックス（生）「多分この声はウルフ・・・」

ウルフ（生）「助けてくれー！」

廃墟エリアのウルフだ。

ウルフ（生） 「何で見つかるかなー？」

サムス 「待て、ウルフ。」

リュカ「待てー!!!」

リュカとサムスに追われるウルフ。

ウルフ（生）「ハァ・・・でも曲がり角あるし・・・」

曲がり角を使い、うまく逃げるウルフ。

リュカ「あれ・・・どこに逃げた・・・？」

リュカを振り切った。

サムス「私からは逃げられない。」

残るはサムス。

ウルフ（生）「ハァーーーーー面倒くさい・・・」

タフなウルフ。

逃げた先に、地下への通路。

ウルフ（生） 「あ、ナイスアイディア」

地下への階段を下りるウルフ。

地下の廃墟エリアには、

ヨッシー（生） 「ケツバットはいやですね」

ヨッシー・・・

更に・・・

リュカ「どこ行ったんだ？ウルフ・・・」

更に、リュカが、フォックスのいる海岸エリアにやってきた！！

3人に鬼の危機！！果たしてどうなる！？

次回に続く。

21時間の戦い、スタート!! (後書き)

スマブラ4弾っていつ出るのかな？

恐怖の鬼（前書き）

メリークリスマス！！

今年も後残り一週間！！

エンジョイしましょう！！

恐怖の鬼

5分!!

現在、午後3時45分!! 残りは20時間1

に!?

ヨッシー、フォックス、ウルフの運命やいか

ウルフ視点

急いで地下への階段を下りるウルフ。

サムス「逃がさない!!」

しぶとく追跡するサムス。

差はあまり変わらず、地下に降りた。

ウルフ（生） 「うわゝ．．．サムスまだ追っかけてくるのかよ。」

曲がり角を使い、何とか逃げ切りをはかるウルフ。

サムス 「チツ．．．取り逃がした．．．」

上手く、逃げ切れた。

ウルフ（生） 「やっと逃げ切れた・・・」

助かったウルフ。

サムス「近くにいます．．．」

しかし、執念深く探すサムス。

その近くに．．．

ヨッシー（生） 「あとちょっとで4時・・・」

ヨッシー。

廃墟とはいえ、もともと狭い住宅街だったため、鉢合わせになる可能性も、かなり高い。

サムス☆――

— — —
— — —
— — —
☆ヨッシー

お互い、全く気がつかない。

距離が迫る・・・

ヨッシー視点

ヨッシー（生） 「鬼って全然いないですね」

距離が迫る・・・

そして・・・

ヨッシー（生）・サムス「!!!」

急いで来た道に戻ろうとするヨッシー。

ヨッシー（生）「うわぁ……!!」

サムス「タッチ!!」

しかし、鉢合わせだったため、俊足が機能しなかった・・・

ヨッシー「嘘だ・・・」

サムス「後はウルフ・・・」

ウルフは・・・

ウルフ（生）「ハァー、何とかセー・・・うわっ!!」

マリオ「逃がしてなる物か!!」

墟ゾーンから脱出し、森ゾーンに来たウルフ。
逃げた先で、マリオに見つかる！！

ウルフ（生） 「フン！！俺のスタミナをなめるな！！」

かなりの距離を逃げたのに、荒い息1つしないウルフ。

逃げた先は・・・・・・廃墟ゾーン

ウルフ（生） 「うわっ！！1番来たらいけないところ！！」

とはいえ、後ろからはマリオ。しぶしぶ逃げるウルフ。

逃げること数10秒・
・
・
・

サ
ム
ス 「! ! !
」

住宅街で、サムスにも見つかった。

不幸にも、挟まれる・・・

ウルフ（生） 「・・・・・・・・ここまでか・・・・・・・・」

マリオ「タッチ!!!」

ウルフ、無残にも散る・・・

ピリリリリリ・・・

デデデ（生） 「なんだゾイ？」

マルス 「なんだろう？」

メール内容

現在、午後4時20分 残り19時間40分。
地下西エリア廃墟ゾーンで、ヨッシー、ウルフ確保。
現在、生存者は12人。

フォックス（生）「あちやー．．．．．今回ばかりはウルフにもが
んばってもらいたかったのに．．．」

他人事のフォックスに．．．

リュカ「いた．．．．．」

リュカ。

フォックス（生） 「
・ ・ ・ ・ ・ いるな
・ ・ ・ ・ ・
」

リュカの隠れが甘かったのか、フォックスは、気がついたようだ。

気がつかないリユカ・・・

フォックス（生） 「・・・・・・・・このまま行くと、援軍呼ばれるな・
・・・」

ケータイで、電話するリユカを見たフォックス。

今のうちに・・・

廃墟ゾーンに向かって、走り出すフォックス。

リュカ「だからフォックスがいるんだって・・・」

少々もめているリュカ。 気がつかない・・・

30秒後・・・

リユカ「じゃあいいよ……」

ピッ

リユカ「あれ……いない……スネークともめている間に……」

今頃、気がついた。

サムス視点

サムス「ということで、ヨッシーは、本拠地に行って休憩して!!」

ヨッシーに、俊足メンバーが休憩中だと教えたサムス。

どうやら、ヨッシーもそうするらしい。

増え続ける鬼、減っていく仲間……

果たして、生存者はどうなってしまうのか？

次回に続く。

恐怖の鬼（後書き）

皆って大晦日何見ますか？

「笑ってはいけない」とか、

「紅白歌合戦」とか、

その他とか・・・

僕は「笑ってはいけない」派です！！

家族は紅白派ですが・・・

生存者の躍動!! (前書き)

次回の逃走中は、1月16日にあるらしいです。

生存者の躍動!!

0分。

の展開!!

まうのか？

現在、午後4時30分、残りは19時間3

更に、俊足のヨッシーが捕まるという大波乱

果たして、残った生存者は、どうなってし

ソニック視点

ソニック（生） 「もう20時間切ったんだ・・・」

現在、残り時間は19時間30分。20時間は、とっくに過ぎていく。

ソニック（生） 「なのに12人は少ない・・・」

残りは12人。

ソニック（生） 「大分涼しくなってきたな・・・」

余裕のソニック。

しかし・・・

ドンキー「ウオーーーーー!! ソニックー!!」

ドンキーに見つかった。

ソニック（生）「ドンキーさん……お先に!!」

俊足のソニック！！持ち前の俊足で、ドンキーを圧倒！！更に、視界の悪い森ゾーン。

ドンキー「うーん……さすがに無理だった……」

ドンキー、後先考えない。

これに続けとばかりか、

フォックス（生） 「逃げろー!!」

ロボット 「アゝア・・・ニゲラレタ・・・」

ロイ（生） 「捕まってたまるか！」

アイク 「あれ……クソッ!!逃げやがった!!」

デデデ (生) 「何とか全力ダッシュゾイ!!」

ガノン 「チッ……鈍足同士なのに逃げられた……」

プリン (生) 「必殺!!プリンダッシュ!!」

シュルルル…… (転がる)

カービィ「得意技使われて逃げられたー!!!」

このほかにも、1人1人が奮闘し、何とか午後8時30分までは、逃げ切っている・・・

次回!!! 経験豊かな生存者に、6人の最強鬼が迫る!!!

残り15時間30分!!! 逃げ切れる者は、現れるのか!?

次回に続く・
・
・

生存者の躍動!! (後書き)

今回は短縮しすぎたかな・・・

ショータイム(前書き)

注！！スネークは出てきません。

ショータイム

現在、午後8時30分。残りは15時間30分。

鬼が予定する最強メンバー放出まで、30分！！果たして、運命やいかに！？

暗闇の無人島……

フォックス（生）「そういえば最近メール鳴ってないな……」

ロイ（生） 「復活したのはありがたいけど・・・体力が持たない・・・」

デデデ（生） 「ワガハイって鈍足だよね？よく逃げ切れてるゾイ。」

ワリオ（生） 「あ！そういえばヨッシー捕まったからマリオメンバー俺しか残ってない・・・」

思い思いの生存者たち。刻々と恐怖の時間が迫る・・・

8..45 最強鬼投入まで15分

ファルコン「おい、もうすぐ時間だ。」

ピカチュウ「あ、用意しなくちゃ・・・」

ウォッチ「ダイブクラクナツタカラ、ユウリデス。」

マルス「決戦・・・ロイ・・・捕まえる・・・」

ヨッシー「マリオさん達がんばってるんでしょうね」

メタナイト「まさかデデデを逃がしているとは・・・不覚・・・」

8..
55

残り5分。

ファルコン「5分前だが、行くぞ!!」

その他「おお!!」

5分前だが、出発する鬼達・・・

5分後

マリオ「ZZZZZ・・・」

リンク「ふぁ・・・」

ウルフ「眠・・・・・・・・」

サムス「2人は大きい・・・・・・・・」

バテて倒れるメンバー・・・・・・・・

現在、鬼は6人。（ファルコン、ピカチュウ、ヨッシー、マルス、メタナイト、ウォッチ）

対する生存者は、倍の12人。

現在、午後9時！！ 残り15時間の戦いが、幕を開ける！！

ピクオリ視点

ピクオリ（生） 「鬼をまだほとんど見てません・・・」

敗者復活ゲーム後から、鬼を見ていないピクオリ。
彼は、地下東エリア灯台ゾーンにいる。

ピクオリ（生） 「それにしても灯台からの夜景ってきれいですよね・
・・・」

灯台から、海の景色を見るピクオリ。

その上（東エリア灯台ゾーン）

メタナイト「どこかにいないのか？」

メタナイト。

しかし、メタナイトは、灯台に地下への階段があることを知らない。

メタナイト「灯台にはいないか・・・」

搜索をやめ、灯台を出るメタナイト。

それを見るとある人物・・・

ゼルダ（生） 「危なかったですわ・・・」

たまたま、海岸を散歩していたゼルダ。
灯台の中にいたら、つかまっていただろう。

メタナイト「どこに行こうか・・・」

メタナイトが次の目的地に選んだのは・・・

メタナイト「ここなんていそうだな・・・」

中央エリア火山ゾーン

ロイ「ここって安心〜」

そこには、ロイが！！果たして、運命やいかに！？

次回に続く。

ショータイム(後書き)

年賀状がく!!

宿題もあるのにく!!

冷静なる恐怖（前書き）

今日中に投稿したかったので、ちょっと短めになりました。

冷静なる恐怖

30分。

現在、午後9時30分!!残りは、14時間

更に、中央エリア火山ゾーンのロイに危機が迫る!!

果たしてどうなってしまうのか？

ロイ視点

ロイ（生） 「アツイ・・・・・・火山暑すぎる・・・・・・」

夏の熱帯夜に加え、灼熱の火山の近くにいるロイ。

ロイ（生） 「ここに昼間なんて無理・・・」

メタナイト視点

メタナイト「だいぶ火山ゾーンに近づいてきたぞ……」

ロイとの距離、およそ70メートルのメタナイト。

メタナイト「アツイ……ここに誰がいるのか？」

そういいながらも、少しづつロイに接近するメタナイト。

ロイ視点

「ロイ（生） 「それにしても暇……緊張で寝られないし……」

余裕のロイ。

ロイ（生） 「でも、デデデさんってすごいよね・・・足遅いのに・・・」

人のことを心配するロイ。

メタナイト視点

メタナイト「ん？あれはロイ……」

懸命の搜索で、ロイを見つけたメタナイト。

メタナイト「しかし慎重に行動せねば……見つかったら終わりだ……」

走力では、互角の2人。しかし、スタミナでは、ロイが勝るので、慎重なメタナイト。

メタナイト「ここは誰かと挟み撃ち・・・・・・・・」

連絡を誰かととる様子のメタナイト。

メタナイト「一斉送信と・・・・・・・・」

ピリリリリリ・・・・

ファルコン「ワオ！！誰か捕まえたのか？」

ヨッシー「確保情報・・・・じゃないですね・・・・」

メール内容

メタナイトからの一斉送信だ。
中央エリア火山ゾーンにて、ロイを発見。
かなりの俊足なので、援軍を希望する。
来る者は慎重に来てくれ。

メタナイト

ウォッチ「ロイサンヲ、オイツメタンデスネ。」

マルス「ロイは捕まえたいけど……遠い……」

マルスは、地下北エリア海岸ゾーンにいるため、行かないようだ。

ピカチュウ「近っ!! すごい近い!!」

幸運にも、同じエリアの湖ゾーンにいたピカチュウ。

ピカチュウ「火山からは、そつと行かないとバレそう・・・」

すぐに移動するピカチュウ。

ヨッシー「あ、近いです。行きましょう!!」

更に、地下中央エリア森ゾーンにいた、ヨッシーも確保に向かう!!

絶体絶命のロイ!! 生き残れるか?

次回に続く。

冷静なる恐怖（後書き）

年末は特番が多いですね・・・

録画番組に追われるikkiiです・・・

集結。確保へ。(前書き)

新年明けましておめでとうございます!!

ことしも、確実に投稿していきたいと思えます!!

集結。確保へ。

現在、午後10時!!

残りは14時

間。

ロイとメタナイトの所に、ヨッシー、ピカチュウが向かう！
果たして、どうなるのか！？

メタナイト視点

メタナイト「誰も来てくれないのか・・・」

誰も来ずに、焦るメタナイト。

そのころ・・・

ピカチュウ「あ、ヨッシーさん！」

ヨッシー「ピカチュウさんも！」

火山のふもとで、ピカチュウ、ヨッシーが合流。

ピカチュウ「急ごう!!」

ヨッシー「はい!!」

急ぐ2人。

2人が合流して5分経過。

メタナイト「来てくれないか・・・」

諦めかけのメタナイト。

そのとき・・・

ピカチュウ「メタナイト、」

ヨッシー「合流できました・・・」

ついに到着した2人。

メタナイト「よく来てくれた。3方向から、攻めるぞ・・・」

一応言うが、この会話はすべて小声である。

そして、3人が、ロイを囲むように移動した・・・

ロイ視点

ロイ（生） 「精神的にも肉体的にも疲れる・・・」

まだ、気がついていないロイ。

ロイ（生） 「！！！！メタナイト・・・・・・」

やっと、メタナイトに気付き、移動するロイ。

しかし、逃げた先にピカチュウ・・・

ピカチュウ「来た来た・・・」

飛び出すタイミングをはかるピカチュウ。

ロイ（生） 「こっちもいた!!」

ピカチュウ 「気付かれた!!!!」

急いで確保に向かうピカチュウ。

メタナイト「バレたか！」

ヨッシー「参戦です！！」

2人も、確保に向かう。

ロイ（生） 「えー！ 2人も！」

逃げ場をほとんど失うロイ。

蛇行し、逃げようとするロイ。

しかし、3人相手に逃げ切るのは、とても難しい。

ヨッシー「タッチ!!」

最後は、ヨッシーに捕まる・・・

ロイ「えゝ・・・・・・・・せつかく復活したのに・・・・・・・・」

ピリリリリリ・・・・・・・・

マルス「ロイか!？」

トゥーン「懐かし・・・・・・・・」

メール内容

現在、午後10時30分。 残りは、13時間30分。

ロイ確保。 残り11人。

ゼルダ（生） 「あ、ロイさん捕まった・・・」

ウォッチ 「レンラクサクセンガ、セイコウシタヨウデスネ。」

メタナイト「お前は俊足だからな．．．このまま捕まえに行くぞ
！！」

ロイ「はい。」

更に、ロイも鬼に加勢するようだ。

残り生存者

ワリオ、トゥーン、プリン、ルカリオ、ピチュー、ソニック、ゼルダ、デデデ、フォックス

ピクオリ、デイドー

残り時間13時間30分!! 絶体絶命の生存者たちの運命やいかに!?

次回に続く。

集結。確保へ。(後書き)

モンハン小説のような、硬い小説は苦手なので、削除しました。

更新ペースも上がります！！

森に潜む影（前書き）

挿絵ってどうすればいいのかな・・・

絵が下手だけど、使ってみたい・・・

森に潜む影

現在、午後10時30分。

残り時間13時間30分に対し、生存者は残り11人。

ロイを確保した中央エリア火山ゾーン。

メタナイト「じゃあ、11人早く捕まえるぞ!!」

ヨッシー、ピカチュウ「はい!!」

そして、南、北、西に向かって、歩き始めた・・・

その地下・・・・・・・・

デデデ（生）「あゝあ・・・メールの送り主、どこで捕まえたか書いてないゾイ・・・」

地下火山ゾーンには、デデデがいた・・・

かなり呑気なデデデ・・・

そのころ・・・

ウォッチ「イマシタ・
・・・アレハ・
・・・」

ウォッチだ。

ウォッチが見つけたのは・・・

ピクオリ（生） 「残り時間早く過ぎてくれないかな」・・・」

ピクオリだ。

ピクオリ「あと12時間45分……3時間はいきたい……」

まだ、ピクオリは気がついていない。

ウォッチ「???キガツイテイナイノカナ?」

ウォッチとの距離、約10メートル。しかし、明かりが無いからか、全然気がつく
気配は無い。

ウォッチ「タッチ・・・」

ピクオリ「???・・・あー!! ウォッチさん!!」

やっと気がついた・・・

ピクオリ「えっ・・・全然気がつかないよ・・・」

ピクオリ、撃沈。

ピリリリリリ・・・

ファルコン「またやったか！」

プリン（生）「え？早すぎるでシュ。」

メール内容

現在、午後11時30分。残り、12時間30分。

東エリア森ゾーンにて、ピクオリ確保。

残りは、10人。

ルカリオ（生）「あゝ・・・」

ディディー（生）「ピクオリさん結構粘ってたのになゝ・・・」

トゥーン（生） 「気がつけばもう後10人・・・」

ワリオ（生） 「後1人捕まれば、1ケタ・・・」

ロイ、ピクオリの連続確保に、生還が絶望的になった生存者たち。

この困難な状況に耐え、生還できるのか！？

次回に続く。

森に潜む影（後書き）

これから、次回作、スマブラ逃走中の、ゲスト出演を、募集したいと思っています。（ドラマ）

ルール

- 1 期間は、この増やし鬼が完結するまで。
- 2 1人2キャラまで。
- 3 性格などを書いてください！！

来るかな・・・

カウントダウン（前書き）

もうこの小説も始まってもうすぐ半年・・・

早いもんだな・・・

カウントダウン

30分。

現在、午後11時30分 残り時間は12時間

残る生存者は、10人。果たして、誰か生還できるのか！？

先ほどピクオリを捕まえたウォッチ、捕まったピクオリ視点

ウォッチ 「カクカクシカジカ……トイウワケデ、モドツテクダサイ。」

現在の作戦を説明し、鬼本抛地にピクオリを戻そうとするウォッチ。

ピクオリ「いいですよ。それより眠い……」

素直に従うピクオリ。

ウォッチ「ジャア!」

別れを告げるウォッチ

現在11時45分。

ディディー（生） 「せめて後15分・・・」

プリン（生） 「贅沢は言わないから12時まで・・・」

ワリオ（生） 「あと15分で12時・・・」

残り、15分で12時・・・

ソニック（生） 「挟み撃ちさえなければいける・・・」

フォックス（生） 「鬼も手加減してくれ・・・」

11時55分・・・

トウーン(生)「このまま・・・」

フォックス(生)「5分・・・」

プリン(生)「頼むプリ・・・」

11時59分・・・

ソニック（生） 「残り1分で・・・」

デデデ（生） 「12時ゾイ・・・」

残り30秒

ファルコン「どこだー!!」

ピカチュウ「いないでチュー!!」

ヨッシー「もうほとんど12時間しかないじゃないですか!!」

10秒前

デデデ（生）「10・・・」

トウーン(生)「9・・・」

ピチュー(生)「8・・・」

ディディー(生)「7・・・」

ワリオ(生)「6・・・」

ゼルダ（生） 「5・・・」

ルカリオ（生） 「4・・・」

プリン（生） 「3・・・」

ソニック(生) 「2・・・・」

フォックス(生) 「1・・・・」

全員「ゼロ!!」

トウーン（生）「やった!!」

ソニック（生）「よし!!」

プリン（生）「プリー♪」

フォックス（生）「気を引き締める・・・」

ルカリオ（生） 「後12時間・・・」

残り12時間にテンションの上がる生存者たち。

ヨッシー 「！！！！・・・いました・・・」

とある生存者を見つけたヨッシー。

歓喜の声を上げた生存者たち。

ターゲットを見つけたヨッシー。

残り12時間。

果たして、この大波乱の結末は、どうなってしまうのか!?

次回に続く。

カウントダウン（後書き）

ゲスト出演どんどんOKです！！

楽しみにしています！！

始まった残り12時間（前書き）

ゲスト出演の注意

- 1、ゲスト出演したい方の、紹介文を書いてください。
- 2、ゲストは、全員ドラマ出演です。

（逃走者は、スマブラメンバーのみ）

始まった残り12時間

時間。

現在、深夜零時。

残り時間は、残り12

果たして、ヨッシーが見つけた生存者とは？そして、
生存者の運命は！？

ヨッシー「来た来た・・・絶好の獲物・・・」

ヨッシーの目線の先に・・・

ピチュー！。

ピチューー（生） 「後12時間で終わり・・・でチュ・・・」

ピチューは、まだ、気がついていない。

ヨッシー「走力ではコッチが上・・・」

ヨッシー「GO・・・」

隠れるのをやめ、ピチューに狙いを定めるヨッシー。

ピチューー（生） 「あ！！！」

運良く、すぐに気がついたピチュー。

ピチューー（生） 「ヤバイでチュー！！」

逃げるピチュー。

逃げた先に・・・

プリン（生） 「12時間眠らずにいけるかな・・・」

プリン。

ピチューー（生）「キャー！ー！！逃げてでチュー！！」

プリンに、鬼の存在を教えたピチューー。

プリン（生） 「ん？？キヤーー！！」

プリンも、ヨッシーに気がついた。

ヨッシー 「やや、ポケモン2体目！！」

一方の、ヨッシーも、プリンに気がついた。

プリン（生） 「プリーー！！必殺技ー！！」

その場を離れるため、必殺技こと、転がるを放ったプリン。

シューウウウ・・・・

ブニユ・・・・

何かにぶつかったプリン。

プリン(生)「プリ？」

プリンがぶつかったのは・・・

デデデ（生） 「ん？プリンか。」

デデデのお腹だ・・・

ボムッ!!

プリン（生）「プリーーー!!」

デデデのお腹ではじき返され、元の位置に戻ってしまうプリン。

そのころ、その元の位置・・・

ピチュー（生）「チューー・・・・・・・・もう無理・・・」

木を使い、逃げ回ってはいた物のスタミナ切れのピチュー。

ヨッシー「タッチ！」

ピチュー、残り11時間30分で撃沈。

ピチュー「うー……」

力尽きた・・・

ヨッシー「ピチューは捕まえたけど、それにしても、プリンは逃がしてしま・・・」

プリーーーーー！！！！

ピチューは捕まえた物の、プリンを逃がしてしまったヨッシーの耳に、プリンの悲鳴。

ヨッシー「何だ!?! 试试看です!」

勇敢にも、立ち向かうヨッシー。

ヨッシー「確かこの辺……」

悲鳴の聞こえた位置にやってきたヨッシー。

ヨッシー「!?!?!」

石にぶつかり、倒れているプリンを見つけた。

ヨッシー「タッチ!」

プリン「・・・頭が痛いプリ・・・」

プリン、デデデにやられる・・・

その本人・・・

デデデ 「何でプリンが転がってきたんだゾイ？」

今だに、何が起こったか、気がついていないようだ。

ピリリリリリ・・・

ピカチュウ「おー!!」

ソニック（生）「チッ……また人数減っちゃった……」

メール内容

現在、午前0時45分。残り時間は、11時間15分。

地下中央エリア森ゾーンにて、ピチュー、プリン確保。

残る生存者は、8人。

ディディー（生） 「1桁・・・」

ルカリオ（生） 「ポケモンメンバー・・・あと俺だけ・・・」

ワリオ（生） 「嘘だろ……ダブル確保……」

ピカチュウ 「あ、ポケモンメンバー二人確保♪」

ウォッチ 「ダブルカクホハ、スゴイデスネ。」

残った生存者

ワリオ、デデデ、ソニック、トウーン、ゼルダ、フォックス、デイー、ルカリオ。

現在・・・午前1時

残り時間・・・11時間

残り時間11時間で、痛恨のダブル確保！！

絶体絶命の状態になってしまった、8人の生存者は、無事、逃げ切

れるのか!?

次回に続く・
・
・

始まった残り12時間（後書き）

次回は、途中経過の予定です。

途中経過!!!! (前書き)

下手な挿絵が飛び出します!!

ご注意ください!!!!

途中経過!!!!!!

現在の、途中経過発表です!!

無人島の地図紹介です!!

>i16817—2295<

あゝ・・・不器用だとこんな下手になるんだ・・・

ちなみに、

水色・・・海

緑・・・森ゾーン

砂色・・・海岸ゾーン

灰色・・・廃墟ゾーン

茶色・・・磯ゾーン

赤・・・火山ゾーン 灯台ゾーン（中央エリアが火山）

青・・・湖、滝ゾーン（火山の近くが滝）

オレンジ・・・墓場ゾーン

黒・・・洞窟ゾーン

ピンク・・・地下、地上をつなぐ階段

こんな感じです。

謝罪

不器用な絵ですいません。次回の地図は、もっときれいにします。

現在の生存者情報

生存者・・・8人

ディディー、ワリオ、デデデ、ゼルダ、ソニック、トゥーン、フォックス、ルカリオ

位置情報

ディディー 地下中央エリア森ゾーン

デデデ 地下中央エリア滝ゾーン

ソニック 北エリア海岸ゾーン

ゼルダ 東エリア灯台ゾーン

トゥーン 南エリア森ゾーン

ルカリオ 中央エリア湖ゾーン

フォックス 西エリア廃墟ゾーン

ワリオ 地下東エリア洞窟ゾーン

一言

中央エリア多いな・・・

残り時間11時間！次回からスタートです！！

途中経過!!!!!! (後書き)

ゲストやっぱりそろそろ締め切ろうかな・・・

鬼の軍団（前書き）

クライマックスが近づいています!!

鬼の軍団

外の残り8人。

残り時間11時間に対し、生存者は、誰もが想定

果たして、全滅になってしまうのか!?

ソニック視点

ソニック（生） 「8人？ 少なッ！」

現在、北エリア海岸ゾーンにいるソニック。
しかし、誰が考えても、この人数はおかしい。

ソニック（生） 「しかし……挟み撃ちはいくらなんでも避けた
い……」

俊足のソニックも、挟み撃ちを警戒。

だが……

ファルコン「いた・・・」

ファルコンが見た・・・

ファルコン「ソニックはほぼ無敵だ・・・総力戦でいこうか・・・」

・すると、おもむろにケータイを取り出し、メールを打ち始めた・・・

ピリリリリリリ・・・

ウォッチ「ア、メールデス。」

ヨッシー「確保情報でしょうか？」

そして、この連絡は、鬼本拠地で休憩中の鬼たちにも・・・

ピーチ「メールだわ!!」

ファルコ「確保情報だったら、超ハイペースだぞ!!」

マリオ「このままあの俊足メンバーだけで全滅？」（笑）

メール内容

ファルコンからの緊急連絡だ。

現在、北エリア海岸ゾーンにて、ソニックを発見。

なので、全員、北エリアの磯ゾーンに集まってくれ。なお、この件は、休憩中の者にも来てもらう。

ピクオリ「いきますか。」

ピカチュウ「ソニックを捕まえれば、とてつもない戦力になるぞ！
」

マリオ「よし！！全員で行くぞ！！」

その他全員「オオーーーー！！」

休憩中だった鬼も、動き始めた。

更に・・・

ピチュー・プリン「無休で行く!!」

鬼になったばかりのプリン・ピチューも、ソニック確保に向かう。

一方のソニック・・・

ソニック（生） 「それにしてもまだ鬼にほとんど会ってないや・・・」

ソニックは、まだ、ファルコンには気がついていない。

本拠地から、一斉に北エリア磯ゾーンに移動する鬼たち。

マリオ「絶対ソニック捕まえる!!」

ピーチ「声大きい!!」

マリオ「すまん。」

団体で移動しているようだ。

鬼本拠地があるのは、西エリア森ゾーン。他の生存者たちも、油断はできない。

ルカリオ（生） 「もはやポケモン勢も俺1人・・・」

更に、現在、中央エリアの湖ゾーンにいるルカリオ。彼は、鬼の団体と、接触の可能性が高い！！

鬼団体、現在中央エリア湖ゾーン付近。

リンク「結構ペース遅いですよ。」

ネス「確かに。」

スネーク「連絡来て10分だったが、まだ遠いぞ。」

鬼たちが、遅れを気にし、ざわめきだした。

さらに、ここは、湖ゾーン付近なので、ルカリオにも聞こえる可能性が！

ルカリオ（生） 「ム・・・・・・・・声が聞こえる・・・・・・・・」

やはり、声を察知したルカリオ。

ルカリオ（生） 「誰だ・・・・・・・・」

果敢にも、誰なのか見に行くようだ。

ルカリオ（生） 「鬼だったら勘弁してく……！！！」

鬼の大群を発見したルカリオ。
一目散に逃げ出す！

ルカリオ（生） 「フー……何だ……さっきの大群……
尋常じゃない……」

何とか、鬼には気付かなかったようだ。

ルカリオ（生） 「それにしても……随分遠くまで来たな……」

湖ゾーンから、西エリア廃墟ゾーンまで逃げてきたルカリオ。

ルカリオ（生） 「とりあえず廃墟ゾーンで待機・・・・しんどい・・・・」

そのまま、廃墟ゾーンにいるようだ。

ルカリオは逃げ切ったが、彼らの目標はソニック。

そのソニックに、集団が徐々に接近。

現在鬼軍団・・・北エリア森ゾーン

現在、午前1時30分。果たして、ソニックの運命は！？

次回に続く。

鬼の軍団（後書き）

噂では、次回の逃走中は、愛知で収録らしいです。

どこだろ・・・

不可解なナゾ（前書き）

訂正・・次回の逃走中は、3月6日に、よみうりランドであるらしいです。

逃走者

朝青龍

ピース

ハライチ

石田純一

叶美香

てんちむ

たんぽぽ

サンドウィッチマン

杉村太蔵

JOY

スザンヌ

千秋

くみつきー

らしいです。

不可解なナゾ

分。

現在、午前1時30分。残り時間10時間30

か!?

ソニックに、大量の鬼が迫る!! 果たして、助かるの

1..30 鬼軍団・・・北エリア森ゾーン

リュカ「もうちょっとだね。」

アイク「そろそろ静かにな・・・」

マリオ他「ああ。」

着実にファルコンとの集合場所である北エリア磯ゾーンに向かう。

ファルコン「遅い……ソニック逃げちゃうぜ……」

約1時間待っているファルコン。

ピカチュウ「ホントに遅いね……」

ピカチュウは、到着していた。

ヨッシー「あ、いました!!」

ヨッシーも到着。

2..15 ファルコン視点

ファルコン「あーイライラする・・・」

ピカチュウ「遅いでチュ！」

ヨッシー「あ、やっと来たみたいです。」

ヨッシーの指差す先に、リンク、ロボットの姿。

リンク「皆さん！」

ロボット「オマタセデス・・・」

ピカチュウ「遅い！」

ファルコン「他の人は？」

確かに、他の鬼の姿はない。

リンク「ちょっと聞いてくださいよ……」

ロボット「ジツハ……」

リンクとロボットは、ここまでの道のりを話した・・・

2..00 鬼軍団、北エリア森ゾーン

リンク「もう少しで磯ゾーンです！」

ロボット「ドキドキシマス。」

マリオ「本当だな・・・」

結構、磯ゾーンの近くまで来た鬼軍団。

リンク「さて、早く行く・・・」

ピーチ「あ、あれは!？」

ワリオ（生） 「ンガッ！！」

ワリオを発見。

しかし、冷静なリンク。

リンク「ここはソニックを先に捕ま・・・」バチッ!!

ピーチ「ワリオを捕まえるのよー!!皆、行くわよ!!」

リンク、ロボット以外「はい・・・」

ドドドドドド・・・

こうして、リンクとロボット以外の鬼軍団は、ピーチに半強制的に連れて行かれ（？）
ワリオ確保に向かった・・・

再現終了

リンク「お分かりいただけたでしょうか・・・」

ファルコン「そうだったのか・・・」

ピカチュウ「気の毒な話でチュ。」

同情の2人。

ヨッシー「リーダー的な存在も大変なんですネ・・・」

こちらも同情のヨッシー。

リンク「きっとロボットが残ってくれなかったら、心が折れてました・・・」

ロボット「・・・」

元気が出ない2人。

マルス「ついた！」

そこに、マルスも合流。

マルス 「元気ないですね・・・」

禁句的疑問を投げるマルス。

ピカチュウ 「それは・・・」

リンクとロボットに気を使い、ピカチュウが話し始めた・・・

マルス「そうだったんですか・・・」

こちらも同情のマルス。

マルス「それはいつのことなんですか？」

リンク「大体20分前です。」

ファルコン「大分前だな・・・」

マルス「おかしいですね・・・」

他メンバー「え？」

マルス「ワリオは、確かに足は平均より速いほうです。

しかし、鬼軍団の中にも、ファルコ、ウルフ、アイクといった、それを超える

走力のメンバーもいるはずです。」

リンク「確かに、ファルコ、ウルフ、アイクはいました・・・」

マルス「確かに、少し時間が掛かるかもしれませんが。でも、20分も掛かるような

敵では無いと思います。」

ロボット「タシカニイエテマス。」

ファルコン「確かに20分掛かる相手ではない……」

マルス「さらに、ワリオはスピードは確かにあります。しかし、彼

にはスタミナ

という、最大の欠点があります。」

ピカチュウ「確かに間違えては無いけど・・・。」

メタナイト「不思議だな。」

ファルコン「確かに不思議・・・って！いつ来たメタナイト!？」

メタナイト「シッ!！さっきだ!！静かに・・・。」

ファルコン「分かった・・・」

それにしても、ワリオを追った鬼が帰ってこない謎・・・真相
はどのようなか？

次回に続く。

不可解なナゾ（後書き）

活動報告見てください！

移動（前書き）

現在、スマブラ逃走中のほかに、

スマブラ小説2つを執筆中・・・

期待してください！

移動

現在、午前2時25分。

ンたち。

ソニックを捕まえる作戦を執行したいファルコ

果たして、ワリオを追った鬼たちは、どこに行っ

たのか・・・

磯ゾーン視点

ファルコン「あゝ・・・・・・・・どうするよ?」

現在、磯ゾーンにいるのは、
ファルコン、ピカチュウ、ヨッシー、リンク、ロボット、マルス、
メタナイト
の7人。

ファルコン「行ってみるか？」

ピカチュウ「……」

ロボット「……」

リスクが大きいと判断したため、戸惑うメンバー。

しかし・・・

マルス「ここにいても、おそらく来ません。行ってみましょう。」

1人だけ賛成のマルス。

リンク「確かに・・・」

メタナイト「ここにもどうにもならない・・・」

ロボット「カクゴシテ、イキマスカ・・・」

ヨッシー「いいんじゃないですか？」

続々と賛成するメンバーたち。

ファルコン「決まり！行くぞ！」

その他「行きましょう！」

彼らは、海岸に向かって行った・・・

2..40 北エリア海岸ゾーン・・・ファルコンチーム視点

そこには、予想外の光景があった。

ヨッシー「・・・・・・・・何でしょうか・・・・・・・・」

メタナイト「一体何が起こったんだ・・・・・・・・」

ピカチュウ「ピカ・・・・・・・・」

彼らが見た光景・・・・・・・・

あの元氣だった、40分前のマリオやピーチたちは

海岸に倒れていた・・・

ファルコン「皆！」

リンク「大丈夫か!？」

ピカチュウ「救助でチュー!!!」

一斉に救助に向かう7人。

リンク「マリオさん！」

ピカチュウ「ミューツー!!！」

マルス「アイク!!！」

しかし、誰に話しかけても、返事はない。

ファルコン「どうなってんだ？血も出てないし、ソニックもいなくなってるぞー！」

確かに、来たときからソニックの姿はなかった。

リンク「おかしいことがいっぱいですね……」

メタナイト「何故……」

???
「…………モゴモゴ…………」

ファルコンたち「!!!」

倒れていたメンバーの1人が、起き上がった。

ピーチ「散々だわ・・・」

ピーチだ。

ファルコンたち「ピーチ！」

ピカチュウ「ピーチ！！何があったの？」

誰もが言いたかった質問を言ったピカチュウ。

ピーチ「それは……でもそれよりも……」

ファルコンたち「それよりも……?」

ピーチ「ロボット!! なんで付いてこなかったのよ!!」

ファルコンたち「えええ〜!!」

ロボット「ナンデデスカ?」

リンク「ロボットはちゃんと約束を守っただけだぞ!!」

確かに、約束を破ったのは、ピーチのほうだ。

ピーチ 「何があったか分かってないのね．．．．．」

・ そういうと、ピーチは、この40分の出来事を話し始めた．．．．．

次回に続く。

移動（後書き）

今回で、ソニック捕獲作戦系を終わらせようと思ったんですが、

次回に引き継ぎます！

ワリオ、生還！（前書き）

今回は、途中から超グダグダです・・・

ワリオ、生還！

現在、午前2時40分。

ついに、ワリオの謎が、明らかになる！！

ピーチ「教えてあげるわ……この40分、何があったかを……」

ファルコンたち「ゴクリ……」

2..00 (ワリオを追いかけたところから)

ワリオ(生) 「フンガーー!!」

ピーチ他 「待てー!!!!」

ワリオを、必死で追いかけるメンバー。

しかし、マリオ以上の走力を持つワリオ。なかなか距離が縮まらないどころか、
だんだん差をつけられる鬼も・・・

ガノン「無理ー!!」

クッパ「もうダメ・・・」

スネーク「見た目以上に速すぎる！」

・ しかし、休憩していたメンバーの中には、足の速いメンバーも・・・

ファルコ「待てい!!」

ウルフ「待ちやがれ!!」

アイク「負けん!!」

ワリオも木などを使い、上手く鬼の攻撃を避ける。

ワリオ（生） 「こんなところで捕まってたまるか！」

リュカ 「ウワッ！避けられた!!」

カービー「タッチー！ってワリオいない・・・」

上手く避け続けるワリオ。しかし彼には、スタミナがないという欠点がある。

ワリオ（生）「ハァ・・・しんど・・・」

かなりスタミナを消費したワリオ。更に、彼に更なる不幸が・・・

ワリオ（生） 「ウワッ！！開けた！」

不幸にも、森ゾーンを抜けて、海岸ゾーンに出てきてしまったワリオ。

海岸エリアは開けているので、スタミナのないワリオには、最悪の事態である。

更にそこには、ソニックの姿。

ワリオ（生） 「ソニックよ!! 助けてくれー!!!!」

大声で叫ぶワリオ。

ソニック（生） 「ん? ワリオ・・・」

ソニックも、ワリオに気が付く。

ソニック（生） 「生存者に会えてよかった・・・って！！なんちゅう数の鬼連れてきてんだよ！！」

ソニックの所に接近してくるワリオ。鬼も、それに連れて、ぞろぞろやってくる。

ワリオ（生） 「助けてくれ！！！！作戦はある！！」

ソニック（生） 「おいおいおい！！お前の作戦は期待出来ない！」

そう言いあっている間に、ドンドン接近してくる鬼。

現在、ワリオとソニックは、一緒にいるが、鬼との距離は、20メートル。

ファルコ「ソニックもゲットだぜ!!」

鬼の先頭は、ファルコ……

そして、先頭のファルコが、残り10メートルまで来たとき……

ワリオ（生）「ソニック!俺の背中に乗れ!!」

ソニック（生） 「え？はい・・・」

おとなしく、背中に乗ったソニック。簡単に言えば、ワリオがソニックをおんぶしたのだ。

ピーチ 「確保よ！！」

鬼が急接近！！

鬼たち「ギャアアアアアア・・・・・」

ピーチが意識があつたのは、ここまでだった・・・

ピーチ「こうよ。」

ファルコンたち「なるほど・・・」

ファルコン「俺たちは、磯ゾーンとは言っても、海岸ゾーンから離れてたからな・・・」

ヨッシー「だから聞こえなかったんですね・・・」

ピーチ「ロボットがいてくれれば・・・臭いは気にしないのに・・・」

リンク「ハア・・・」

誰もが落ち込む鬼たち・・・

しかし、テンションを上げたのが・・・

ファルコン「まあ、終わったことは仕方ない！気合入れて、行くぞ！」

リンク「そうですよ！」

ロボット「ゲンキダシテイキマショウ！」

7人「オー！！！」

気合を入れて、動き出す鬼たち！
気絶中の鬼たちも、だんだん復活するだろう！！

現在、午前3時！！総力戦が、今、始まる！！

次回に続く。

ワリオ、生還！（後書き）

今回の要約・・・ワリオは、ソニックと一緒にどこかに逃げた！

1行で終わった！！
（笑）

総力戦に突入!! (前書き)

久しぶりに投稿!

総力戦に突入！！

現在、午前3時！残り生存者は、8人。

これより、全員鬼が気絶から復活し、鬼も総力戦に突入！！

果たして、生存者は、どうなるのか？

ソニック、ワリオ視点

前作で紹介したが、鬼を気絶させた張本人たち。

ワリオ（生） 「フゥ・・・」

ソニック（生） 「参ったな・・・」

2人はあの後、鬼の位置を知ってるので、真逆の地下南エリア海岸ゾーン
に来ていた・・・

ソニック（生） 「これで時間が稼げたら・・・」

ワリオ（生） 「ああ。早く時間経ってくれ・・・」

鬼が来ない事を願う2人。

更に、中央エリア・・・

マリオ 「あゝあ・・・」

アイク「怒られたな・・・」

ネス「ピーチのせいなのに・・・」

文句を言いながら、搜索する鬼たち。

マルス「あ、階段!!」

スネーク「行ってみるか。」

更に、鬼が地下エリアにも侵入!

現在、中央エリア、中央地下エリアには、

フォックス（生） 「移動もありだな。」

中央エリア森ゾーンにフォックス、

トゥーン（生） 「怖いですね・・・」

地下中央エリア森ゾーンにトゥーン、

デデデ（生） 「早く時間たってほしいゾイ・・・」

地下中央エリア火山ゾーンに、デデデの計3人が！

このまま捕まってしまうのか！？

フォックス視点

フォックス（生） 「お！3時15分！！」

時間を気にするフォックス。

「フォックス（生） 「あと8時間45分・・・まだまだ時間ある・・・」

鬼の大群がこの近くにいることには、気がついていない。

デデデ視点

デデデ（生） 「あと少して・・・熱いゾイ・・・」

デデデがいるのは、火山ゾーン。
かなり熱い。

デデデ（生） 「うゝん．．．熱い．．．！！あれは．．．」

デデデの目線の先に、マルスの姿．．．

デデデ（生） 「逃げるゾイ．．．」

早めに逃げ出すデデデ。

マルス「あゝあ・・・誰かいなのかな？」

マルスは、気がついていない・・・

デデデ（生） 「危なかったゾイ・・・」

上手く逃げ切れたデデデ。しかし・・・

リンク 「発見・・・」

生存者に気付かれずに、ターゲットを見つけたリンク。

更に・・・

リンク「あ・・・ウルフもいる・・・」

近くに、ウルフも発見。

ターゲットは・・・

リンク「GO!!」

リンク、突撃!!

トウーン(生)「ウオッ!!」

トウーンだ・・・

トウーン「うわー!!」

逃げ出すトウーン。

しかし、逃げた先にウルフ・・・

ウルフ「終わりだな・・・」

奇襲を仕掛けたウルフ

トウーン（生）「最悪だー！ー！！」

ウルフ「タッチ。」

小柄な勇者、力尽きた・・・

ピリリリリ・・・

フォックス（生） 「うわ！音大きい！！」

デデデ（生） 「誰かきつと大群に捕まっただゾイ・・・」

メール内容

現在、午前3時45分。

残り時間は、8時間15分。

地下中央エリア森ゾーンにて、トウーンリンク確保。
残りは、7人。

ソニック（生） 「アララ・・・大群にやられたわけね。」

フォックス（生） 「近いな・・・小柄なトウーンでも捕まったって
事は、きっと危ないな・・・」

危険を察知し、その場を離れるフォックス。

何とか、鬼軍団には見つからなかったようだ・・・

一方東エリア灯台ゾーン付近のゼルダ・・・

ゼルダ（生） 「トウーン捕まっちゃった・・・って事は、残ったま

ともな人間は

私だけ!？」

人間は、自分しかないというゼルダ。

ワリオ(生) 「ハークシュン!!!!」

ここにもう一人・・・

ソニック（生） 「風邪か？」

ワリオ（生） 「誰か悪口言ったな・・・」

凶星！！！！

現在午前4時。

残り時間は、残り8時間。

残り生存者

ルカリオ、フォックス、ソニック、ワリオ、デデデ、ゼルダ、デ
ィー

果たして、生還できるか!?

次回に続く。

総力戦に突入!! (後書き)

更新が遅くなるかも・・

決戦の日の出（前書き）

今回は、あっさりしています。

決戦の日の出

現在、午前4時！残り時間は、8時間。

鬼が総力戦に突入し、トゥーンが確保。残りは7

人！

ソニック、ワリオ視点（地下南エリア海岸ゾーン）

ソニック（生）「よかった・・・」

ワリオ（生）「何がだ？」

ソニック（生）「鬼の位置が大体つかめたから・・・」

ワリオ（生） 「まあな。」

結構、余裕なようだ。

フォックス（生） 「ハア・・・ハア・・・」

中央エリアから、トウーン確保の情報を受け、西エリア廃墟ゾーンに来ていた・・・

フォックス（生）「ここまで来れば・・・」

ドン！！

誰かにぶつかったフォックス。

フォックス（生） 「うう・・・」

フォックスが目を開けた先にいたのは・・・

ルカリオ（生） 「大丈夫か？」

ルカリオだ。

フォックス（生） 「ルカリオか・・・助かった・・・」

フォックス、九死に一生を得た。

ルカリオ（生） 「これも何かの縁だ。」

フォックス（生） 「そうだな。」

一緒に行動するようだ。

4..
2
0

ディディー（生） 「そろそろ夜が明けそうだな・・・」

辺りは、うつすらと明るくなっている。

ディディー（生） 「暗闇だったから有利だったけど、気をつけないと・・・」

まもなく、夜が明ける。

4..
4
0

4時40分。空は、暗闇というほど暗くはない。

ウォッチ「ア、ヨガアケマス・・・」

ファルコ「視界がよくなって有利ととるか、時間が無くて不利と考えるか・・・」

クツパ「ヤバイ！時間が・・・」

焦るクツパ。

5
..
0
0

ゼルダ（生） 「決戦ね・・・」

デデデ（生） 「日の出だゾイ・・・」

ついに、日が昇り始めた・・・

ディディー（生） 「日の出・・・縁起いいな・・・」

日の出で、広くなる視界。その分、鬼に見つかりやすくなる。

5
..
1
5

マリオ「本格的に日が昇ったな・・・」

完全に朝になった無人島。

フォックス（生）「決戦だな・・・」

ルカリオ（生）「ああ・・・」

ソニック（生） 「気合入るな・・・」

ワリオ（生） 「残り6時間45分だな。」

ファルコン 「日の出で視界が広くなったぜ！」

リンク 「僕、目はいいです！」

トゥーン 「もう僕は鬼なんだ・・・がんばる！」

縁起がいいと思う生存者とは裏腹に、気合十分で搜索する鬼たち。

残り6時間45分！

果たして、鬼と生存者、どっちが勝つか！？

次回に続く。

決戦の日の出（後書き）

レイトンのナゾの方にこれから思考を傾けるし、更新はネプリーグの方が中心になるので、更新が遅れるかもしれません。

（3日に1話ぐらい。）

フォックスとルカリオ（前書き）

今回は、ルカリオとフォックスが主役です。

フォックスとルカリオ

現在、午前5時15分。残り時間は、6時間45分
完全に夜が明けた無人島！果たして、生還者は現れる
のか！？

フォックス、ルカリオ視点（西エリア廃墟ゾーン）

フォックス（生） 「なあ・・・」

ルカリオ（生） 「何だ？」

廃墟の町にあった、ボロいベンチに座っている2人。

フォックス（生） 「もう、移動しようと思ってるんだ・・・」

ルカリオ（生） 「え？だって鬼の来る気配ないよ。」

フォックスの移動に、反対するルカリオ。

フォックス（生） 「鬼の大群が、こっちに来るかもしれない？
だから、移動しようと思っている。」

ルカリオ（生） 「ほう。」

現在廃墟ゾーンには、鬼はいない物の、隣の森ゾーンには、

サムス「木の上とかにいるかも・・・」

ファルコン「あゝ・・・1時間に1人のペースじゃ間に合わない・・・」

クッパ「デデデ・・・どこにいるんだー！あいつ足遅いくせに・・・」

サムス、ファルコン、クツパの3人。

フォックス（生） 「うーん・・・そこまで言うんだったら、ここに
いようかな・・・」

ルカリオ（生） 「長く生き残りたいなら、オススメするぜ。」

フォックス（生） 「うゝん・・・」

思いとどまるフォックス。

ピリリリリリ・・・

ルカリオ（生） 「うわっ！」

フォックス（生） 「何だ!？」

突然鳴り出した携帯電話・・・

メール内容

現在、午前5時35分。 残り時間は、6時間25分。
地下南エリア墓場ゾーンにて、ディディーコング確保。
残り生存者は、6人。

フォックス（生） 「ディディー確保だつて。」

ルカリオ（生） 「ああ……ついにディディーも捕まったか……」

ディディーの確保に、動揺する2人。

時はさかのぼる・・・

5..30 (地下南エリア森ゾーン)

ディディー(生) 「うゝ・・・夜が明けちゃった・・・」

夜が明けたことに動揺するディディー。

そこに・・・

ワリオ（生） 「お！ディディー！」

ソニック（生） 「他の生存者！」

ワリオと、ソニックが合流。

ディディー（生） 「うわー・・・よかった・・・」

安心するディディー。

しかし・・・

ファルコ「!!!! 3人いた!!!」

ファルコに見つかった・・・

ソニック（生）「2人とも、ごめん!」

ソニックは、自慢のスピードで、逃げ切った・・・

ワリオ・ディディー（生） 「うわーーーーー!!」

残された二人・・・

2人は、そのまま墓場ゾーンへ。

ワリオ（生） 「2手に分かれろ！」

ディディー（生）「はい！」

2手に分かれ、逃げ回る2人。

ファルコ「・・・・・・・・どこ行った？」

墓石を使い、うまく逃げ切ったようだ。

ワリオ（生） 「もうダメ・・・休憩・・・」

ワリオは、墓場ゾーンを脱出。
そのまま、西エリア海岸ゾーンに来ていた。

しかし、その一方・・・

デイディー（生） 「早く墓場から脱出しないと・・・」

墓場の出口が分からず、迷うデイディー。

デイディー（生） 「どうやって出られるんだろう・・・」

迷うデイディーに・・・

ファルコ「もう2人とも逃げたかな・・・」

ファルコが接近。

ディディー（生）「急がないと・・・」

ファルコ「時間・・・」

ディディー（生）・ファルコ「!!!!!!」

鉢合わせだ。

ファルコ「タッチ!!」

ディディー、鉢合わせになり、失格・・・

ディディー「惜しいな・・・」

時は、フォックス、ルカリオ視点・・・

ルカリオ（生）「残り6人だ。」

フォックス（生）「えっと・・・俺とお前・・・あとソニックとワリオとゼルダとデデデか・・・」

ルカリオ（生）「少なくなったもんだな。」

フォックス（生）「ソニックは予想通りだが、大穴のデデデは、すごいな・・・」

ちなみに、2人は移動しないことにしたとか。

残り時間は、6時間15分。残った生存者は・・・6人。

1時間に1人では、15分残しで全滅という結果に！果たして、どうなるのか！？

次回に続く。

フォックスとルカリオ（後書き）

マジでもうすぐクライマックスです！

下手したら、100話越えないかも・・・

危機一髪（前書き）

何故か、平日は書く気が湧いてくる！

危機一髪

分。

現在、午前5時45分。残り時間は、6時間15

残り生存者は、6人。果たして、残された6人の運

命は！？

ソニック視点（地下西エリア廃墟ゾーン）

ソニック（生）「クソッ！ワリオとはぐれた！」

現在、フォックスとルカリオの下、地下西エリア廃墟ゾーンにい

るソニック。

1話前で話した通り、ワリオもファルコ（鬼）を振り切ったのだが、はぐれてしまったのだ。

ソニック（生） 「これから1人・・・気を引き締めないと・・・」

圧倒的な俊足のソニック。

彼が捕まって鬼になったとすれば、おそらく全滅はほぼ確定的になるだろう。

だが、そこに近づく……

トウーン「鬼ってなかなか捕まえないな……」

トウーンの姿。

この小説では、毎度のこと、曲がり角で、死角になってるため、
人は、気がついていない。
2

ソニック（生） 「残り6時間切った！」

しかし、この声で・・・

トウーン 「ん？ソニックの声・・・」

トウーンが気がついた。

トウーン「確かこっちから・・・」

トウーン、曲がり角を曲がる。

そこに・・・

ソニック（生）「せめて次には捕まりたくないな・・・」

後ろを向いているソニック。

トゥーンとの距離、およそ30メートル。

トゥーン「……………」

足音を立てずに、更に出来るだけ早くソニックに近づくトゥーン。

残り10メートル・・・

ピリリリリリリ・・・

不幸にも、電話・・・

トウーン「ウワッ!!」

突然のことに、声を出してしまったトウーン。

ソニック（生） 「電話・・・って鬼来てた！」

突然のことに、猛ダッシュするソニック。

トゥーン、ソニックともに、電話がなった状態で走る！

トゥーン 「誰か！！ソニックいる！！」

大声で仲間を呼び寄せるトゥーン

しかし、近くには、誰もいない・・・

ソニック（生） 「逃げろ！」

圧倒的な速さで、トゥーンとの間をぐんぐん離すソニック。

トウーン「ダメだ・・・一斉送信で皆呼ぼう・・・」

トウーン、諦めた・・・

一方のソニック。

ソニック（生）「うゝん・・・2度の全力疾走は、さすがに応えるぜ・・・」

携帯電話の音楽を切り、休憩するソニック。

ソニック（生） 「急ぎすぎてケータイすら見てなかった・・・」

メール内容

現在、午前6時5分。 残り時間は、5時間55分。
地下北エリアにて、デデデ確保。残り生存者は、5人。

時はさかのぼる・・・

デデデ（生） 「しんどいゾイ・・・」

地下北エリア森ゾーンにいたデデデ。

デデデ（生） 「ん？ あれはマルス・・・」

デデデの目線の先に・・・

マルス「1人でも捕まえないと・・・」

マルス。

デデデ（生）「逃げるが勝ちゾイ・・・」

その場を離れるデデデ。

マルス「あ！デデデいた！」

しかし、見つかった・・・

デデデ（生）「見つかったゾイ！」

逃げるデデデ。

マルス「逃がさない!!」

しかし、相手は俊足のマルス。到底かなうわけも無く・・・

マルス「タッチ！」

デデデ、ここでノックアウト・・・

デデデ「ハア・・・もう歩けないゾイ・・・」

そして、元に戻る・・・

ソニック（生） 「そうか・・・」

ゼルダ（生） 「デデデとはいえ、捕まると悲しいわね・・・」

フォックス（生） 「残りは5人か・・・」

ルカリオ（生） 「まだ6時間ぐらいあるのにな・・・」

残り5人になり、動揺しだす生存者たち。

リンク 「5人捕まえれば終わり！」

カービー 「これもう鬼勝ったでしょ！」

ルイージ 「ホームランバットはもう免除だ！」

逆に、鬼たちには、勝利の色。

そこに・・・

ピリリリリリ・・・

ネス「ケータイなった！」

ガノン「トウーンからのメールか。」

メール内容

トゥーンリンクからの依頼。

現在、地下西エリア廃墟ゾーンにて、ソニック発見。

現在は、休憩中。

急遽全員で包囲し、確保に向かいます！

そう。

一旦ソニックを見失ったかに見えたトゥーンだが、その後、休憩中のソニックの姿をとらえたのだ。

ファルコン「行くぜ！」

サムス「行くわ。」

リュカ「いく！」

マリオ「行くぜ。ラストチャンスかもしれないからな。」

続々と動き出す鬼たち。

ソニック（生） 「それにしても、時間経つの遅いな・・・」

ソニックは、まだタウンには気がついていない。

更に、タウンが連絡したのは、地下西エリア廃墟ゾーン。

上の廃墟ゾーンには、フォックスとルカリオ。

フォックス（生） 「いやな予感がする・・・」

ルカリオ（生） 「気のせい気のせい。」

3人に確保の危機！

ちなみに・・・

ワリオ（生） 「鬼ってガチだな・・・」

ワリオは、地下南エリア森ゾーン、

ゼルダ（生） 「誰とも会わない・・・」

ゼルダは、東エリア灯台ゾーンにいる。

ソニックだけでなく、フォックス、ルカリオまでも巻き込むことになる

第2回ソニック捕獲大作戦。

果たして、今度こそ捕まってしまうのか？

次回に続く。

危機一髪（後書き）

ちなみに、現在は、午前6時30分。残り時間は5時間30分。

残り生存者・・・5人。

ソニック、フォックス、ルカリオ、ワリオ、ゼルダ

ソニックを捕まえろ！(前書き)

活動報告で、プロフィール公開しました。

ソニックを捕まえろ！

現在、6時30分。残り時間は、5時間30分。
大量の鬼が、地下西エリア廃墟ゾーンに迫る！果たして、

ソニック、フォックス、ルカリオの運命は？

トウーン「執念で見つけたんだ・・・絶対捕まえたい・・・」

ソニックを見つけ、皆に連絡をしたトウーン。

その執念は、功を制すのか？

ソニック（生） 「時間たつの遅い・・・」

ソニックは、まだ、きがついていない。

そのころ・・・

ヨッシー 「着いた！」

リンク「到着です！」

ピーチ「来たわよ！」

ネス「ここが廃墟エリアか・・・」

ピカチュウ「ソニック捕まえるぞ！」

続々と集合する鬼たち。

更に・・・

ピチューー「ソニックの上に到着！」

プリン「やっとなつた・・・」

ウルフ「階段まで行かないと・・・」

ウォッチ「シタニ、オリナイト！」

ドンキー「階段どこ？」

その上の、西エリア廃墟ゾーンにも、たくさんの鬼・・・

フォックス（生） 「やっぱり嫌な予感・・・」

ルカリオ（生） 「気のせい気のせい。大丈夫だって。」

この2人も、気がついていない。

ワリオ（生） 「鬼怖い・・・」

ゼルダ（生） 「鬼来ないで・・・」

もはや、この2人は、見向きにされていない。

ポケトレ 「廃墟ゾーン到着！」

ルイージ 「上に着いた！階段は！？」

そんな間でも、鬼は、集合している。

ちなみに廃墟エリアは、東京ドーム6つ分。地下と地上あわせると、12個分となる。

ヨッシー「どこかな・・・」

ドンキー「階段あった！降りる！」

サムス「ソニックを捕まえれば・・・」

探す鬼は、増える一方・・・

さらに、あの2人は・・・

ルカリオ（生） 「ムムッ！フォックス、移動した方がいいな・・・」

フォックス（生） 「何でだ？」

フォックスの移動を、何度も引き止めたルカリオが、突然の移動を決意。

ルカリオ（生） 「なんとなく・・・野生の勘ってやつだ。」

フォックス（生） 「俺のときは反対したくせに・・・」

移動を開始するルカリオと、
しぶしぶ移動し始めるフォックス。

フォックス（生） 「これで鬼いたら最悪だから・・・」

しかし、その最悪が・・・

ピチュー「階段探さないと・・・」

プリン「そうプリね・・・」

2人の近くに、プリン、ピチューの姿。

ルカリオ（生）「そら！急げ！」

フォックス（生） 「全く・・・」

徐々に迫る距離・・・

ピチュー 「あ！ルカリオとフォックス！」

プリン「マジ!？」

見つかった・・・

ルカリオ（生）「ウワッ! 鬼いた!」

フォックス（生）「お前の勘何だよ!」

鬼に気がつき、逃げる2人・・・

ルカリオ（生） 「すまん。」

フォックス（生） 「最悪だー！」

逃げる2人。

ピチュー「待てー！」

プリン「転がる!!」

鬼の2人も、必死に追う。

ルカリオ（生）「曲がり角！」

フォックス（生）「ジグザグに逃げるぞ！」

曲がる角を使って逃げる2人。

ピチュー「スタミナ切れた・・・」

プリン「もう転がれない・・・」

鬼2人は、力尽きた・・・

フォックス（生） 「ハア・・・ハア・・・」

ルカリオ（生） 「ゼエ・・・ゼエ・・・」

何とか、振り切った二人・・・

フォックス（生） 「全く・・・」

ルカリオ（生） 「何とか助かったな。」

あきれるフォックスと、呑気なルカリオ・・・

しかし、廃墟ゾーンは、現在鬼の溜まり場・・・

アイク「あ、いたぞ！」

今度は、アイクに見つかった・・・

フォックス（生）「マジでかくし！」

ルカリオ（生） 「二手に分かれろー！」

廃墟ゾーンの交差点を、フォックスは右、ルカリオは左に逃げた。

アイクが狙いを定めたのは・・・

フォックス（生） 「何で俺の方なんだよ！」

フォックス。

ルカリオ（生） 「フォックス・・・すまん。」

ルカリオは、何とか、海岸ゾーンまで移動した。

フォックス（生） 「ルカリオー……!!」

逃げるフォックス。

ポケトレ 「あ! いた!」

逃げた先に、ポケトレ……

フォックス（生）「最悪だー！」

挟まれた・・・

アイク、ポケトレ「タッチ！」

スターフォックスのリーダー、確保。
そして、初代スマブラメンバー、全滅・・・

フォックス「無理・・・ルカリオのヤツ・・・」

ピリリリリリ・・・

ルカリオ（生） 「うわー・・・多分フォックス捕まったな・・・」

ソニック（生） 「待て待て！」

メール内容

現在、午前7時15分。残り時間は、4時間45分。
西エリア廃墟ゾーンにて、フォックス確保。
残り生存者は、4人。

ゼルダ（生） 「フォックスまで・・・・・・・・」

ソニック（生） 「もう4人か・・・・・・・・」

落ち込むソニックに・・・・・・・・

トゥーン 「もう結構来たでしょ？行く！」

トゥーンが迫る・・・

トゥーン「ソニック諦めろ！」

不意打ちを賭けるトゥーン。

ソニック（生）「ウワッ！何だよ！」

動揺し、逃げ出すソニック。

逃げた先に・・・

ヨッシー「発見！」

ヨッシーの姿・・・

ソニック（生）「2人目！」

仕方なく、曲がり角を使って逃げるソニック。

トウーン・ヨッシー「待てー！」

どうしても、俊足のソニックに、遅れてしまう2人。

更に逃げた先に・・・

カービィ「ぽよ！見つけた！」

カービィ。

ソニック（生） 「まさか囲まれてる!？」

十字路の、向かい側にいたので、右に逃げようとするソニック。

ファルコン 「見つけたぜ!」

しかし、右側にはファルコン。

ソニック（生） 「しまった！」

慌てて、左の道に切り替えるソニック。

ソニック（生） 「鬼多すぎる！」

そんなソニックの前には・・・

ソニック（生） 「あ！ラッキー！」

廃墟ゾーンの出入口。

ファルコン 「マズイ！」

ヨッシー「逃げないで……」

ソニック（生）「よっしやあ！ 廃墟脱出！」

ヨッシーの願いもむなしく、ソニック、脱出。

トゥーン「メール打たないと・・・」

ピリリリリリ・・・

アイク「ソニック捕まったか!？」

マルス「ついに捕まえたか？」

メール内容

さっき、ソニックは、廃墟ゾーンから脱出。これより、自由とします。

心より申し訳ないと思ってます。

トゥーンリンク

ロイ「捕まえられなかったか・・・」

メタナイト「ダメでもともとだからな・・・」

マリオ「仕方ない！」

現在、午前7時30分。残る生存者は、4人。果たして、誰か生還できるのか！？

ソニックを捕まえろ！（後書き）

今回は、2000文字ぐらいあるらしいです。

いやはや途中経過（前書き）

間が空いていたのに、300字前後と、少なめです。

いやはや途中経過

残り4人ですが、途中経過です！

1、時刻	現在、7時30分。	残り時間	4時間30分。
------	-----------	------	---------

残り生存者・・・4人

ソニック、ワリオ、ルカリオ、ゼルダ

鬼軍団・・・35人

マリオ、ルイージ、ピーチ、クッパ、ヨッシー、デイドイー、ドン
キー、サムス、ピット
フォックス、ファルコ、ウルフ、スネーク、ファルコン、ポポ、ナ
ナ、ピクオリ
ネス、リユカ、リンク、ガノン、トウーン、メタナイト、クッパ、
デデデ、ウオッチ、ロボット
ピカチュウ、ポケトレ、プリン、ミューツー、ピチュー、マルス、
アイク、ロイ

現在地・・・

ルカリオ・・・地下北エリア森ゾーン

ワリオ・・・地下南エリア海岸ゾーン

ゼルダ・・・東エリア灯台ゾーン

ソニック・・・地下中央エリア滝ゾーン

以上です。

次回！ 俊足ソニック・・・強運ワリオ・・・復活者ゼルダ・・・
無双ルカリオ・・・

果たして、誰が生還できるのか！？

次回に続く。

いやはや途中経過（後書き）

※次回では、おそらく決着つきません。

残り4人。(前書き)

最近、サッカーで腰を痛めました・・・(笑)

かといって、更新に変化はありません。

残り4人。

現在、午前7時30分。残り時間は、4時間30分。

しかし、生存者は、ソニック、ワリオ、ゼルダ、ルカリオの4人。

果たして、4人の運命は！？

ゼルダ視点

ゼルダ（生） 「復活してから、1度も追われてないけど、大丈夫かしら・・・」

鬼を見かけたことはあるものの、気付かれてはいないゼルダ。

ゼルダ（生） 「ハア・・・いつも近くに鬼がいるような予感・・・」

鬼に怯えるゼルダ。

しかし、東ゾーンにいるゼルダに対し、鬼は、ソニックのいた地下西エリアにいる。

その鬼たちに最も近いのが・・・

ルカリオ（生） 「フォックス怒ってるだろうな。」（笑）

2話前、フォックスに迷惑をかけ、最後には、フォックスを犠牲にしたルカリオ・・・

ルカリオ（生） 「多分フォックス俺狙ってくるから、逃げよ！」

かなり近い西エリア海岸ゾーンにいるルカリオ。
しかし、なぜに呑気なのだろうか？

フォックス「ルカリオ・・・一体どこに逃げた？」

そして、ソニック搜索そっちのけで、ルカリオを徹底的に探すフォックス。

ルカリオ（生）（ビクッ！）「何か心配が・・・」

勘がいいルカリオ。実は、フォックスとはかなり距離は近い。

ワリオ視点

ワリオ（生） 「ワガハイ……ここまで逃げのびれたことが奇跡だぞ……」

スマブラメンバーの中では、かなり太っている方のワリオ。

ワリオ（生） 「ここまで来たら、逃げ切りもあるかも・・・」

スピードがそこそこあるが、スタミナは乏しいワリオ。生還できるのか？

ソニック視点

ソニック（生） 「フウ・・・何で鬼が連続で追いかけて来るんだよ・
・・」

大群の鬼を振り切ったソニック。

ソニック（生） 「今、気が着いたんだが・・・最近1話の文字数増
えてない？」

お、気がついたか。まあ、いいじゃないか。
最近退屈だからな。

(更新も遅れ気味だけど・・・)

ソニック(生) 「ん？ 鬼来た！」

アイク・ファルコン 「バレた！」

鬼の接近に気付き、逃げるソニック。

アイク「速っ！無理だ・・・」

アイク、一瞬で諦めた・・・

ファルコン「俺は諦めない！」

しかし、ファルコンは諦めない。

ソニック（生）「ヤバイ！差が縮まらない！」

走力では、勝るソニック。しかし、タフな方は、ファルコンである。

ソニック（生） 「疲れがヤバイ・・・」

ついさっき、全力疾走したソニック。スタミナが、持たない。

ファルコン 「お！弱ってきた！」

しかし、ソニックは元々超俊足である。差は、なかなか縮まらない。

ソニック（生） 「うわっ！端だ」

ソニックが見た物は・・・灯台。

ソニックは、地下中央エリアから、地下東エリアの端まで逃げてきたのだ。

ソニック（生） 「灯台に逃げ込もう！」

ソニック、灯台に逃げ込む。

ファルコン 「チャンスが逃がすか！」

負けじとファルコンも、灯台に入る。

ちなみに・・・

ゼルダ（生） 「海はキレイね・・・」

上の、東エリア灯台ゾーンには、ゼルダ。

ソニック（生） 「ファルコン・・・凄い速い・・・」

ちなみに、ファルコンとソニックの間は、約20メートル。

灯台の中を、逃げ回るソニック。

ファルコン 「まだ諦めないか・・・」

執念深く追いかけるファルコン。

ソニック（生） 「ハア・・・ハア・・・このままじゃ捕まる・・・」

疲れが溜まるソニック。

しかし、助け舟が・・・

ソニック（生） 「階段だ！」

幸運にもソニック、地上へとつながる階段を発見。

ファルコン 「あ、ヤバイ・・・」

ファルコンの、予感の中・・・

ソニック（生） 「トランポリン！」

ボヨン！

トランポリンを使って、上昇するソニック。超ハイペースである。

ボコン！

ファルコン「痛ッ！トランポリン・・・」

トランポリンの後のダメージも忘れずに。

ファルコン「チクショウ！ジャンプ！」

ファルコンも、ジャンプを使い、駆け上がる。

ソニック（生）「着いた！」

ソニック、地上に到着。

ファルコン「ソニックいたぞ！」

しかし、そこにファルコンも間髪いれずにやってきた。

ソニック（生） 「え〜・・・階段上がるの速すぎる・・・」

わずかながら、体力が回復したソニック。
全力疾走で逃げる！

ファルコン「諦めろよ！」

ファルコン、何故にこんなにしぶといのだろうか？

果たして、ソニックは、逃げられるのか！？

次回に続く。

残り4人。(後書き)

次回作のゲスト、まだまだ募集中です！

良からぬ事態（前書き）

いきなり対決の続きです！

良からぬ事態

ソニック（生） 「まだ追いかけてくるのか？」

灯台の中を逃げ回るソニック。

ファルコン 「また逃がしたら、ケツバットだからな。」

ちなみに、鬼は全滅させる事が出来なければ、ホームランケツバットである。

ソニック（生） 「あ、ヤバイ！誰がいる！」

ゼルダ（生） 「あ、ソニック！・・・鬼いるし！」

ソニックが見つけたのは、ゼルダ。
ゼルダも逃げる！

ファルコン 「またいた！」

ファルコンも、ゼルダに気がつく。

ソニック・ゼルダ（生） 「出口だ！」

しかし、2人は、灯台の出口に到達。

ソニック（生） 「別々に分かれるぞ！」

ゼルダ（生） 「ええ！」

ソニックは森に、ゼルダは海岸側に逃げた。

ファルコン「分かれやがった・・・」

別々に逃げたことに、悔しがるファルコン。

ファルコンが狙いを定めたのは・・・

ソニック（生）「また俺かよ？」

ソニック。

ゼルダ（生） 「はぁ・・・ビツクリした・・・」

ゼルダは、助かった・・・

ソニック（生） 「もう無理・・・」

スタミナ切れのソニック。

ソニック（生） 「ラストダッシュ！」

ソニックは、全力でダッシュした。
（おそらく、普通より早い。）

ファルコン 「速い！見失った・・・」

ファルコン、ダッシュについていけず・・・

ファルコンから離れた草むら

ソニック（生） 「足^{けいれん}痙攣した・・・」

ソニックダウン！果たして、大丈夫なのか？

ルカリオ視点

ルカリオ（生） 「なかなかいい隠れ場所を見つけたぞ。」

北エリア礫ゾーンまで逃げてきたルカリオ。

ルカリオ（生） 「ここら辺りまで来れば、大丈夫だろ・・・」

逃げてきて、安心のルカリオ。

フォックス「フ．．．安心してやがる．．．」

しかし、フォックスが見た．．．

ルカリオ（生）「早く時間潰れてくれないかな．．．」

ルカリオは、まだ気がついていない。

フォックス「捕まえるぞ・・・間合いを取って・・・」

間合いを取り、バレないように接近するフォックス。

フォックス「着いた・・・」

ルカリオとの距離が、かなり縮まったフォックス。その距離、わずか5メートル。

フォックス「もういけるかな・・・」

確保を試みるフォックス。

フォックス「GO！」

確保に向かう！

ルカリオ（生） 「うわっ！ フォックス！」

逃げ出すルカリオ。

しかし、走力は同じ。だが、ルカリオは奇襲をうけ、スピードが少し鈍くなっている！

フォックス「スライディングタッチ！」

なんと、スライディングのように倒れかけながら、ルカリオを捕まえた！

ルカリオ「え？さっきの凄すぎ・・・」

ルカリオ、言葉が出ない・・・

ピリリリリリ・・・・

ワリオ（生） 「うわっ！」

ゼルダ（生） 「びっくりしたわ・・・」

ソニック（生） 「やっと痙攣落ち着いた・・・」

メール内容

現在、8時45分 残り時間は、3時間15分。
北エリア磯ゾーンにて、ルカリオ確保。
残り生存者は、3人。

ゼルダ（生） 「ルカリオ捕まっちゃった・・・」

ルカリオの確保に、落ち込むゼルダ。

一方その頃・・・

ピリリリリリ・・・（さっきのメール音）

ファルコン「メールか・・・」

携帯をチェックするファルコン。

実はファルコン、ある音を聞き取っていた・・・

ファルコン「ルカリオ確保か・・・そういえば・・・

さっき、近くから違うメール音が聞こえたな・・・
誰か近くにいるのか？」

ちなみに、鬼と生存者で、メール音は切り替わる。

そして、そのメール音は・・・

ソニック（生） 「痙攣、多分治った・・・」

ソニック。

果たして、ソニックは、ファルコンから、無事逃げられるのか？

次回に続く。

良からぬ事態（後書き）

次回作のドラマのゲスト募集まだやっています！

ルールの再確認・・・

1、1人2人まで！

2、プロフィールあり！（絶対）

3、期間は、増やし鬼が終わるまで！

この3つです！（ちなみに、重要な男性が1人不足中！）

良からぬ事態2（前書き）

テスト期間中なのに更新！

感想ぐらいなら、返せると思います！

良からぬ事態2

ピリリリリリ・・・

ソニック（生） 「足の痙攣^{けいれん}治りかけたけど電話・・・」

ルカリオ確保の電話で、苛立つソニック。

ファルコン「ケータイ音・・・誰かいるのか？」

ケータイ音に気がついたファルコンが、ソニックに接近。

ソニック（生）「足は、もう大丈夫そうだな・・・それより・・・ルカリオも捕まったか・・・」

ソニックは、まだ気がついていない。

ファルコン「誰がいるなら、慎重に行かないと・・・」

だんだんと接近してくるファルコン。

しかし、ソニックは横になっているため、気付かれにくい！

ソニック（生） 「少し体を休めるか・・・」

ソニック、横になったままの状態で、ファルコンから隠れられるか？

しかし・・・

ファルコン 「いたぞ！今回は逃がさない！」

ファルコン、勘良くソニックに気がついた。

ソニック（生）「うわ！ファルコン来てた！」

ファルコンの大声で、気がついたソニック。
一目散に逃げ出す！

ソニック（生） 「結構近いし！」

案外と、近いところまで来ていた鬼のファルコン。

ソニック（生） 「距離確認して走らないと大変だ・・・」

ファルコン「クソッ！距離が・・・」

一応、体を休めていたソニック。足を痙攣していたとはいえ、ファルコンと互角に走りぬく。

10分後・・・

ソニック（生）「厳しいよ・・・」

追いかけてここに、スタミナが持たなくなってきたソニック。

ファルコン「ハア・・・スゴイしんどい・・・」

ファルコンも、スタミナは少ない。

この持久戦、制すのは・・・

更に15分後・・・

ソニック(生) 「もう無理・・・」

ファルコン 「スタミナやバイ・・・」

ソニックはこの間、カービィ、ガノン、リンクにも見つかったが、振り切ってきた。

ソニック（生） 「ダメ・・・無理・・・」

ソニック、半ば諦め気味・・・

ドテッ！！

ファルコン「ヤバイ！コケた！」

しかし、ファルコンが転倒してしまった。

ソニック（生） 「よかったぜ！最後の全力疾走！」

ソニック、すべての力で全力疾走！

ソニック（生） 「ハハハ！やっと振り切っ……………」
「ゴー——
ーッ！！！」

ファルコンの方を向いて走っていたソニック。

なんと、木に思いっきり衝突してしまった！

・ ここは森ゾーン。木も多く、前を向かなければ、危険であつた・・・

1136

ソニック（生） 「・・・・・・・・・・・・・・・・」

ソニック、全力疾走で衝突してしまったため、失神中・・・

ファルコン「ソニック何やってんだ？」

そこに、転んだファルコンが到着。

ファルコン「一応タッチ・・・・・・・・」

ソニック「・・・・・・・・」

ソニック、失神したまま確保。

ファルコン「あ・・・・・・・・このソニックの前にある木、幹がハゲてる

ぞ・・・

コレにぶつかったんだな・・・」

さすがはファルコン、勘がするどい。

ピリリリリリリ・・・

リンク「メールです。」

メール内容

現在9時45分 残り時間は2時間15分。
中央エリア森ゾーンにて、ソニック確保。
残りは、ワリオ、ゼルダの2人。
しかし、ソニックは失神のため、本拠地にて検査を受けている。
復帰は不可能だ。

ゼルダ（生） 「ついにソニックまで・・・」

ワリオ（生） 「残りは2人か・・・」

残された2人。

残り時間、2時間15分。

果たして、2人は無事、生還できるのか？

次回に続く。

良からぬ事態2（後書き）

次回作のゲスト、後先着3人で一時終了にします。

全力の生存者（前書き）

もう、後1，2話で、増やし鬼は完結です。

（その後、2話オマケ予定）

全力の生存者

5分。

現在、午前9時45分。残り時間は、2時間1

すべての鬼が、ワリオとゼルダの確保に向か

う！

果たして、2人は無事生還できるのか？

ピチュー「鬼にソニック君が来てくれたから、もう勝ったと思ったのに・・・」

ソニックの大怪我に、落ち込むピチュー。

ソニックは大怪我のため、鬼として参戦するのは、ドクターストップをうけ、不可能である。

リンク「ゼルダ姫にワリオ・・・意外性高いな・・・」

予想しなかったメンバーが生き残っている事に、驚くリンク。

リンク「ゼルダはともかく・・・ワリオはどうにかしないと！」

リンク、全力で確保に向かう！

10..00
(残り2時間)

72時間の増やし鬼も70時間が経過し、残りは2時間。

ワリオ(生) 「あと2時間で、終了・・・」

ゼルダ(生) 「ここまで来たら絶対生還する・・・」

生還へ、意気込む2人。

しかし、1人の鬼が、どちらかに近づく・・・

ロボット「イマシタヨ・・・」

ロボットだ・・・

ロボット「オニハ、エリアニタクサンイマス。イキマス！」

ロボットが狙いを定めたのは！？

ゼルダ（生）「ロボット接近してきてるわね・・・逃げましょうか。」

ゼルダだ。

現在、島に鬼は36人。うかつには、動けない！

ロボット「マテー！」

必死に追いかけるロボット。

ゼルダ（生） 「声が大きいと、迷惑ね・・・」

しかし、あまり動いていないゼルダ。
上手く、振り切ったようだ。

ロボット 「ニゲラレマシタカ・・・」

ロボット、残念・・・

10..20 (残り時間1時間40分)

更に、20分が経過し、残り時間は、1時間40分。

マリオ「本格的にやばいぞ！」

ルイージ「ケツバットなんてイヤだあ！」

マルス「全滅！全滅！全滅じゃないと大変だ！」

焦りだす鬼たち。

しかし・・・

ファルコ「まあ、後2人捕まえたらいい事だ。」

ポケットレ「慌てたらダメだよ。視界が悪くなる一方だよ。」

その一方、冷静さを保つ鬼もいる。

そのころ・・・・・・・・とある人物は・・・・

ワリオ（生） 「よし！結構溜まってきたぞ！」

- ・ 何かが溜まったというワリオ。皆さんは、もうお気付きですよね・

10..30 （残り時間1時間30分）

また、10分が経過し、残りは、1時間30分。

ゼルダがなんと、ここで奥の手を使う・・・

ゼルダ（生） 「もう、絶対捕まりたくない・・・」

もう、必死のゼルダ。

ゼルダ（生） 「近くには誰もいないわね・・・」

近くに誰もいない事を確認するゼルダ。

ゼルダ（生） 「本気モード、シークチェンジ！」

タララララン・・・・・・

ピカッ！

シーク（生） 「ふう．．．何とかバレずに変わったようね．．」

なんと、ここに来てゼルダ、シークにチェンジ。（とりあえずOK？）

シーク（生） 「スピードもアップ．．．もう捕まりたくない．．」

果たして、シークに変身し、逃げ切れるか？

10..45
(残り時間1時間15分)

本当に長かった増やし鬼も、残りは1時間と少し。

ワリオ(生)「金がかかってないのに、こんなにがんばったの、多分初めてだ・・・」

シーク（生） 「もう、逃げ切りしか考えてない。がんばるだけ。」

残りの2人も、臨戦態勢である。

しかし、2人のどちらかの近くに・・・

ファルコ 「いたぞいたぞ・・・」

ファルコの姿。

???
(生) 「絶対負けない! がんばる!」

その生存者は、気がついていない。

ファルコ「フッフ・・・もうヤツは捕まえたな・・・」

果たして、絶体絶命の危機に立たされているのは、一体どちらなのか？

詳しくは次回に続く・・・

全力の生存者（後書き）

サッカーって楽しいな！と、最近良く思います。

特にG K（実際のポジション）は、めっちゃくちゃ楽しい！

（突き指しよっちゅうだけど・・・）

逃げ切れたのか・・・（前書き）

あと1枠ならゲスト枠確保できますよ！

逃げ切れたのか・・・

「ファルコ「もう、捕まえた同然だ・・・あんなに油断してるぜ・・・」

ファルコが狙いを定めたのは・・・

シーク（生） 「生き残らなければ・・・」

シークだ。

シーク（生） 「もう、ゼル伝メンバーは全員敵・・・」

シークは、まだファルコには気がついていない。

ファルコは、灯台を使い、死角に移動していく。

シーク（生） 「灯台の中に戻るか。」

灯台の中に入るシーク。

しかし・・・

ファルコ「大声出さずに行くぞ・・・」

ファルコも中に入る。

ファルコ「いたいた・・・」

ファルコ、シークをロックオン。

ファルコ、足音を出さないように確保へ向かう！

シーク（生）「ここまで来れば・・・ってうわっ！」

しかし、シークも気がついた。
逃亡を開始！

ファルコ「悪いが捕まってもらおう！」

ファルコ、必死の追跡！

2人の距離、およそ15メートル。

シーク（生） 「捕まらない！」

シークも、全力疾走で逃げる！

灯台を出て、森に逃げ込む！

ファルコ 「くそっ！ 追にくい！」

木が邪魔で、うまく進めないファルコ。

シーク（生） 「だいぶ距離できた・・・」

安心するシーク。

??? 「おい！ゼルダもう諦めろ！」

しかし、前方から鬼のような声・
・
・

シーク（生） 「くそっ！鬼か！」

フォックス 「その通り！」

現れたのは、先ほどルカリオを捕まえた、フォックスだ。

シーク（生） 「もうゼルダではない！」

フォックスに注意するゼルダ。
挟み撃ちを避けて、進行方向をチェンジ！

したのだが・・・

??? 「ファルコ、あなたの作戦成功ね！」

シークの逃げた先に、ナゾの声・・・

シーク（生） 「その声は・・・サムス!?」

サムス 「そうよ! 見事に作戦に引っかったわね!」

逃げた先に・・・サムス。

シーク（生） 「クッ・・・」

3人に挟まれたシーク。

ファルコ「終わりだな。」

フォックス「タッチ！」

シーク確保。残り生存者・・・1人。

シーク「あゝ・・・悔しい！」

シーク、はかなくも散る・・・

ピリリリリ・・・

リュカ「電話です。」

ルイージ「確保情報！」

メール内容

現在、午前11時5分。残り時間は、55分間。
中央エリア森ゾーンにて、ゼルダ（シーク）確保。
残る生存者は、ワリオ1名。

ワリオ（生） 「うぐう・・・ついにシークまでもか・・・」

たった一人窮地に立たされたワリオ。 生還できるか？

11..10 （残り時間50分）

増やし鬼スタートから71時間10分が経過。 ついに残り生存者はワリオのみになった。

マリオ「ワリオがここまで生き残るとは、思わなかったよ・・・」

ファルコン「今までたくさん捕まえてきたが・・・確かワリオは見
ていないような・・・」

ネス「ワリオはどこにいるんだ？」

フォックス「見当たらないぞ・・・」

ワリオの搜索を続けるも、見当違いの位置を探す鬼たち。

ワリオ（生） 「来るな・・・来るな・・・」

ちなみに、ワリオは動いておらず南エリア海岸ゾーンに身を潜めている。

11..25
（残り時間35分）

ガノン「もうこんな時間か・・・」

ルイージ「ケツバットが・・・」

ピカチュウ「もう30分そこそこしかない・・・」

更に時間が経つのもワリオが見つからず、冷静さを失う鬼たち。

ファルコ「木の上・・・じゃないよな？」

ヨッシー「湖とかの水中には隠れられないですよね・・・」

スネーク「廃墟の中とか!」

見当違いの場所を探す鬼も・・・

ワリオ（生）「・・・・・・・・・・・・・・・・・・フー・・・やり過ぎたようだな。」

アイク「ワリオ・・・どこに隠れていやる?」

ワリオ、アイクを発見してすぐに隠れ、何とか隠れきれたようだ。

11..30 (残り時間30分)

ついに、30分をきった増やし鬼。ワリオは果たして無事生還できたのか・・・

次回に続く。

逃げ切れたのか・・・(後書き)

次回で増やし鬼は決着です！

決着！（前書き）

今回で決着がつきます！

決着！

終了までは、残り30分、残り生存者は、ワリオただ1人！

今回決着！果たして、生還できたのか！？

11..30（残り時間30分）

ワリオ（生） 「全員が敵って言うのも辛いものだ・・・」

残り一人になってしまったワリオ。

果たして、生還できるのか？

11..40 (残り時間20分)

残りは、20分となった増やし鬼合戦。
果たして勝つのは鬼か、それとも生存者か。

ファルコン「くそっ！見つからねえ！」

ネス「ワリオってどこに隠れているの!？」

ウォッチ「ジカンガッ!！」

鬼たちにも本格的に表情が変わった。

ワリオ（生）「移動したくないなあ・・・」

移動をする気が無いワリオ。
今いる位置、すなわち南エリア海岸ゾーンで勝負をかける!

リンク 「何処にいろんだろ・・・」

ガノン 「くそっ！ワリオのヤツ・・・」

マリオ 「ワリオだけは逃がしたくないな。」

しかし、現在南エリアには、リンク、ガノン、マリオの3人の鬼。
果たして、無事やり過ごせるか？

11..45 (残り時間15分)

更に5分が経過。無論、ワリオは気付かれず、時間だけが刻一刻と
過ぎていく。

ワリオ(生) 「もはや、残りは15分のみ・・・全力で行けば逃げ
切れる・・・」

残り時間の減少に伴い、ともな自信をつけてきたワリオ。

しかし、彼に近づく鬼が・・・

リンク「全員でワリオ1人を探してるのに、どうして見つからないんだろ・・・」

リンクだ。

ワリオ「絶対生還……って鬼のリンク来てるし……」

しかし、奇跡的にリンクの接近に気がついたワリオ。
すぐさま体勢を低くし、身を潜める。

リンク「ワリオ凄いな・・・あ！マリオさん！」

マリオ「お！リンクじゃないか！」

しかし、リンクが退散するどころか、マリオまで接近。木の根元に隠れ、逃亡の機会を伺う。

リンク「どうしますか？このままだとヤバイですよ。」

マリオ「ホームランケツバットなんて死ぬよ・・・」

2人は、今だにワリオには気がついていない。

ワリオ(生)「今のうちに移動・・・」

その場を離れようとするワリオ・・・

ナナ「ワリオ発見！」

しかし、新たに南エリアに来ていたナナに見つかった！

リンク「何っ!？」

マリオ「何処だ？」

この2人も、声に反応した。

ワリオ（生）「ヤバイ！逃げるしかない！」

しかし、ワリオも逃げ出す。

リンク・マリオ「いた！まてっ！」

2人もワリオを見つけ、捕まえに向かう！

残り時間10分。

ワリオ（生） 「捕まっただまるかよ！」

全力で逃げるワリオ。
彼はスタミナをかなり回復していたので、マリオ、リンクとの差は開いていく。

リンク 「クソッ！」

マリオ「あいつ……そこそこ足速いぞ！」

2人も、苦戦を強いられている。

ちなみに、第1発見者のナナは、とっくにスタミナ切れで休んでいた……

ナナ「2人とも……後は任せた……」

しかし・・・

マリオ「ヤバイ・・・」

リンク「見失ったな・・・」

ワリオは意外に俊足だ。2人は、上手く振り切られてしまった・・・

そして、そのワリオは・・・

ワリオ（生） 「ここは・・・灯台か・・・」

東エリア灯台ゾーンまで来ていた・・・

(残り時間 8分)

ついに、残り時間も10分を切ってしまった。
もはや、鬼たちには絶体絶命である。

リユカ「ええ……ワリオってこんなにも捕まらないの……」

プリン 「プリ・・・もうだめプリ・・・」

ソニック「うーん……」
(意識は戻った)

クッパ「もうギブアップ……」

中には、もう搜索を諦めた鬼たちも……

しかし……

ポケトレ「最後の望みだな……」

シーク「ワリオ・・・絶対逃がさない・・・」

ファルコン「もうここのエリアにかけるぜ！」

リンク「確か、東エリアに向かったはずですよ！」

マリオ「よし！諦めずに行こう！」

東エリアにいる、向かっている鬼たちは、あわせて5人。
更に、ポケトレは、灯台の中にいて、外にいるワリオには、相当近い！

11..56 (残り時間4分)

ワリオ(生) 「もはや時間の問題だな・・・」

残り5分も切ったが、調子には乗らないワリオ。
案外と冷静だ。

ポケトレ「外にいるのかな・・・」

しかし、ポケトレは外に！

リンク「着いた！」

マリオ「時間が無い！急ごう！」

マリオとリンクも、東エリアに到着！
ワリオに、鬼が迫る！

そのころワリオは・・・

ワリオ（生） 「早く行け・・・早く行け・・・」

ワリオは、ポケトレに気がつき、身を潜めていた・・・

ポケトレ「あゝ・・・やっぱりいないのかな・・・」

ポケトレは、ワリオに気がついていない。
更に、そのまま海岸の方へ向かってしまった・・・

ワリオ（生） 「チャンスだな・・・」

そういうと、ワリオは灯台の中に入って行った・・・

残り時間3分。

ワリオ（生） 「とりあえず最上階へ行って隠れるか・・・」

ワリオ、灯台の中でタイムアップを狙うようだ。

残り2分。

ワリオ（生） 「120、119、118・・・」

カウントダウンをするワリオ。

マリオ「ポケトレ!!」

リンク「ポケトレさんだ!」

更に、2人がポケトレを見つけた。

ポケトレ「マリオさん、リンクさん！」

ポケトレとマリオ、リンクが合流。

マリオ「ワリオ見かけたか？」

リンク「こっちに逃げたはずなんです！」

立て続けにしゃべる2人。

ポケトレ「見てない・・・という事は、洞窟辺りかな!？」

いや。ワリオがいるのは、灯台の中だ。

マリオ「分かった。行ってみよう。」

リンク「すべてをかけてみましょう!」

ポケトレ「ああ!」

ポケットレ、痛恨のミス！3人が、灯台から離れてしまった。

残り30秒。

ワリオ（生） 「30, 29, 28・・・」

カウントダウンは、刻々と過ぎていく・・・

ファルコン「ワリオー！」

トウーン「どこだよ・・・」

サムス「あいつこの島から出た!？」

カービィ「無理ー!!！」

鬼は、もはやワリオに誰も近くない。

残り10秒。

ワリオ（生）

「10
・
・
9
・
・
8
・
・
7
・
・
6
・
・
・
・
」

残り5秒

5
・
・
・
4
・
・
・

ワリオ（生） 「3, 2, 1
・
・
・
・
・
0! ヤッター!」

ワリオ、72時間増やし鬼、
生還。

マリオ 「ダメだったか
・
・
・」

ピーチ「悔しい・・・」

ピクオリ「まさかワリオさんが・・・」

ピリリリリリ・・・

ロイ「メールだ・・・」

マルス「やられた・・・」

メール内容

ワリオ、生還成功！ コレにより、ゲーム終了である。
（ちなみに、このメールを受信して1分後にはワープするよ！ b y
マスハン）

ワリオ（生） 「なんじゃこりゃ？」

ルカリオ 「とりあえず・・・ワープするのか!？」

シュン!!!!
（ワープ音）

こうして、ワリオの生還により、幕を閉じたスマブラサバイバル増やし鬼。

果たして、ワープしたメンバーはどうなったのか!?

次回で最終回です!

決着！（後書き）

これで増やし鬼は終わりです。

次回は、バツゲーム&感謝の言葉、次回予告です！

バツゲーム&最後に（前書き）

i k k i 「あ、そうそうマリオ、」

マリオ 「何だ？」

i k k i 「サッカー選手のゲスト、都合でこれなくなるらしいから
そのルール廃止な。」

マリオ 「それだけかよ！ 気にかけてくれていた読者さんも結構いた
ぜ！？」

i k k i 「というわけで、実名の都合で私が悩みすぎたので、
次回からは撤廃します！」

バツゲーム&最後に

果たして、メンバーはどこに飛ばされたのか・・・

ワリオはというと・・・

ワリオ「ウワッ!!」

なんと、ワープしたのは空中。

ドスッ！！

もちろん落下。

ワリオ（生） 「イテテテ・・・」

ワリオが落ちたところは!?

マスハン「生還おめでとう!」

クレイジーハンド（以下クレハン）「おつかれさま!」

なんと、そこは所狭しと高級食材が並んだテーブルと、マスハン、クレハンがいた。

ワリオ「ここは・・・」

「マスハン「ここは、増やし鬼で生還した者だけが送られるところだ。」

クレハン「というわけで、生還したお前だけがここに来たんだ。」

ワリオ「なるほど……じゃあ、他のやつらは？」

マスハン「あいつらはそこにいる。」

そういつて、マスハンが指を指した所には他のメンバーがホームラ
ンコンテストの
会場にいる映像が映し出されたスクリーンがあつた。

マリオ「どうなってんだ!？」

ルイージ「ワープしたらここってどういうこと!？」

戸惑っているメンバーたち。

マスハン「あそこで、999%でホームランケツバットをするんだ。

」

ワリオ「なるほど。そういうことか。」

大体の状況をつかんだワリオ。

クレハン「で、それを見ながらご馳走を食うってわけだ。」

ワリオ「よし！じゃあ食うぞ！」

そういうと、ワリオは手当たり次第に近くの高級食材を食べ始めた。

マスハン「よし！そろそろバツゲームを開始するか！」

これから先は、鬼だったメンバー視点です。

ピンポンパンポン！！

スネーク「何だ！？」

リュカ「放送だ！」

突然の放送に、驚くメンバーたち。

マスハン「ハハハハハ・・・捕まってしまった者たちよ！」

そこに放送されるマスハンの声・・・

マリオ「おい！軍手！」

ファルコン「どうなってるんだ！」

アイク「何をする気だ!？」

口々に文句を言うメンバー・・・

マスハン「バツゲームだ。という事で、999%で、ホームランケツバットを行う。」

ピーチ「・・・・・・・・・・」

ファルコ「そうだった・・・・・・・・」

バツゲームの存在を思い出したメンバー。

そして、メンバー全員に違和感が・・・・・・・・

マリオ「おい！９９％になってるぞ！」

リュカ「僕もだ！」

トゥーン「きっと全員そうだ！」

なんと、マスハンの力で全員の蓄積ダメージが、９９％になっていた！

マスハン「そして、今回ホームランバットを使って打つのは、こいつだ！」

そういうと、競技場の床の一部が開き、フィギュアが一体出てきた。

そして、マスハンの超能力の力か、実体化した！

ガレオム「ウオオオオ!! 復活!!」

なんと、現れたのはガレオム!! しかし、メンバーと等身大に設定してある。

ガレオム「よし! 全員まとめて飛ばすか、何人かに分けて飛ばすか、

「どうするか？」

あっさりした顔で言うガレオム。かなり怖いぞ！

そして、メンバーたちは5分の話し合いの結果、
＜全員で飛ばされれば怖くない！＞という意味の分からない理由で、
全員を希望した。

ガレオム「じゃあ、行くか。」

ガレオム、バットを構える・・・

と思いきや！

ガレオム「ちょっと練習！」

そういい、バットを投げた！

バコン！

「……！！」

1人の犠牲者が！

マルス「何でだよー！」

マルスだ。

ケツバットよりは良かったかもしれない。飛距離約1キロ。

全員「・・・・・・・・・・」

ぐうの音も出ないメンバー。

皆、マルスの飛んでいった方向を見て、啞然としている・・・

しかし、KYなのかガレオム、パワーをためている！

マリオ「あれアリ？・・・」

フォックス「無しだろ・・・」

まだ、誰も気がついていない。

ワリオ「どうなるんだろうな・・・」

マスハン「さあ・・・」

ガレオム「いくぞ！」

急に、メンバーに言い出したガレオム。

全員「え？」

全員が後ろを振り向く。

しかし、その瞬間フルスイング！

カキーーーーン!!!!!!!!!!!!!!

全員「!#&,%・!;!;!;!;!」

メンバー、声を出すまもなく飛んでいく!

飛距離

最長・・・プリン 42.195キロ (3分で着地)

最短・・・クツパ 0キロメートル (甲羅のとげがバットに刺さった。)

ワリオ「・・・・・・・・」

クレハン「・・・・・・・・」

マスハン「楽し〜!!」

びっくりして、あいた口がふさがらないワリオ、クレハン。
一方のマスハンは、超元気そうだ。

ワリオ「あれは残酷すぎないか・・・」

クレハン「見てられないな・・・」

こんなグダグダで、
増やし鬼は幕を閉じたのであつた・・・

[illegible]

ここまで読んでくれた皆さん、どうもありがとうございます！
おたにいき
大谷一樹こと、i k k iです！

最初の方は、文字数が少なかったり、物語が急だったりと困った人も多かったと思いますが、ここまで読んでくれたことに感謝しています！

書き始めた最初の方から、感想をたくさんくれた

スイツクンさん、リリカルショーバイさん、リアルルイーダさん、
ワグナーさん、ダークピカチュウさん、その他大勢の方々、あり
がとうございます！

こうして今ここで小説をかけているのも皆さんが支えてくれたおかげです！

次回作でお待ちしましょう！では！

バツゲーム&最後に（後書き）

本当に完結です！　あと、ゲスト受付も締め切りました！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7360m/>

スマブラサバイバル増やし鬼？

2011年3月7日10時20分発行